
【第6期南幌町総合計画】

町民アンケート調査結果報告書

＜平成28年度実施＞

平成28年12月

目 次

1. 調査概要.....	1
2. 結果の要約.....	2
3. 回答者の属性.....	7
4. 日頃の行動や活動.....	11
5. 南幌町の暮らしやすさなど.....	20
6. まちづくりの満足度・重要度.....	26
7. まちづくりに関する意見.....	57

1. 調査概要

調査の趣旨

南幌町では、平成 22 年度に策定した「第 5 期南幌町総合計画」に基づき、各種施策を推進してきたが、6 年間の計画期間が平成 28 年度までとなっており、これまでの取り組みを点検しながら、これからのまちづくりを方向づけていくため、「第 6 期南幌町総合計画」を策定する。策定に当たり、町民の考える「住みよいまち」とはどのようなまちなのか、またこれからのまちづくりに対するお考え等をお聞かせいただき、新しい総合計画策定の基礎資料とするため、本調査を実施する。

調査の実施

平成 28 年 7 月 1 日を基準日に、南幌町の 20 歳以上の町民の中から 1,100 人を無作為に抽出、調査対象者とし、郵送により配付・回収を行った。

調査期間は、平成 28 年 7 月 5 日～8 月 3 日（30 日間）。

回答状況

配付 1,100 件 回答数 488 件 回答率 44.4%

〔年代別回答数〕

(件)

20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上	不明
35	44	69	88	42	68	140	2

〔居住地区別回答数〕

(件)

市街地区計	6区	14区	15区	西町	北町	中央	緑町	東町	美園
347	29	23	29	83	72	10	75	25	1

農村地区計	三重	青葉	7区	8区	9区	10区	11区	稲穂	12区	13区	中樹林
131	14	13	3	13	6	11	17	26	12	7	9

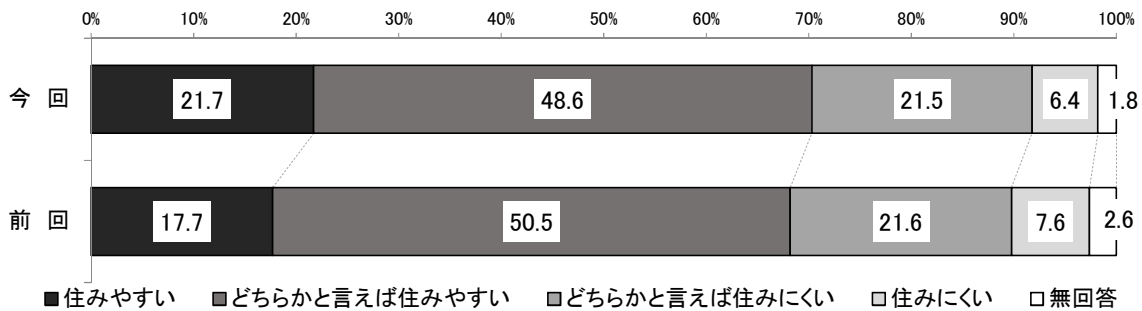
報告書の読み方

設問に沿って回答状況を示している。数値 (%) は少数点 1 位（無限小数の場合四捨五入で 1 位表示）で示している。このため、グラフ内の数値を合計すると 100% とならないところがある。また、複数回答の場合は合計が 100% を超える。グラフの N (NUMBER OF SAMPLE の略) は回答者数を示している。ただし、全体は回答者総数 (488 件) を、各年代別グラフやクロス集計は小計で無回答を除いているため合計は合致しない。各選択肢は、表記上簡略化して示しているところがある。また、グラフ下にはクロス集計により傾向がみられるものを参考表で記載している。

2. 結果の要約

南幌町は「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と回答した人は7割超。前回調査を2.1ポイント上回る。

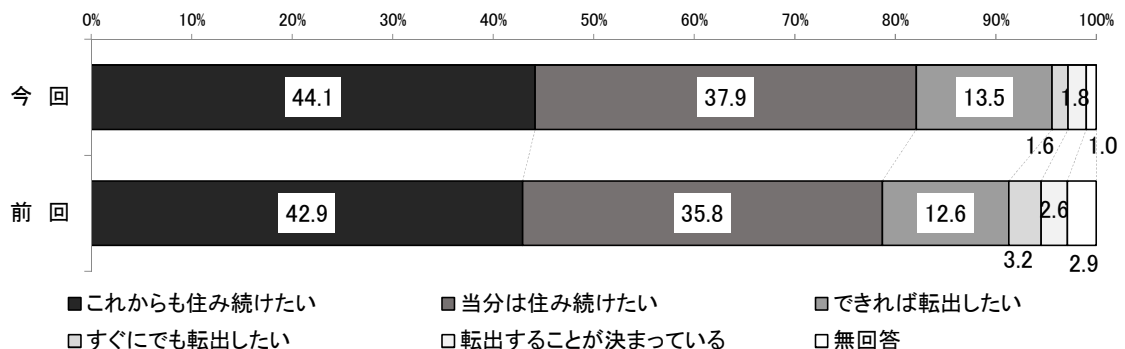
「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計が70.3%で、「住みにくい」と「どちらかと言えば住みにくい」の合計は27.9%である。前回調査では、「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」は68.2%で、2.1ポイント上昇した。



年齢別では、60歳以上で「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」の合計は全体平均を上回っており、65歳以上では、8割を超えている。逆に40～49歳は56.5%に留まり、全体平均より13.8ポイント下回る。

南幌町に「これからも住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した人は8割超。前回調査を3.3ポイント上回る。

「これからも住み続けたい」が44.1%、「当分は住み続けたい」が37.9%で、合わせると82.0%が「住み続けたい」と回答した。これに対して、「できれば転居したい」が13.5%、「すぐにでも転居したい」が1.6%、「転居することが決まっている」が1.8%であった。前回調査では、「これからも住み続けたい」と「当分は住み続けたい」はあわせて78.7%で、3.3ポイント上昇した。



年代別にみると、年齢が上がるにつれ「これからも住み続けたい」と回答する人の割合が多くなる傾向がみられる。また、59歳以下と、60歳以上で大きな差がみられ、59歳以下では3割以下だが、60歳以上では5割以上になり、特に65歳以上では6割以上となる。

南幌町の人口減少を抑えるためには、町として重点的にすべき点は、「公共交通機関の充実」「医療・保健福祉の充実」「企業誘致など働く場づくり」「店舗など商業施設の誘致」が上位。

年代別では、「公共交通機関の充実」は20～49歳で7割を超えているが、60歳以上では5割前後となる。30～39歳では「子育ての支援や教育環境の充実」、「店舗など商業施設の誘致」がそれぞれ59.1%、75.0%と、他の年代に比べて多いのが特徴である。また、「企業誘致など働く場づくり」は年齢が上がるにつれ数値が多くなり、60～64歳が最も多く、それ以上では低下している。

そのほかの選択肢の回答では、「スポーツ・文化・レジャー施設の充実」「賃貸住宅の整備」は高齢者層より若年層の数値が多い。また、「除排雪体制の強化」は高齢者層の数値が多い。

地域の活動への参加並びに防災に関する取り組みは4割が行っていると回答。地域の活動参加者は防災への取り組みを行っている割合が多い。

地域の活動に「参加している」「少しは参加している」と回答した人の合計は、全体の43.2%である。防災に関する取り組みを「行っている」「少しは行っている」と回答した人（防災取り組み者率）は全体の39.1%である。地域の活動に「参加している」人は、防災活動への取り組み者率が57.7%と全体に比べて多く、一方で「参加していない人」は24.2%と少ない。近年増加している自然災害に対する防災の取り組みは、日頃の地域活動の参加による地域住民のつながり、日常の関係性の確保が重要ということを示すデータといえる。

公共交通機関の利用は自動車利用者が8割以上であるが、市街地区では公共交通機関や徒歩での移動を行う人が2割以上いる。

日常的に利用する移動手段は、全体では自動車が87.7%、次いで公共交通機関が19.7%、徒歩が17.6%、自転車が11.7%である。自動車利用はどの年代でも最も多く7割以上が利用しているが、20歳代は公共交通機関や徒歩の値が年代別にみると最も多く、特に通学や通勤に使われていることがわかる。なお、70歳代ではタクシー利用者が14.3%と多いが、これは福祉タクシー利用によるものと考えられる。また、まちづくりの意見や提言の自由回答でも、公共交通機関に関する記述が多数みられる。

なお、居住地別では市街地区の方が自動車以外の数値が全体的に高めであり、公共交通機関の利用は農村地区12.2%に対して市街地区は22.8%と10ポイント以上多い。

町の施策の満足度については、「健康予防」「暮らしを楽しむ」「防災・防犯対策」「高齢者の生活支援」「町民主体の行政」が高い項目である。

前回と比べると、健康予防は前回も1位であり継続して安定的に評価されている。また数値も20ポイント以上上昇しており、満足度が大きく高まっている。2位以下の暮らしや防災・防犯、高齢者生活支援とあわせて『日々の生活や暮らしをサポートする』施策についての評価が高い。

		今 回		前 回		
上位	1位	健康予防対策	60.8%	1位	健康予防対策	40.5%
	2位	南幌の暮らしを楽しむ	46.1%	2位	町民主体の行政	38.9%
	3位	防災・防犯対策	45.1%	3位	農業を活かした学習機会	37.1%
	4位	高齢者の生活支援	40.6%	4位	スポーツ・レクリエーション活動	34.7%
	5位	町民主体の行政	39.2%	5位	防災・防犯対策	32.3%
	∴			∴		
下位	3位	工業振興	55.3%	3位	工業振興	50.3%
	2位	商業振興	56.8%	2位	医療環境	55.5%
	1位	医療環境	58.6%	1位	商業振興	55.8%

上位5項目：「満足」と「まあ満足」を合計した割合 下位3項目：「不満」と「やや不満」を合計した割合

町の施策の重要度については、「医療環境」「健康予防」「防災・防犯」「高齢者の生活支援」と、『安心安全な暮らし』についての項目が高く、「工業振興」が続いている。

前回と比べると、健康予防対策が前回の3位から1位になり、健康に長く住み続けることを重要視している人が多いことがわかる。2位以下では、医療や防災・防犯、高齢者生活支援、障がい者福祉とあわせて『安心安全及び福祉』施策について重要視する人の割合が多い。

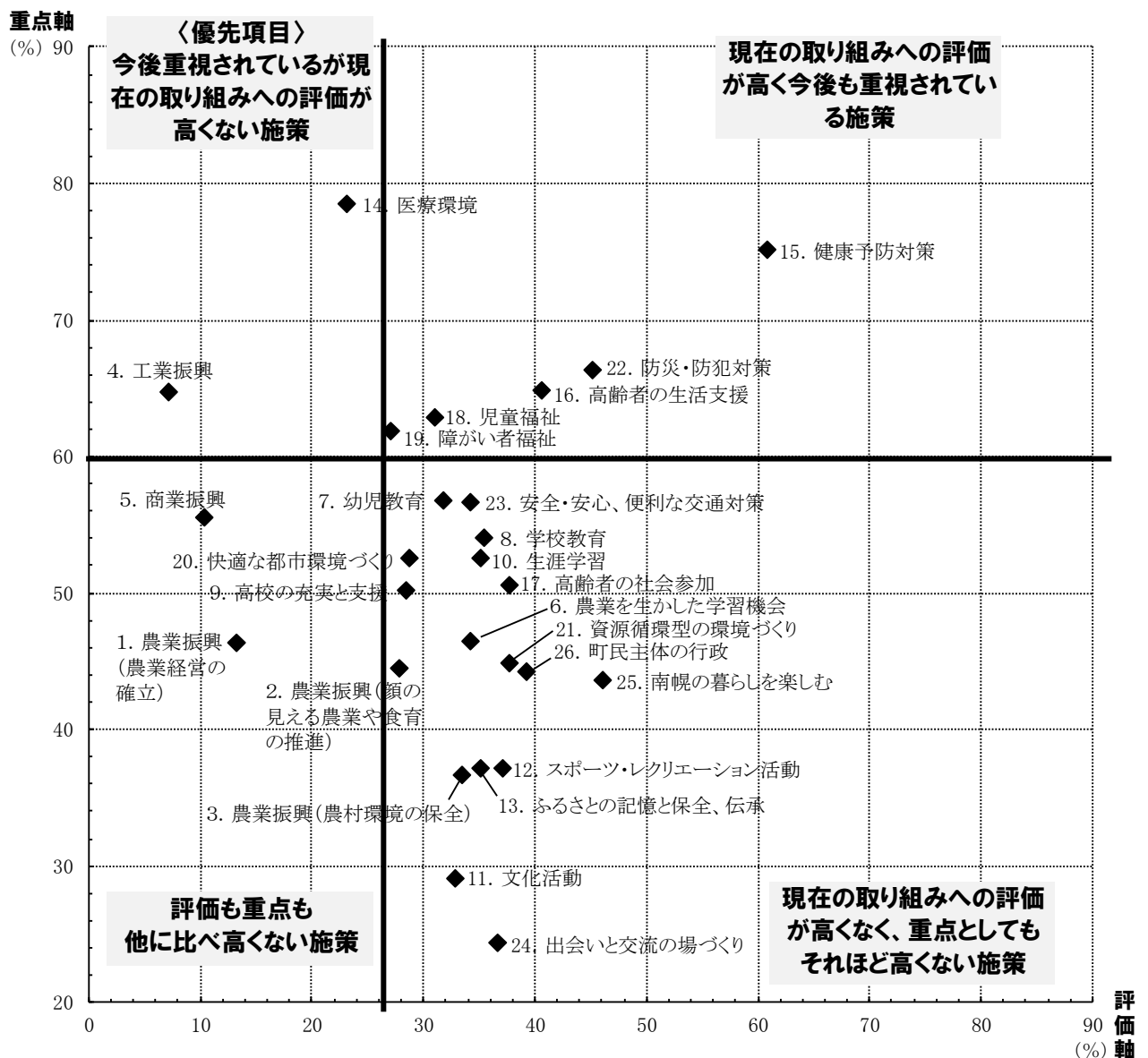
		今 回		前 回		
上位	1位	健康予防対策	87.1%	1位	医療環境	86.6%
	2位	医療環境	86.3%		高齢者の生活支援	86.6%
	3位	高齢者の生活支援	85.3%	3位	健康予防対策	86.0%
	4位	防災・防犯対策	84.4%	4位	快適な都市環境づくり	82.5%
	5位	障がい者福祉	83.8%	5位	農業を活かした学習機会	81.5%
	∴			∴		
下位	3位	ふるさとの記憶と保全、伝承	10.2%	3位	家庭教育	15.8%
					文化活動	15.8%
	2位	文化活動	12.5%	2位	南幌の暮らしを楽しむ	16.1%
	1位	出会いと交流の場づくり	17.4%	1位	出会いと交流の場づくり	28.4%

上位5項目：「非常に重要」「重要」「まあ重要」を合計した割合 下位3項目：「さほど重要ではない」の割合

施策の「評価」と「重点を置くべき施策」の関係を図示したところ、今後の施策としては医療環境整備や工業振興に特に興味関心がある。

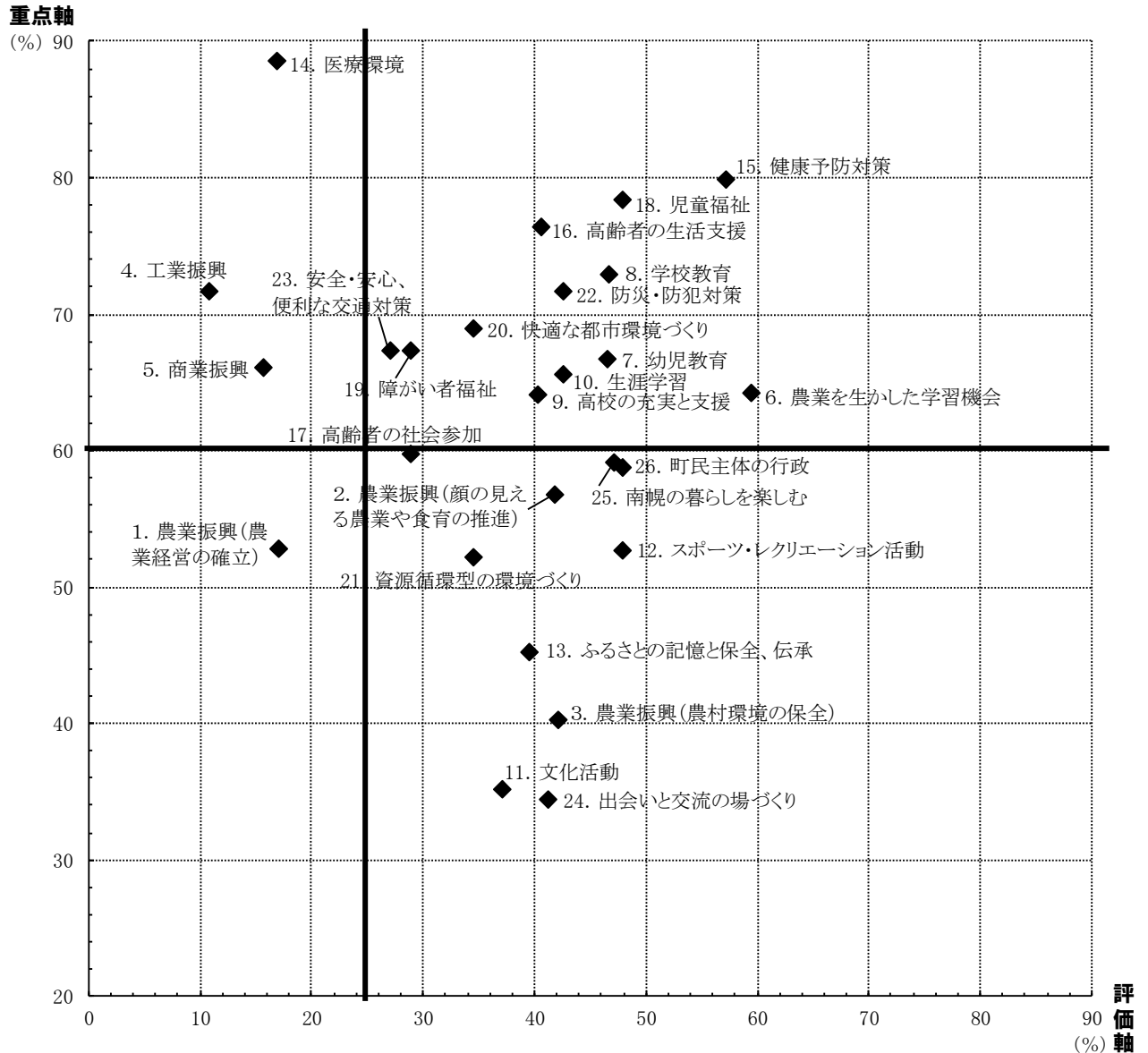
評価施策と重点施策の2項目を掛け合わせると、施策への評価と重要度の関係が見えてくる。評価も高く、重点も高い項目（右上）には「健康予防対策」、「防災・防犯対策」「高齢者の生活支援」「児童福祉」「障がい者福祉」があげられている。

今後、優先的に取り組むべき課題となりうる、重点は高いが、評価が低い項目（左上）は、「医療環境」、「工業振興」があげられており、医療と福祉の連携や、働く場所としての企業誘致に興味関心があることが伺える。



49歳以下の回答者で同じ分析をしたところ、現在の取り組みへの評価が高く今後も重視されている施策の数が増えており、町の施策に満足し関心が高いことが伺える。また、優先的に取り組むべき課題については、先ほどの2つに加え商業振興があがっている。

〔評価施策と重点施策のクロス分析（49歳以下）〕

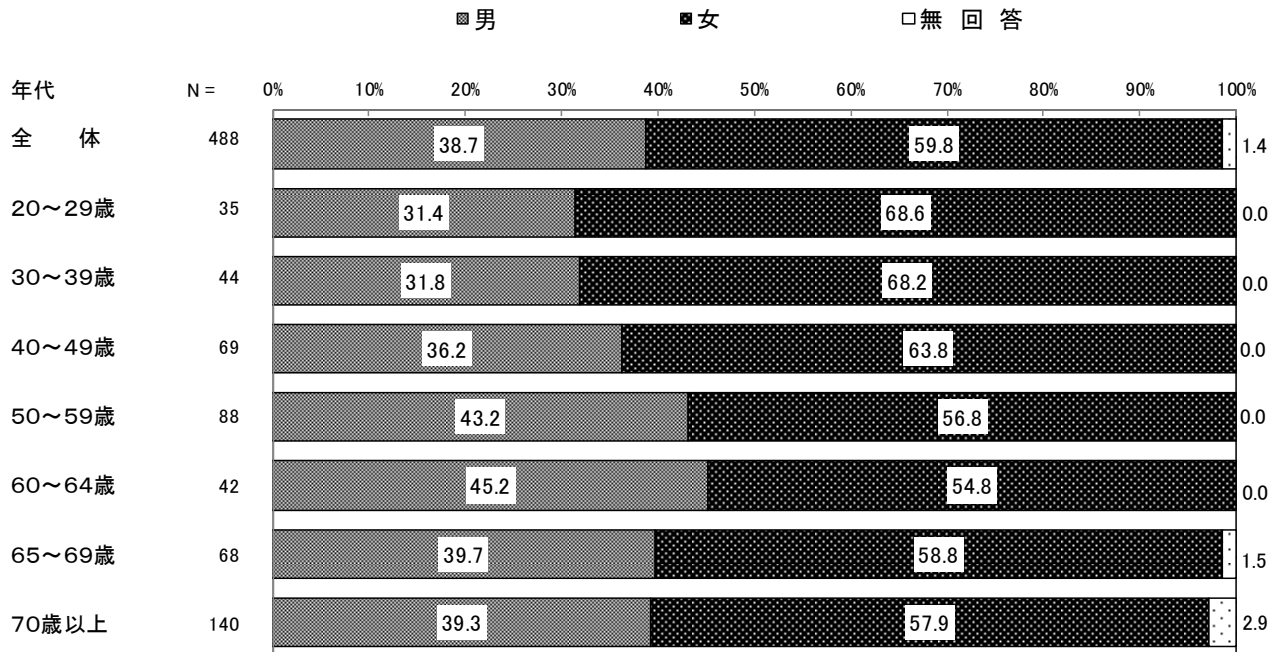


3. 回答者の属性

I 問1 あなたの性別は

男性が38.7%、女性が59.8%である。年齢別にみると、60～64歳で男性比率が、20～29歳で女性比率が最も多い。

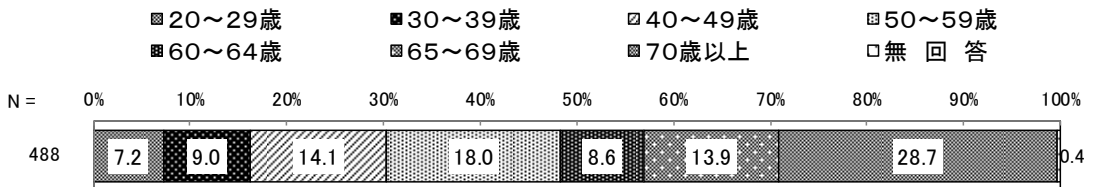
問1 性別[%]



I 問2 あなたの年齢は

「70歳以上」が28.7%と多く、「50～59歳」が18.0%、「40～49歳」と「65～69歳」が14%前後となっている。

問2 年齢[%]

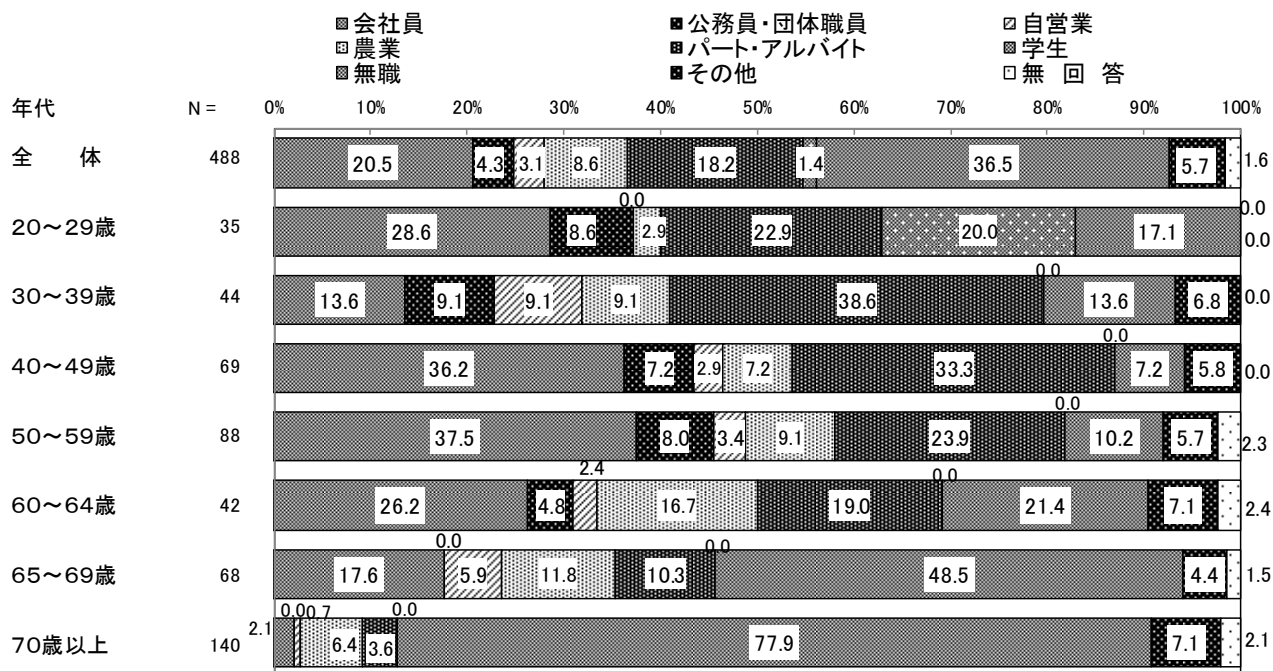


I 一問3 あなたの職業は

「無職」が36.5%と多く、「会社員」が20.5%、「パート・アルバイト」が18.2%、「農業」が8.6%となっている。

年代別では、30～39歳で「パート・アルバイト」が38.6%と多い。70歳以上では「無職」が77.9%とほとんどを占めている。

問3 職業[%]

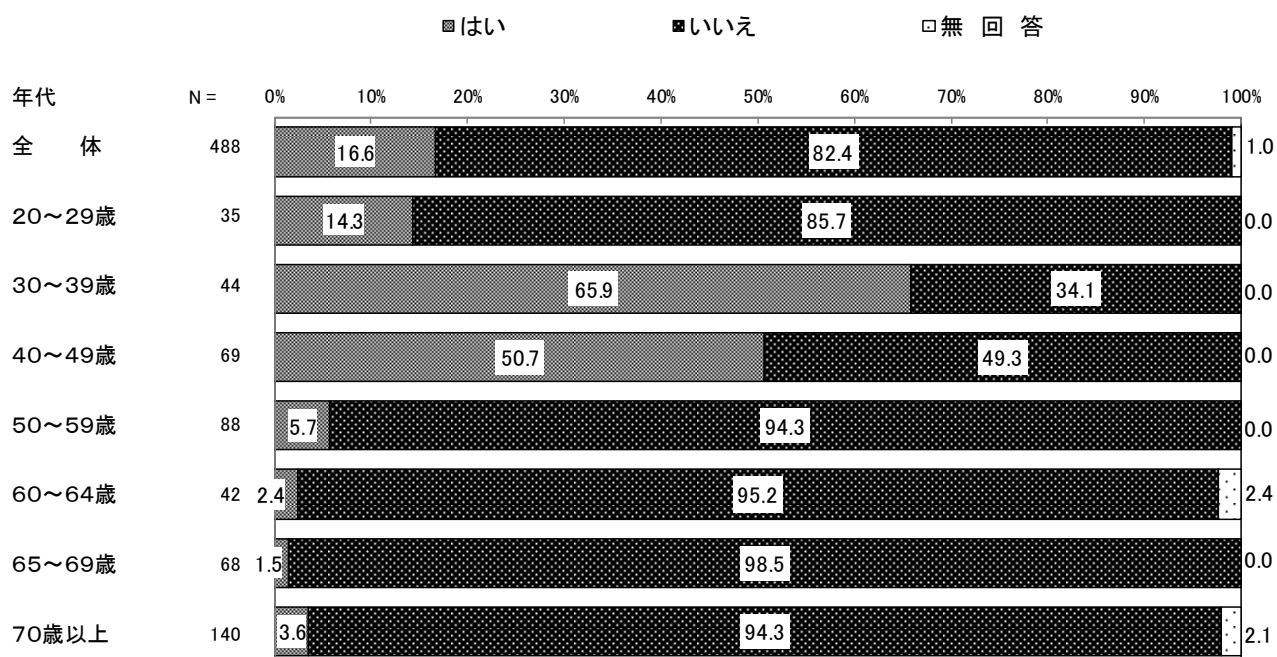


I 一問4 あなたには、15歳以下のお子さんがいますか

「いいえ」が82.4%と多く、「はい」が16.6%である。

年代別では、30～39歳が65.9%、40～49歳で50.7%と多い。

問4 15歳以下のお子さんの有無[%]

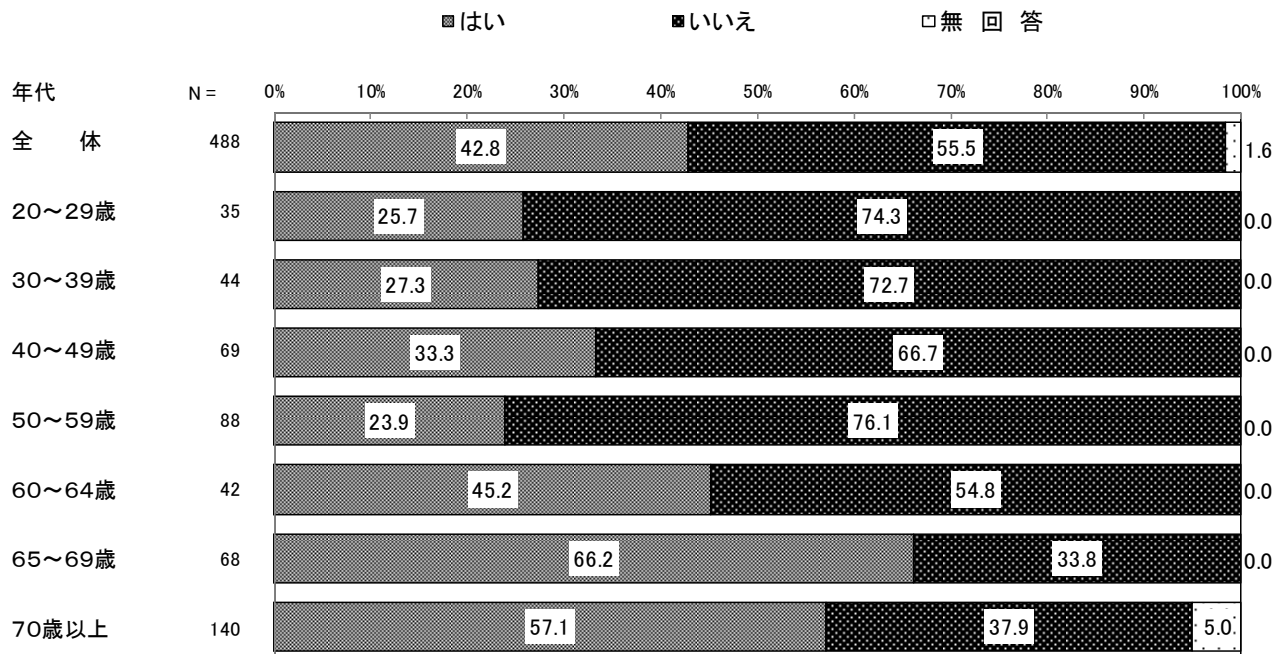


I 一問5 あなたには、65歳以上の同居している方がいますか

「はい」が55.5%で、「いいえ」が42.8%である。

年代別では「はい」が65～69歳で66.2%と特に多く、20～59歳までは「いいえ」が70%前後が多い。

問5 65歳以上の同居している方の有無[%]

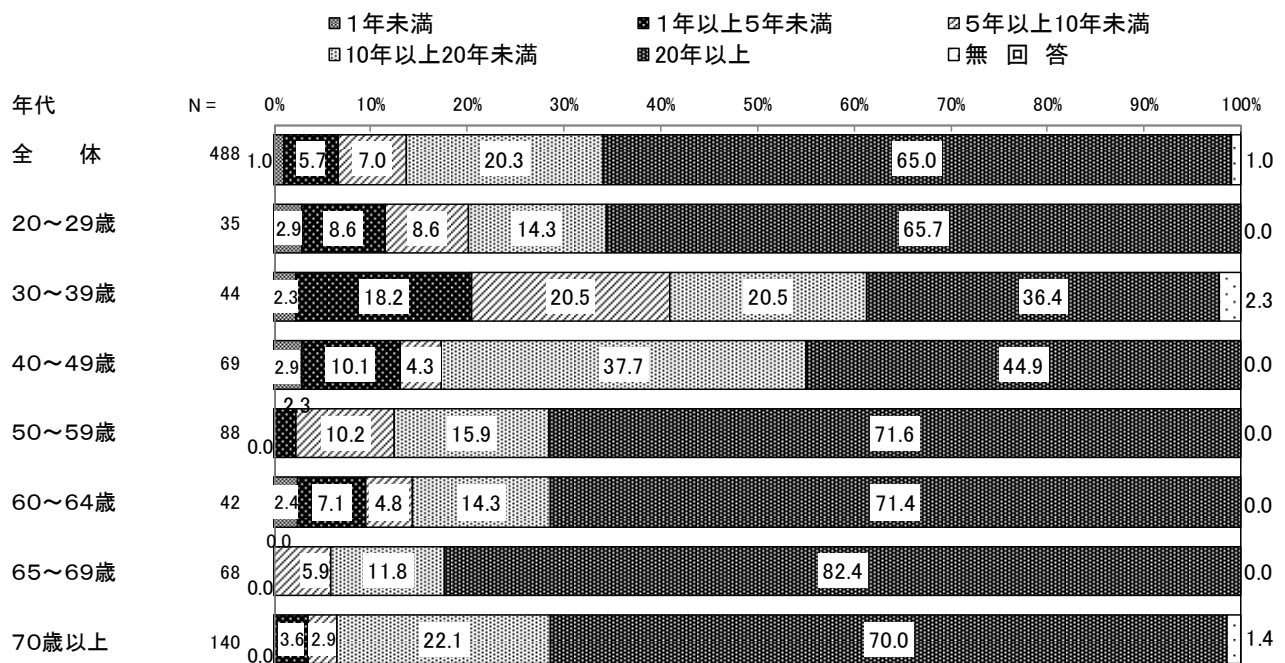


I 一問6 あなたは、南幌町にお住まいになって何年になりますか

「20年以上」が65.0%と多く、「10年以上20年未満」が20.3%、「5年以上10年未満」が7.0%と続いている。

年代別では、50歳以上の各年代で「20年以上」が70.0%以上と特に多い。

問6 南幌町の居住年数[%]

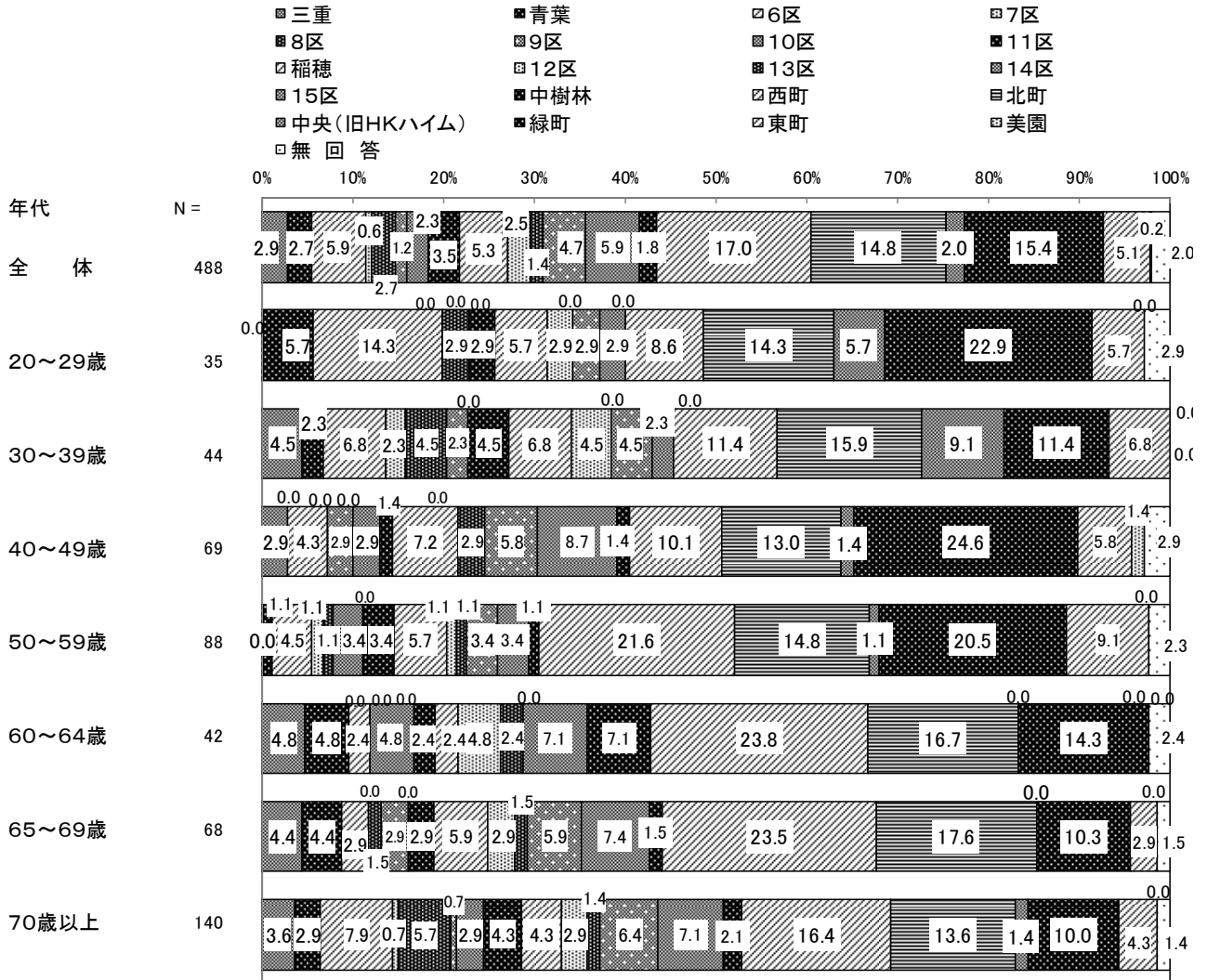


I 問7 あなたのお住まいの地域はどちらですか

「西町」が17.0%、「緑町」が15.4%、「北町」が14.8%となっている。

年代別では、50～69歳の各年代で「西町」が20.0%を超えており、「北町」も15.0%前後と多くなっている。20～29歳、40～49歳、50～59歳では「緑町」が20.0%を超えて多い。

問7 居住地[%]

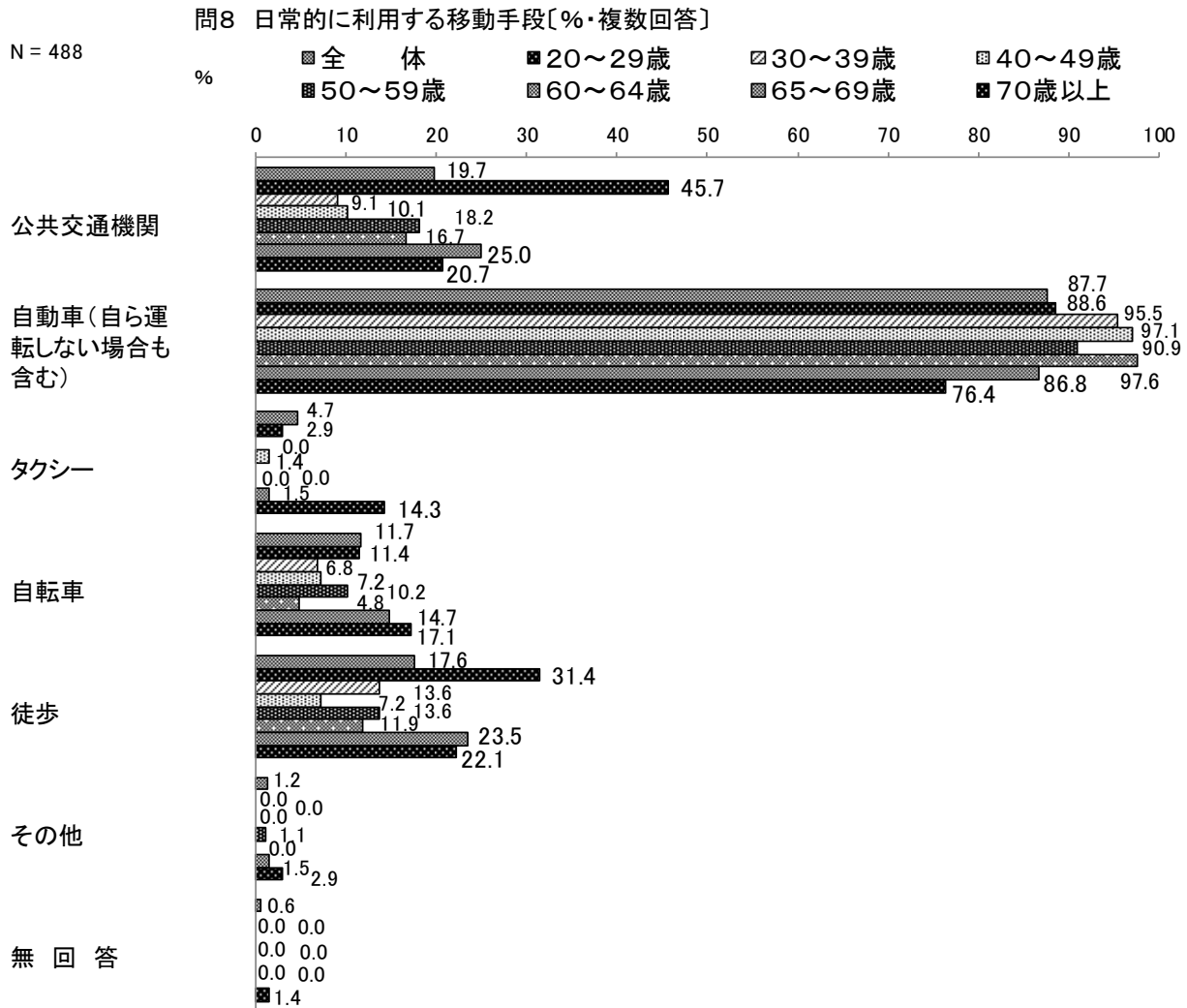


4. 日頃の行動や活動

I 一問8 あなたが日常的に利用する移動手段は何ですか

「自動車」が87.7%と多く、「公共交通機関」が19.7%、「徒歩」が17.6%、「自転車」が11.7%と続いている。

年代別では20～29歳で、公共交通機関が45.7%、徒歩が31.4%と多い。



〔参考：居住地区別分析〕

(上段 人／下段 %)

	全体	公共交通機関	自動車	タクシー	自転車	徒歩	その他	無回答
全体	488	96	428	23	57	86	6	3
	100.0	19.7	87.7	4.7	11.7	17.6	1.2	0.6
市街地区	347	79	300	18	48	80	3	1
	100.0	22.8	86.5	5.2	13.8	23.1	0.9	0.3
農村地区	131	16	121	5	9	5	2	1
	100.0	12.2	92.4	3.8	6.9	3.8	1.5	0.8
無回答	10	1	7	-	-	1	1	1
	100.0	10.0	70.0	-	-	10.0	10.0	10.0

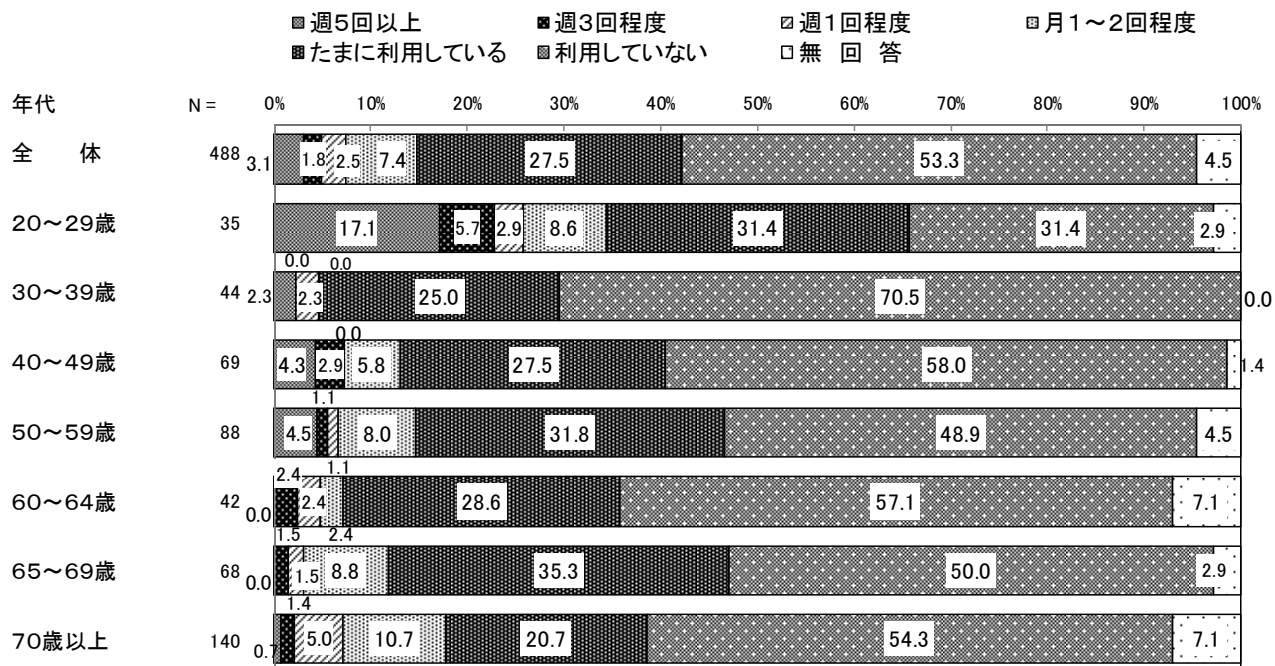
※自動車は「自ら運転しない場合」も含む。

I 一問9 あなたは、町内の公共交通機関を利用していますか

「利用していない」が53.3%と多く、「たまに利用している」が27.5%、「月1～2回程度」が7.4%となっている。

年代別では、「利用していない」が30～39歳で70.5%と多いが、20～29歳では31.4%と少なく、「週5回以上」が17.1%と他の年代に比べて多い。

問9 町内の公共交通機関の利用頻度〔%〕



〔参考：交通手段別分析〕

(上段 人／下段 %)

	全体	週5回以上	週3回程度	週1回程度	月1～2回程度	たまに利用している	利用していない	無回答
全体	488 100.0	15 3.1	9 1.8	12 2.5	36 7.4	134 27.5	260 53.3	22 4.5
公共交通機関	96 100.0	12 12.5	9 9.4	10 10.4	23 24.0	34 35.4	5 5.2	3 3.1
自動車	428 100.0	6 1.4	6 1.4	4 0.9	26 6.1	122 28.5	247 57.7	17 4.0
タクシー	23 100.0	1 4.3	1 4.3	3 13.0	2 8.7	6 26.1	9 39.1	1 4.3
自転車	57 100.0	2 3.5	3 5.3	2 3.5	11 19.3	23 40.4	12 21.1	4 7.0
徒歩	86 100.0	5 5.8	5 5.8	4 4.7	17 19.8	22 25.6	26 30.2	7 8.1
その他	6 100.0	1 16.7	-	-	-	2 33.3	3 50.0	-
無回答	3 100.0	-	-	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3

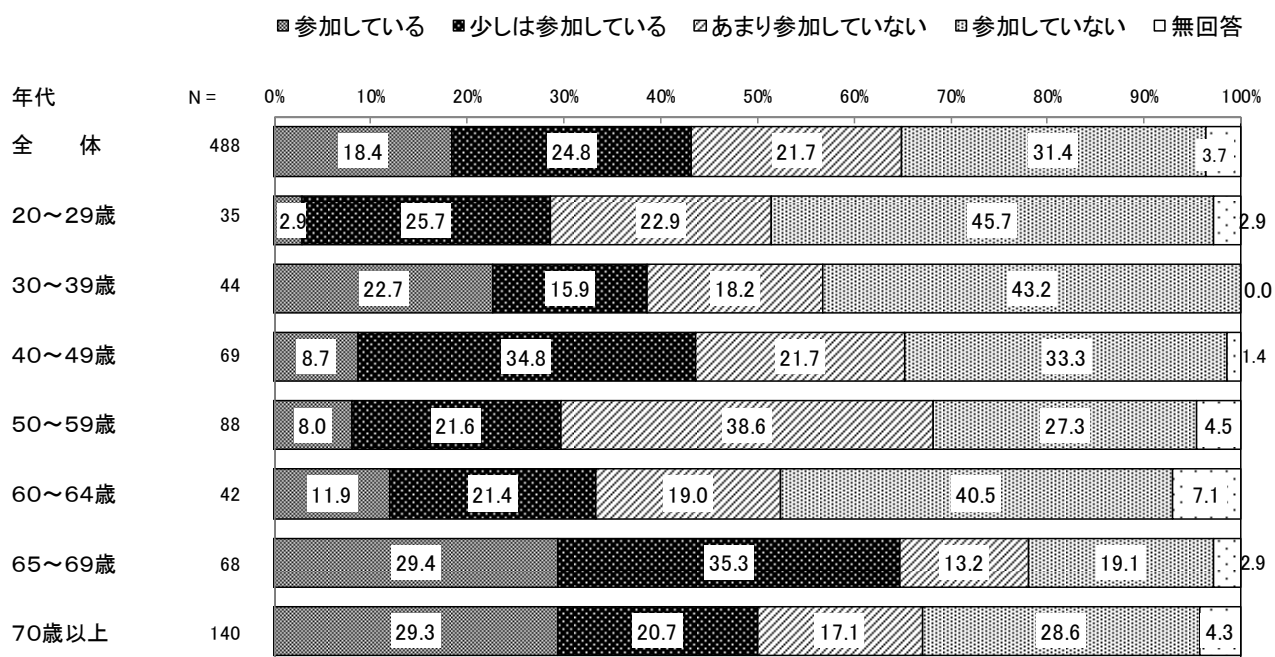
※自動車は「自ら運転しない場合」も含む。

I 一問10 あなたは、地域の活動に参加していますか

「参加していない」と「あまり参加していない」の合計は53.1%で、「参加している」と「少しは参加している」の合計は43.2%である。

年代別では、20～29歳で「参加していない」と「あまり参加していない」の合計が68.6%と多いが、65～69歳では「参加している」と「少しは参加している」の合計は64.7%と参加率が多い。

問10 地域の活動への参加[%]

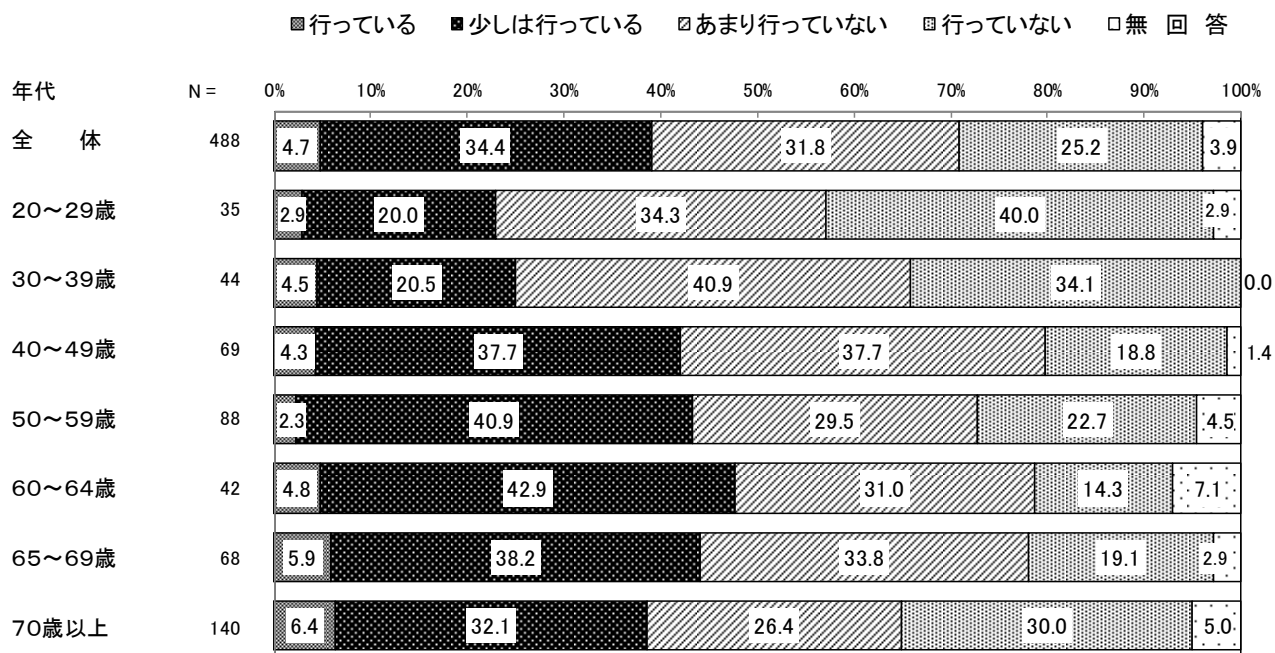


I ー問11 あなたは、防災に関する取り組みを行っていますか

「行っている」と「少しは行っている」の合計は39.1%、「行っていない」と「あまり行っていない」の合計は57.0%である。

年代別では、20～29歳、30～39歳で「行っていない」と「あまり行っていない」の合計が70.0%を超えて多い。

問11 防災に関する取組[%]



〔参考：地域活動参加状況別分析〕

(上段 人／下段 %)

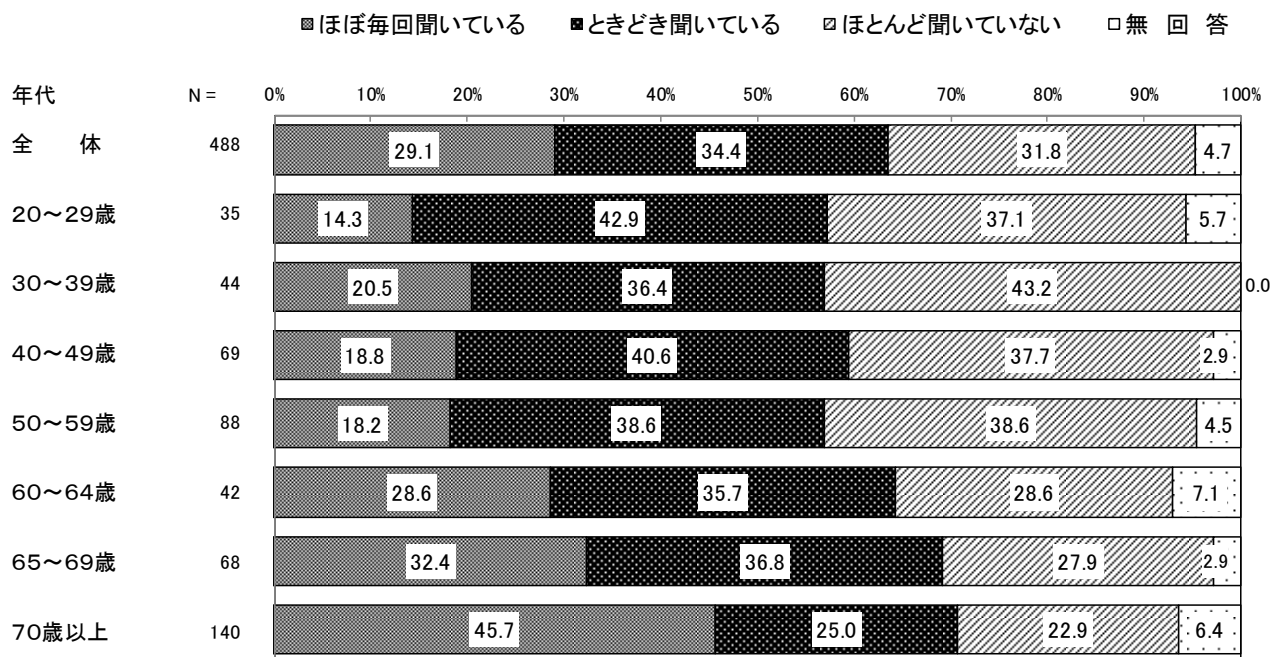
	全体	行っている	少しは行っている	あまり行っていない	行っていない	無回答
全体	488 100.0	23 4.7	168 34.4	155 31.8	123 25.2	19 3.9
参加している	90 100.0	12 13.3	40 44.4	29 32.2	9 10.0	—
少しは参加している	121 100.0	7 5.8	54 44.6	45 37.2	14 11.6	1 0.8
あまり参加していない	106 100.0	2 1.9	39 36.8	40 37.7	25 23.6	—
参加していない	153 100.0	2 1.3	35 22.9	41 26.8	75 49.0	—
無回答	18 100.0	—	—	—	—	18 100.0

I 一問12 あなたは、町の防災無線を聞いていますか

「ほぼ毎日聞いている」と「ときどき聞いている」の合計は63.5%で、「ほとんど聞いていない」は31.8%である。

年代別では、30～39歳で「ほとんど聞いていない」が43.2%と多くなっているが、70歳以上では「ほぼ毎日聞いている」割合が45.7%と他の年代に比べて多い。

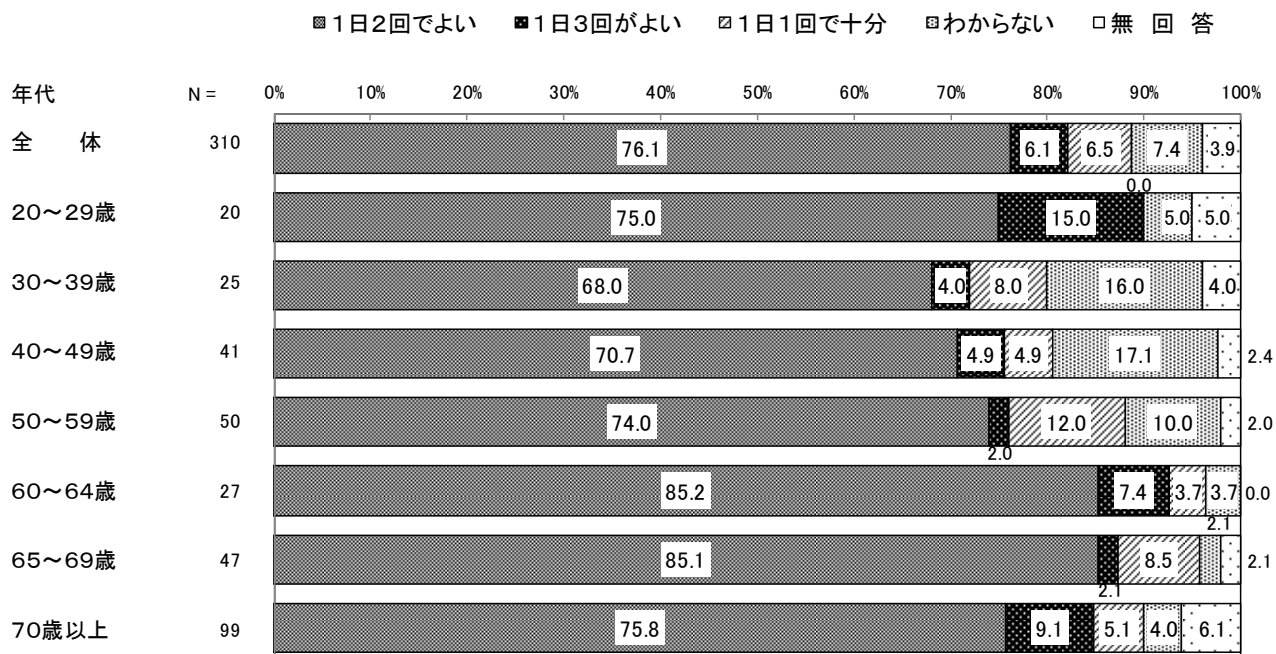
問12 町の防災無線[%]



I 一問13 (問12で「1 ほぼ毎日聞いている」「2 ときどき聞いている」とお答えの方におたずねします。) 基本的に1日2回(昼・夜)の放送回数についてどう思いますか

「1日2回でよい」が76.1%と多く、「1日3回がよい」と「1日1回で十分」はともに6%台である。

問13 1日2回(昼・夜)の放送回数について[%]

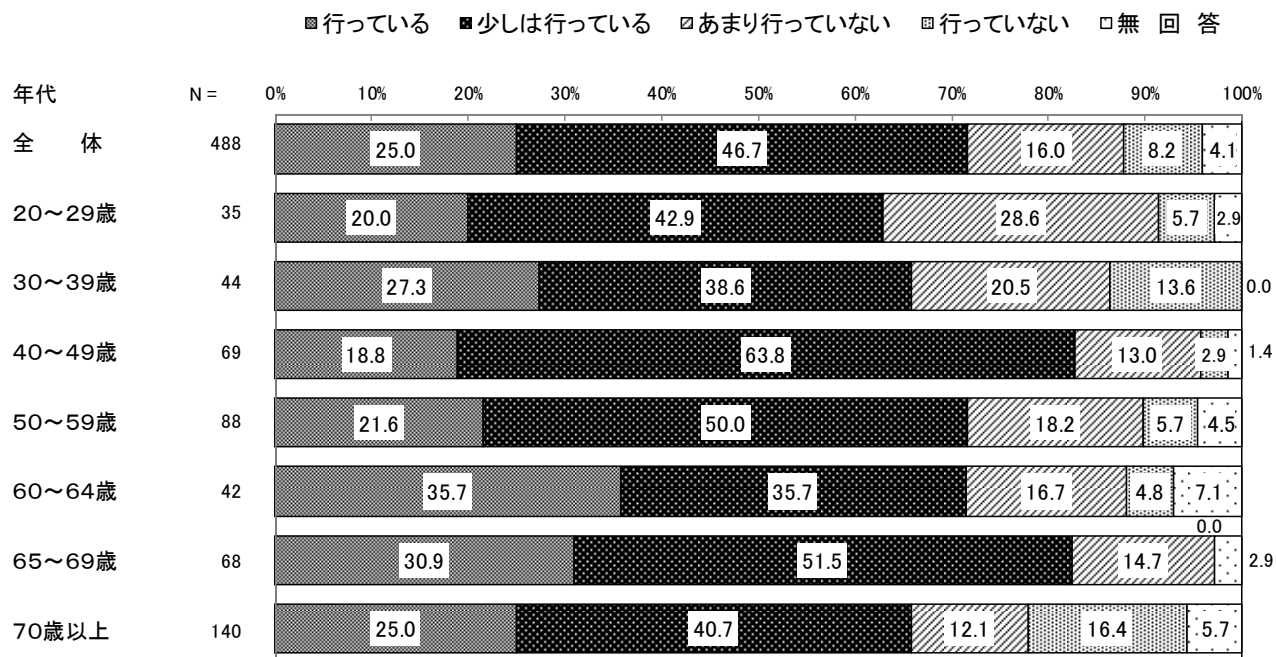


I 一問14 あなたは、環境に配慮した取り組みを行っていますか

「少しは行っている」が46.7%と多く、「行っている」と合わせると71.7%で、「行っていない」と「あまり行っていない」の合計は24.2%である。

年代別では、40～49歳と65～69歳で、「行っている」と「少しは行っている」を合わせると、80.0%を超えて多い。

問14 環境に配慮した取組み[%]

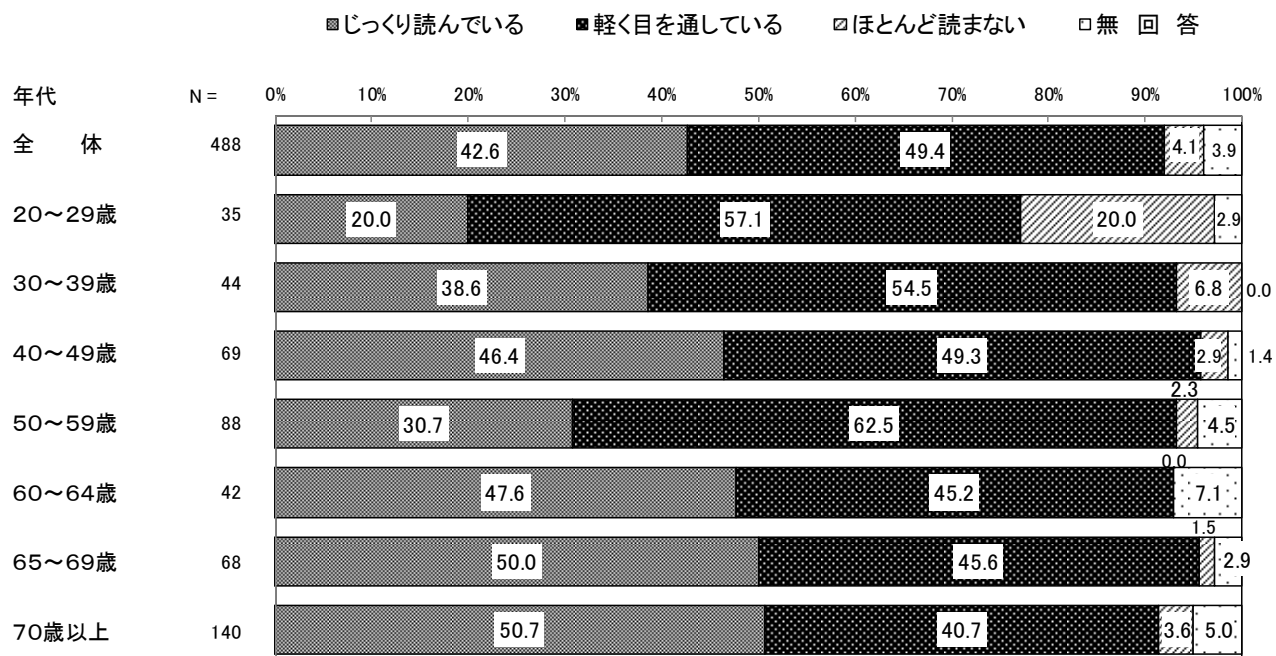


I ー問15 あなたは、『広報なんぼろ』に目を通していますか

「じっくり読んでいる」と「軽く目を通している」の合計が94.0%で、「ほとんど読まない」は4.1%である。

年代別では、20～29歳で「ほとんど読まない」が20.0%と多い。

問15 『広報なんぼろ』について[%]

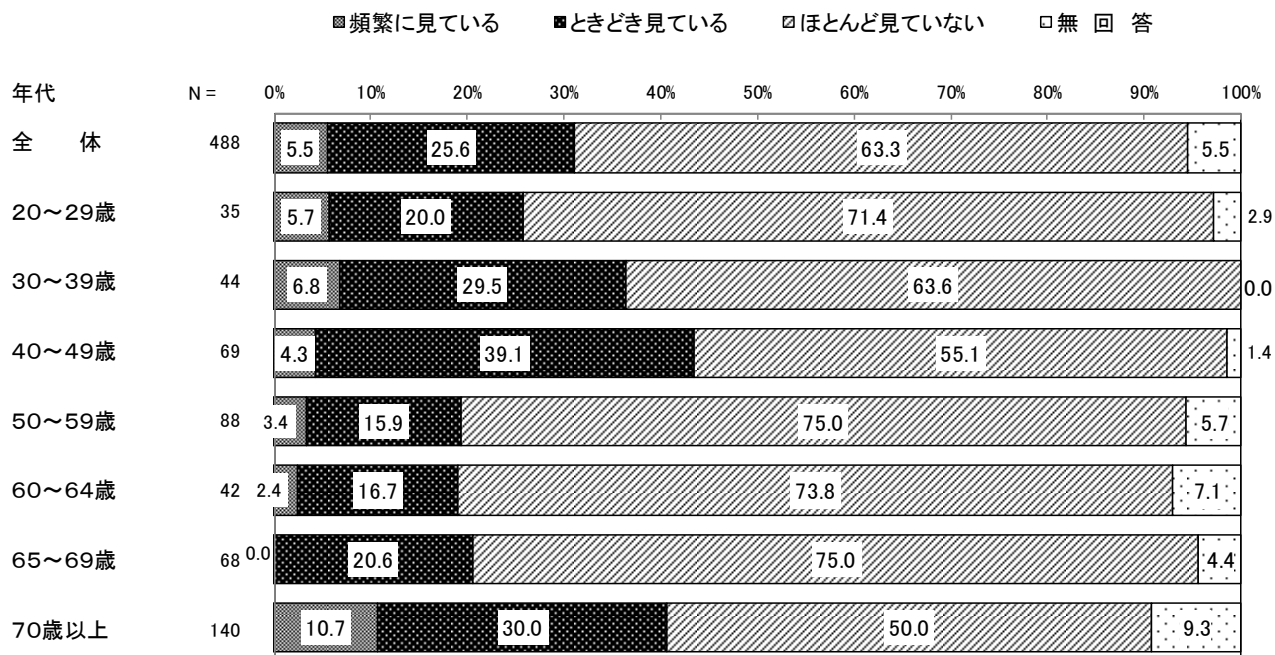


I ー問16 あなたは、町ホームページや町公式フェイスブックをしていますか

「ほとんど見ていない」が63.3%で、「頻繁に見ている」と「ときどき見ている」の合計が31.1%である。

年代別では40～49歳と、70歳以上で、「頻繁に見ている」と「ときどき見ている」の合計が40.0%を超えて多い。

問16 町ホームページや町公式フェイスブックについて[%]



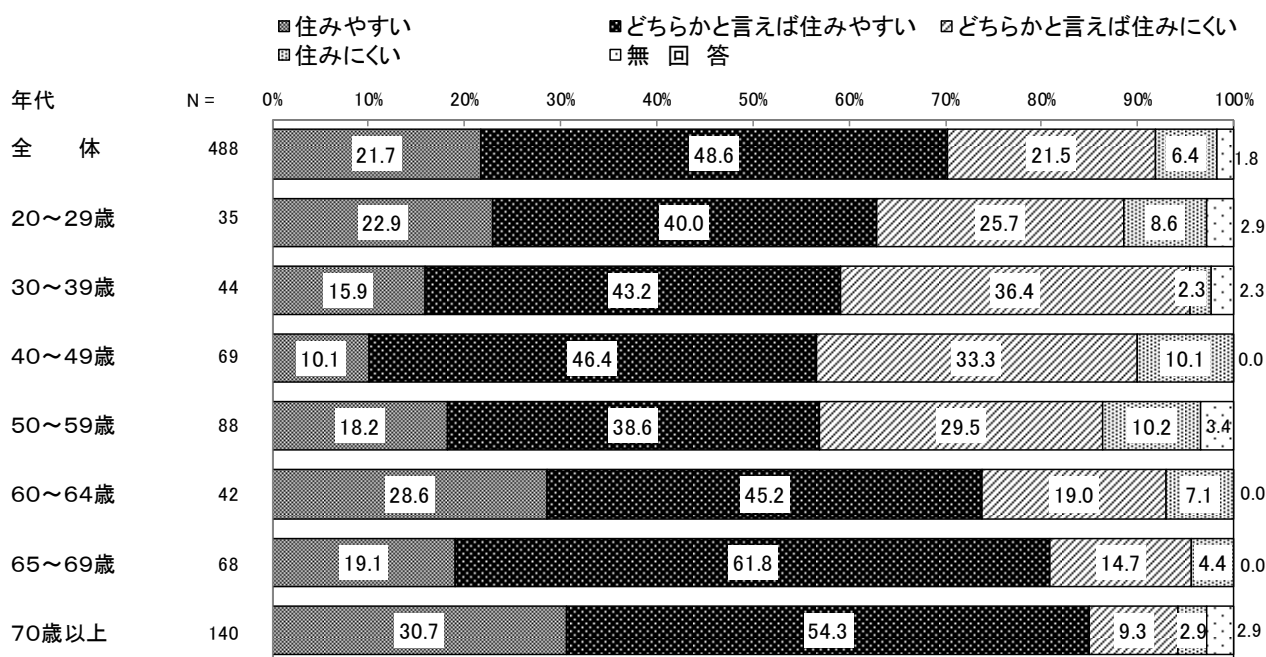
5. 南幌町の暮らしやすさなど

Ⅱ 一問1 あなたは、南幌町は住みやすいまちだと思いますか

「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計が70.3%で、「住みにくい」と「どちらかと言えば住みにくい」の合計は27.9%である。

年代別では、65～69歳、70歳以上で「住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」の合計が80.0%を超えて多い。

問1 南幌町は住みやすいまちだと思う[%]



〔参考：居留意向別分析〕

(上段 人 / 下段 %)

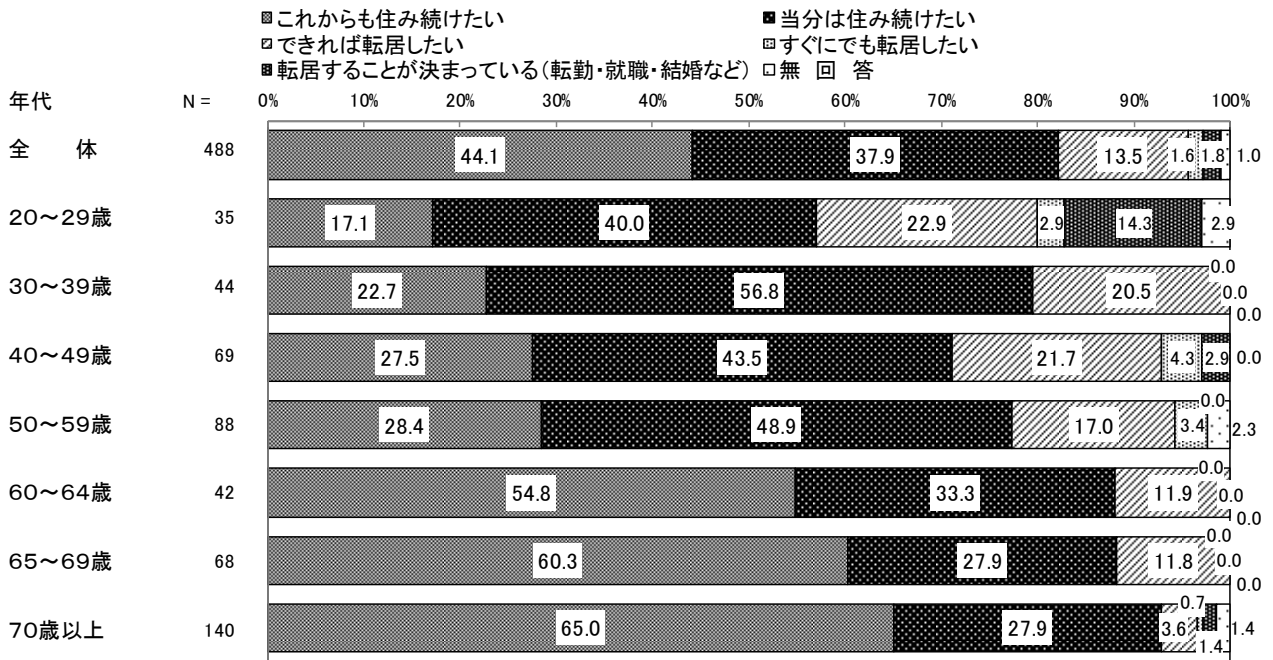
	全体	住みやすい	どちらかと言えば住みやすい	どちらかと言えば住みにくい	住みにくい	無回答
全体	488	106	237	105	31	9
	100.0	21.7	48.6	21.5	6.4	1.8
これからも住み続けたい	215	87	112	12	2	2
	100.0	40.5	52.1	5.6	0.9	0.9
当分は住み続けたい	185	15	115	50	2	3
	100.0	8.1	62.2	27.0	1.1	1.6
できれば転居したい	66	1	8	37	20	-
	100.0	1.5	12.1	56.1	30.3	-
すぐにでも転居したい	8	-	-	2	6	-
	100.0	-	-	25.0	75.0	-
転居が決まっている	9	3	2	4	-	-
	100.0	33.3	22.2	44.4	-	-
無回答	5	-	-	-	1	4
	100.0	-	-	-	20.0	80.0

II 一問2 あなたは、これからも南幌町に住み続けたいと思いますか

「これからも住み続けたい」が 44.1%、「当分は住み続けたい」が 37.9%で合わせると 82.0%である。

年代別では、「これからも住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計は 60 歳以上の各年代で 90.0%と前後とほとんどを占めるが、20～29 歳では 57.1%と少ない。

問2 これからも南幌町に住み続けたい[%]

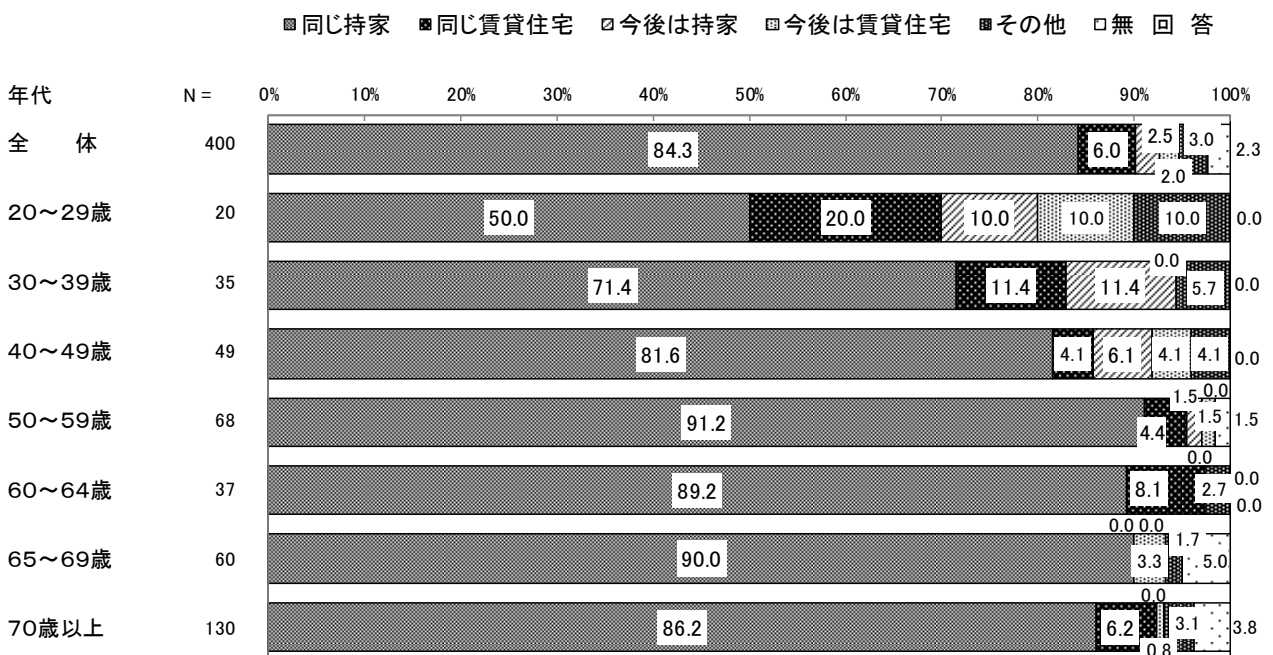


II 一問3 (問2で「1 これからも住み続けたい」「2 当分は住み続けたい」とお答えの方におたずねします。)今後の住宅形態はどのようにお考えでしょうか

「同じ持家」が 84.3%と多い。

年代別では、「同じ賃貸住宅」が 20～29 歳で 20.0%、30～39 歳では 11.4%で続いている。

問3 今後の住宅形態[%]



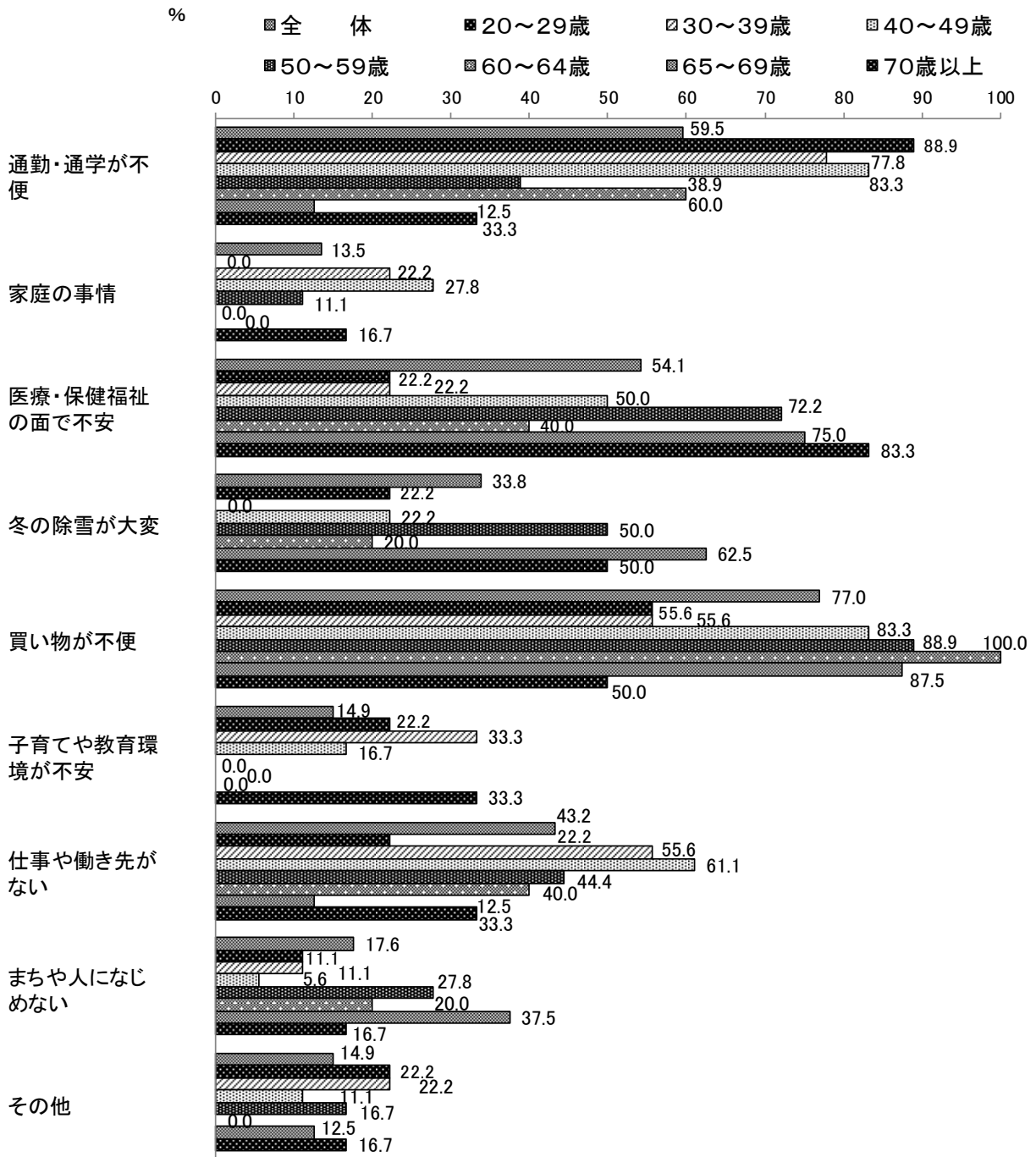
Ⅱ 問4 (問2で「3 できれば転居したい」「4 すぐにでも転居したい」とお答えの方におたずねします。)転居したいと思う理由は何ですか

「買い物が不便」が77.0%と多く、「通勤・通学が不便」が59.5%、「医療・保健福祉の面で不安」が54.1%と続いている。

年代別では、「買い物が不便」は40～69歳代で80.0%以上となり、特に60～64歳代では全員が回答している。

問4 転居したいと思う理由[%・複数回答]

N = 74



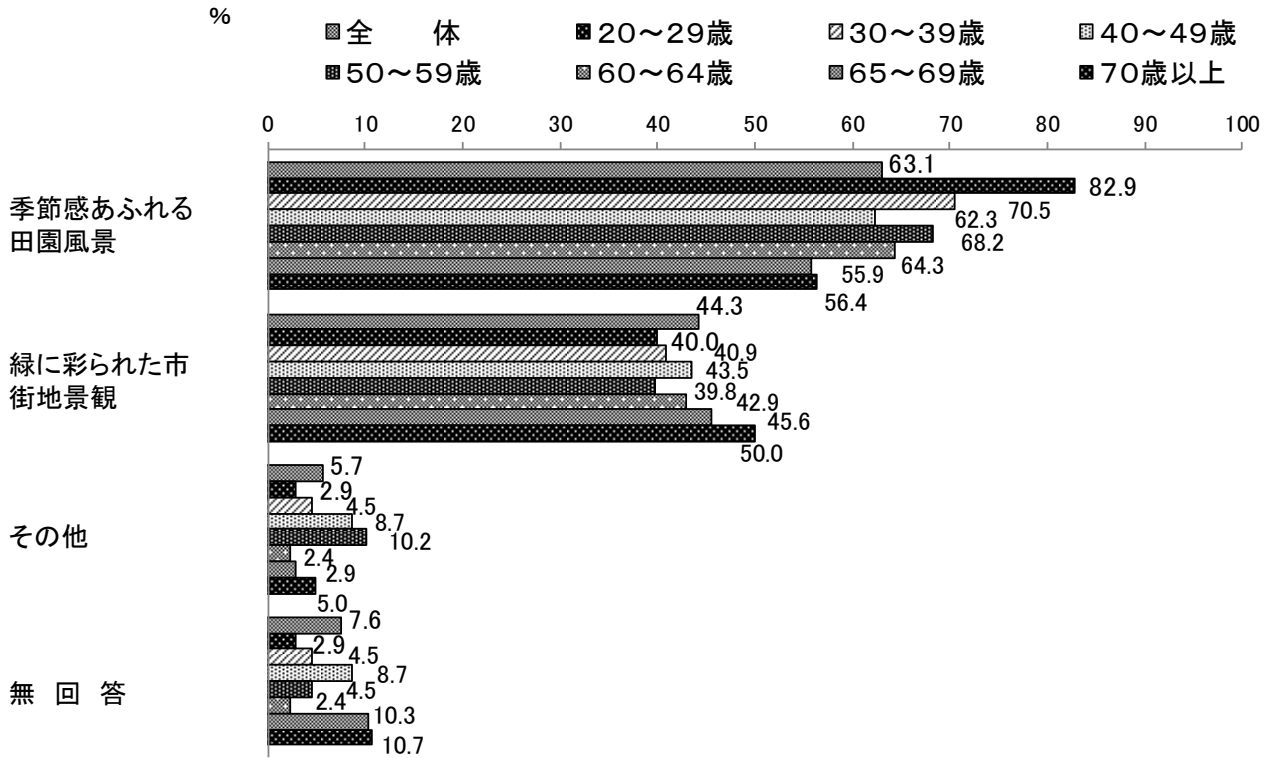
Ⅱ 問5 あなたが考える「まちの景観」は何ですか

「季節感あふれる田園風景」が63.1%で、「緑に彩られた市街地景観」が44.3%となっている。

年代別では、20～29歳で「季節感あふれる田園風景」が82.9%と、多く回答されている。

問5 あなたの考える「まちの景観」について[%・複数回答]

N = 488

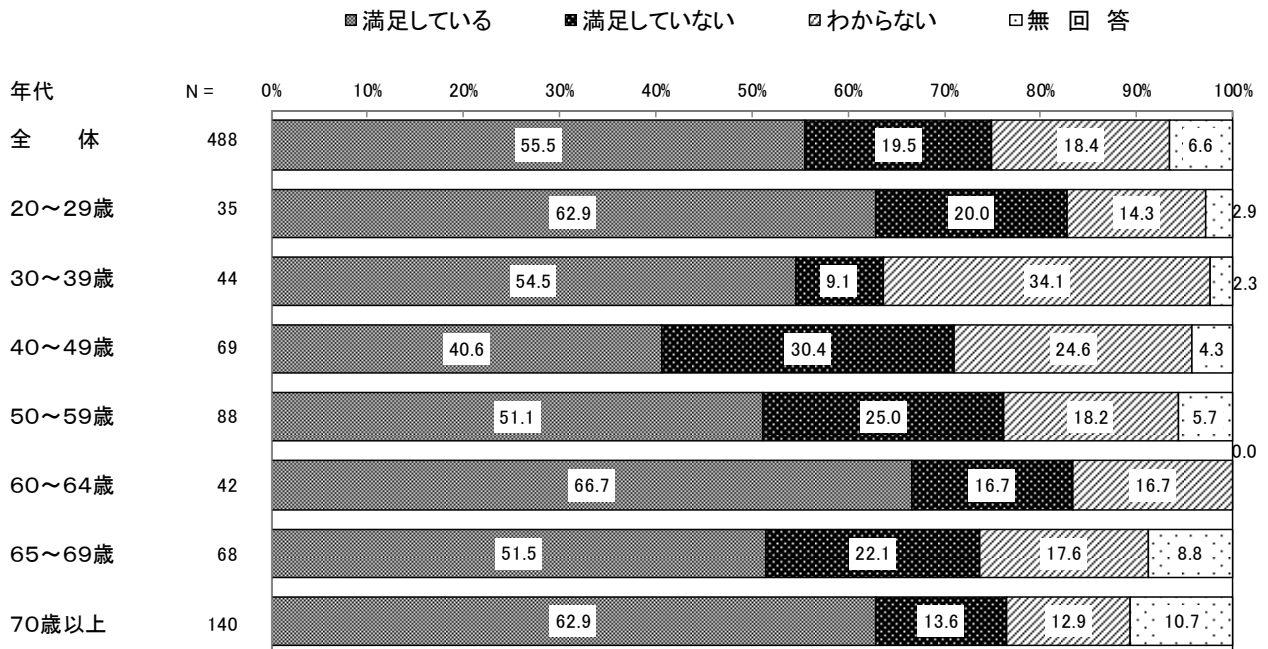


Ⅱ 問6 問5でお答えした景観について、現在、満足していますか

「満足している」が55.5%で、「満足していない」は19.5%である。

年代別では、30～39歳で他の年代に比べて「満足していない」が9.1%と少なく、「わからない」が34.1%と多い。

問6 景観に対する満足度[%]



〔参考：「まちの景観」別分析〕

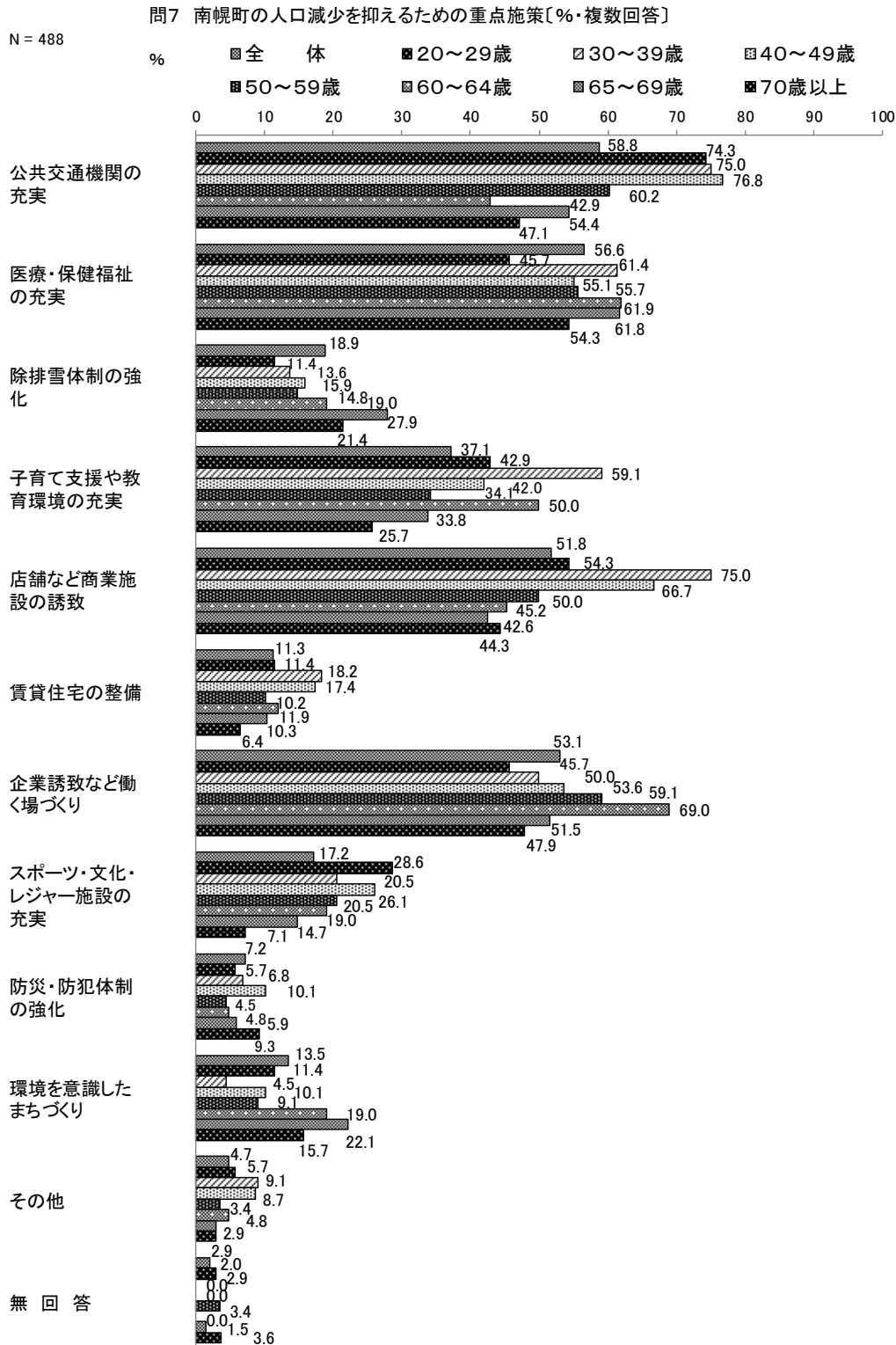
(上段 人／下段 %)

	全 体	満足してい る	満足してい ない	わからない	無回答
全体	488 100.0	271 55.5	95 19.5	90 18.4	32 6.6
季節感あふれる 田園風景	308 100.0	193 62.7	54 17.5	50 16.2	11 3.6
緑に彩られた 市街地景観	216 100.0	134 62.0	45 20.8	34 15.7	3 1.4
その他	28 100.0	6 21.4	16 57.1	5 17.9	1 3.6
無回答	37 100.0	3 8.1	4 10.8	11 29.7	19 51.4

Ⅱ 問7 あなたは、南幌町の人口減少を抑えるためには、町としてどのようなことを重点的にすべきと思いますか

「公共交通機関の充実」が58.8%、「医療・保健福祉の充実」が56.6%、「企業誘致など働く場づくり」が53.1%、「店舗など商業施設の誘致」が51.8%となっている。

年代別では、「公共交通機関の充実」は20～49歳で70.0%を超えているが、60歳以上では50.0%前後となる。30～39歳では「子育ての支援や教育環境の充実」、「店舗など商業施設の誘致」がそれぞれ59.1%、75.0%と、他の年代に比べて多い。



〔参考：居住地区別分析〕

(上段 人／下段 %)

	全 体	公共交 通機関 の充実	医療・保 健福祉 の充実	除排雪 体制の 強化	子育て 支援や 教育環 境の充 実	店舗な ど商業 施設の 誘致	賃貸住 宅の整 備	企業誘 致など 働く場 づくり
全体	488 100.0	287 58.8	276 56.6	92 18.9	181 37.1	253 51.8	55 11.3	259 53.1
市街地区	347 100.0	212 61.1	201 57.9	67 19.3	130 37.5	198 57.1	38 11.0	203 58.5
農村地区	131 100.0	71 54.2	71 54.2	23 17.6	48 36.6	50 38.2	15 11.5	53 40.5
無回答	10 100.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	3 30.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0
	スポー ツ・文 化・レ ジャー 施設の 充実	防災・防 犯体制 の強化	環境を 意識し たまち づくり	その他	無回答			
全体	84 17.2	35 7.2	66 13.5	23 4.7	10 2.0			
市街地区	59 17.0	24 6.9	49 14.1	17 4.9	4 1.2			
農村地区	23 17.6	10 7.6	16 12.2	5 3.8	5 3.8			
無回答	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0			

〔参考：居留意向別分析〕

(上段 人／下段 %)

	全 体	公共交 通機関 の充実	医療・保 健福祉 の充実	除排雪 体制の 強化	子育て 支援や 教育環 境の充 実	店舗な ど商業 施設の 誘致	賃貸住 宅の整 備	企業誘 致など 働く場 づくり
全体	488 100.0	287 58.8	276 56.6	92 18.9	181 37.1	253 51.8	55 11.3	259 53.1
これからも住 み続けたい	215 100.0	107 49.8	120 55.8	40 18.6	87 40.5	92 42.8	18 8.4	122 56.7
当分は住み 続けたい	185 100.0	115 62.2	102 55.1	35 18.9	65 35.1	98 53.0	22 11.9	88 47.6
できれば転 居したい	66 100.0	51 77.3	42 63.6	14 21.2	26 39.4	49 74.2	13 19.7	42 63.6
すぐにでも転 居したい	8 100.0	6 75.0	6 75.0	2 25.0	- -	7 87.5	- -	3 37.5
転居が決ま っている	9 100.0	7 77.8	5 55.6	1 11.1	2 22.2	6 66.7	2 22.2	3 33.3
無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0	- -	1 20.0
	スポー ツ・文 化・レ ジャー 施設の 充実	防災・防 犯体制 の強化	環境を 意識し たまち づくり	その他	無回答			
全体	84 17.2	35 7.2	66 13.5	23 4.7	10 2.0			
これからも住 み続けたい	35 16.3	21 9.8	38 17.7	5 2.3	3 1.4			
当分は住み 続けたい	35 18.9	9 4.9	21 11.4	14 7.6	1 0.5			
できれば転 居したい	13 19.7	5 7.6	7 10.6	4 6.1	2 3.0			
すぐにでも転 居したい	1 12.5	- -	- -	- -	- -			
転居が決ま っている	- -	- -	- -	- -	- -			
無回答	- -	- -	- -	- -	4 80.0			

6. まちづくりの満足度・重要度

Ⅱ 一問 8 現在、南幌町では、5つを望ましいまちの姿として掲げ、「町民主体の行政」を基本としたまちづくりを進めています。あなたは、南幌町のまちづくりについてどのような感想やお考えをお持ちですか

【満足度について】

満足度が高い項目（「満足」と「まあ満足」の合計）として「健康予防対策」が60.8%、「南幌の暮らしを楽しむ」が46.1%、「防災・防犯対策」が45.1%で続いている。

年代別では、1位の「健康予防対策」は最も少ない60～64歳でも54.7%と、各年代で60.0%前後回答されている。

満足度が高い項目（「満足」と「まあ満足」の合計）〔上位10項目〕

順位	項目	割合（%）
1位	健康予防対策	60.8
2位	南幌の暮らしを楽しむ	46.1
3位	防災・防犯対策	45.1
4位	高齢者の生活支援	40.6
5位	町民主体の行政	39.2
6位	高齢者の社会参加	37.7
	資源循環型の環境づくり	
8位	スポーツ・レクリエーション活動	37.1
9位	出会いと交流の場づくり	36.7
10位	学校教育	35.5

満足度が低い項目（「不満」と「やや不満」の合計）では、「医療環境」が58.6%、「商業振興」が56.8%、「工業振興」は55.3%と、上位3位はほぼ同じくらいの回答となっている。

年代別では、1位の「医療環境」は20～59歳で70.0%を超えているが、60歳代では50.0%台となり、70歳以上は40.7%である。「商業振興」は40～49歳で78.2%と他の年代に比べて多い。

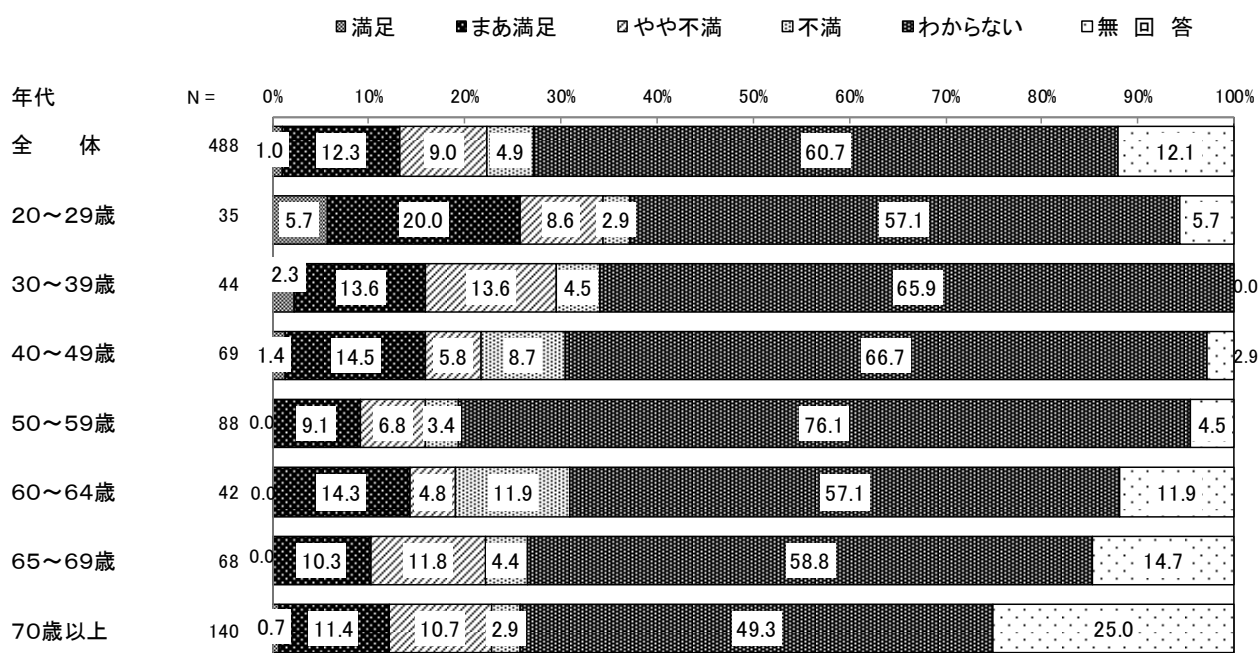
満足度が低い項目（「不満」と「やや不満」の合計）〔上位 10 項目〕

順位	項目	割合 (%)
1 位	医療環境	58.6
2 位	商業振興	56.8
3 位	工業振興	55.3
4 位	快適な都市環境づくり	40.6
5 位	安全・安心、便利な交通対策	36.9
6 位	南幌の暮らしを楽しむ	23.6
7 位	町政主体の行政	22.8
8 位	資源循環型の環境づくり	22.7
9 位	防災・防犯対策	21.3
10 位	農業振興（顔の見える農業や食育の推進）	19.3

地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまち

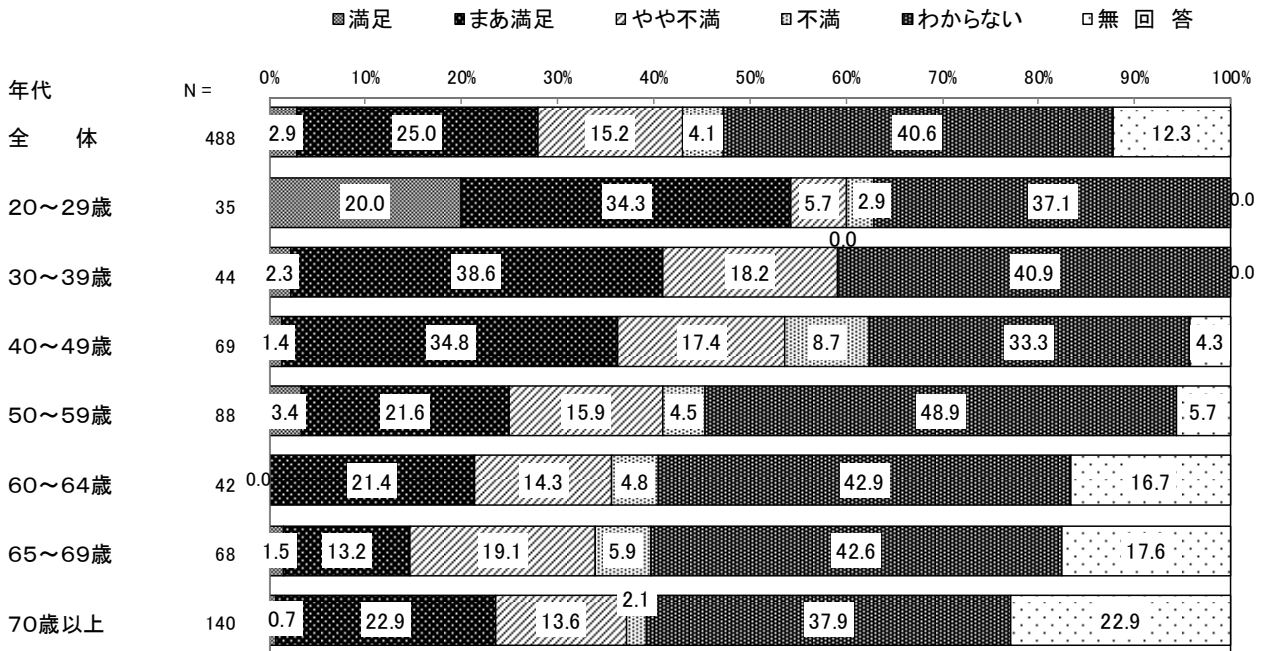
問8 南幌町のまちづくり 満足度

1. 農業振興（農業経営の確立）〔%〕



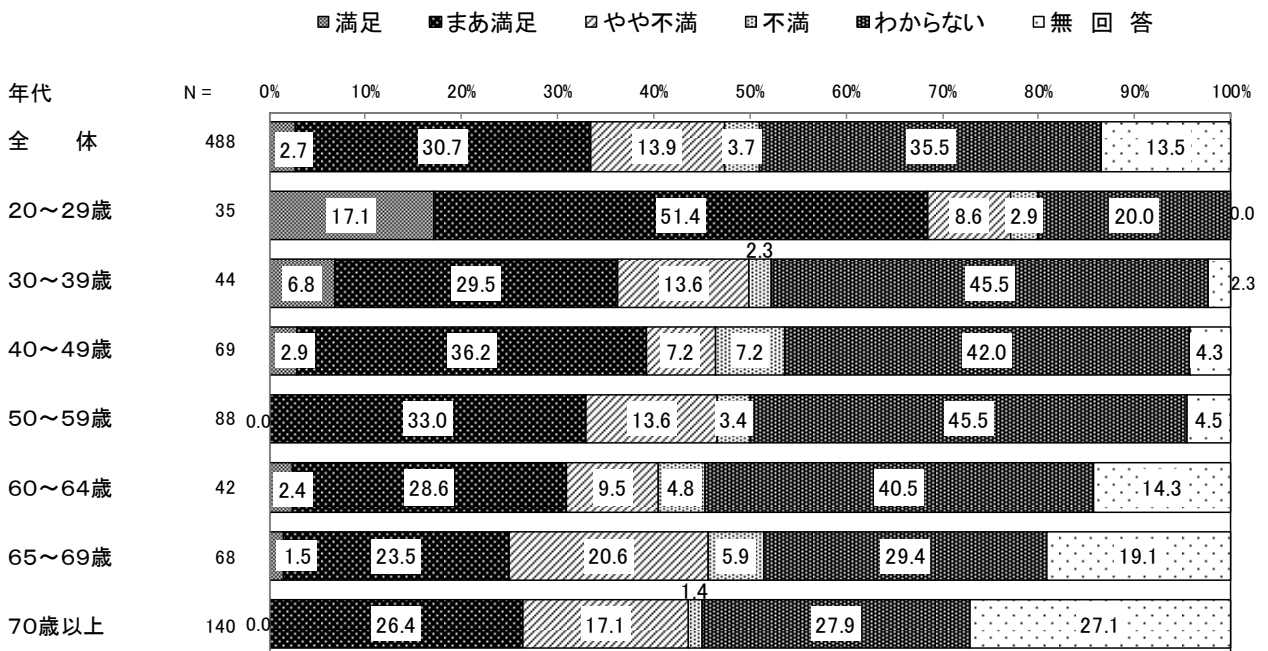
問8 南幌町のまちづくり 満足度

2. 農業振興(顔の見える農業や食育の推進)[%]



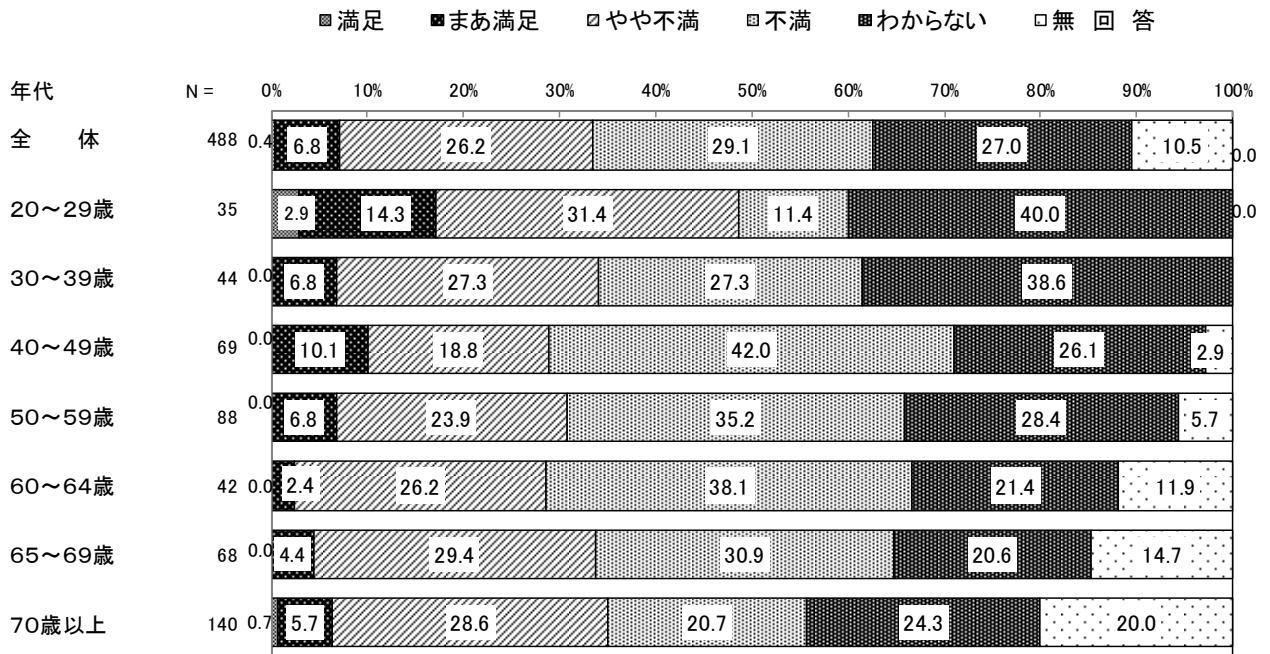
問8 南幌町のまちづくり 満足度

3. 農業振興(農村環境の保全)[%]



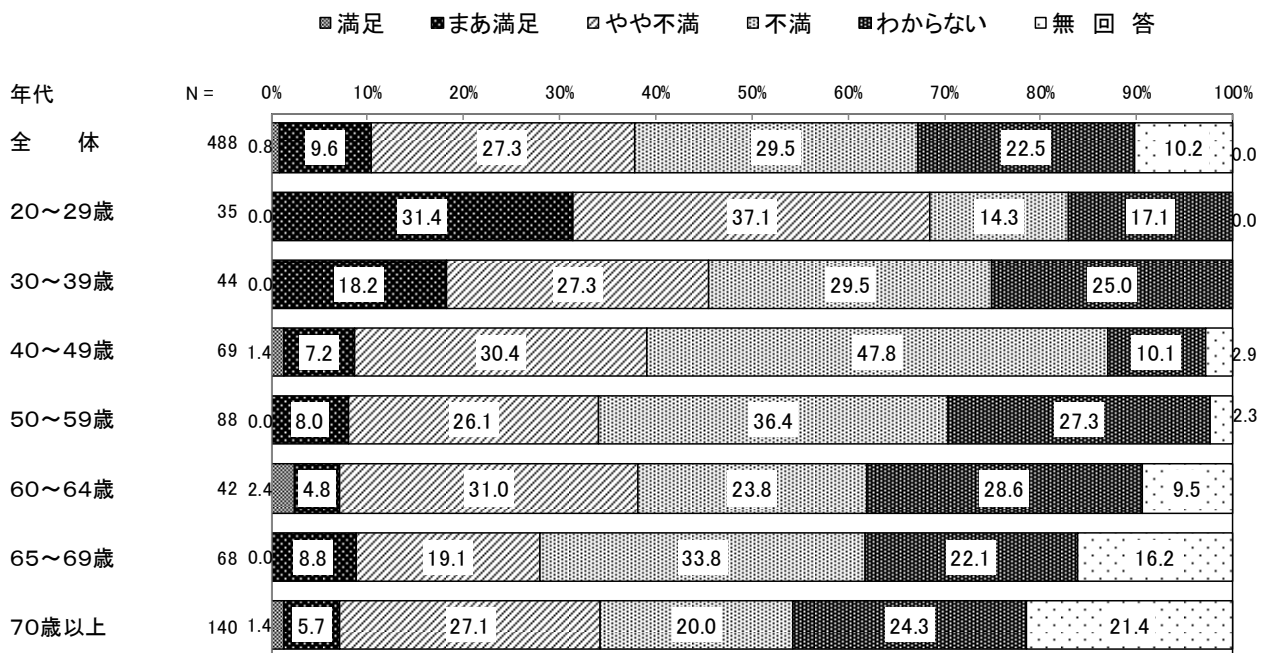
問8 南幌町のまちづくり 満足度

4. 工業振興[%]



問8 南幌町のまちづくり 満足度

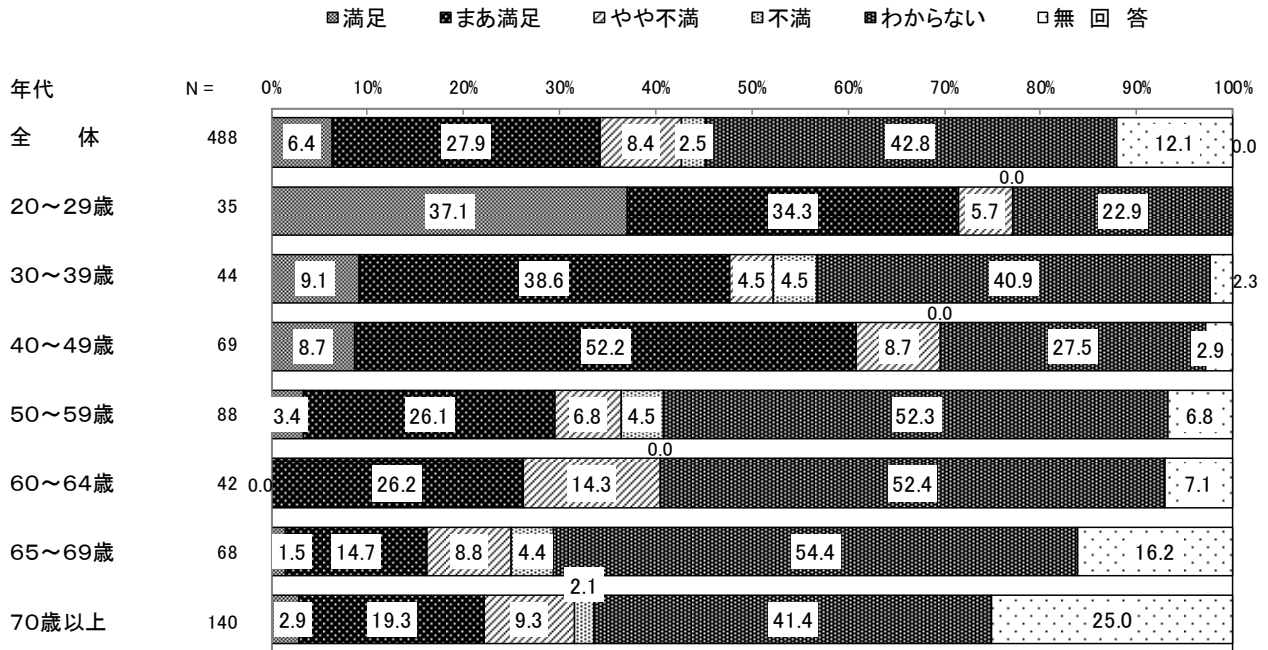
5. 商業振興[%]



地域に根ざした教育と文化の高いまち

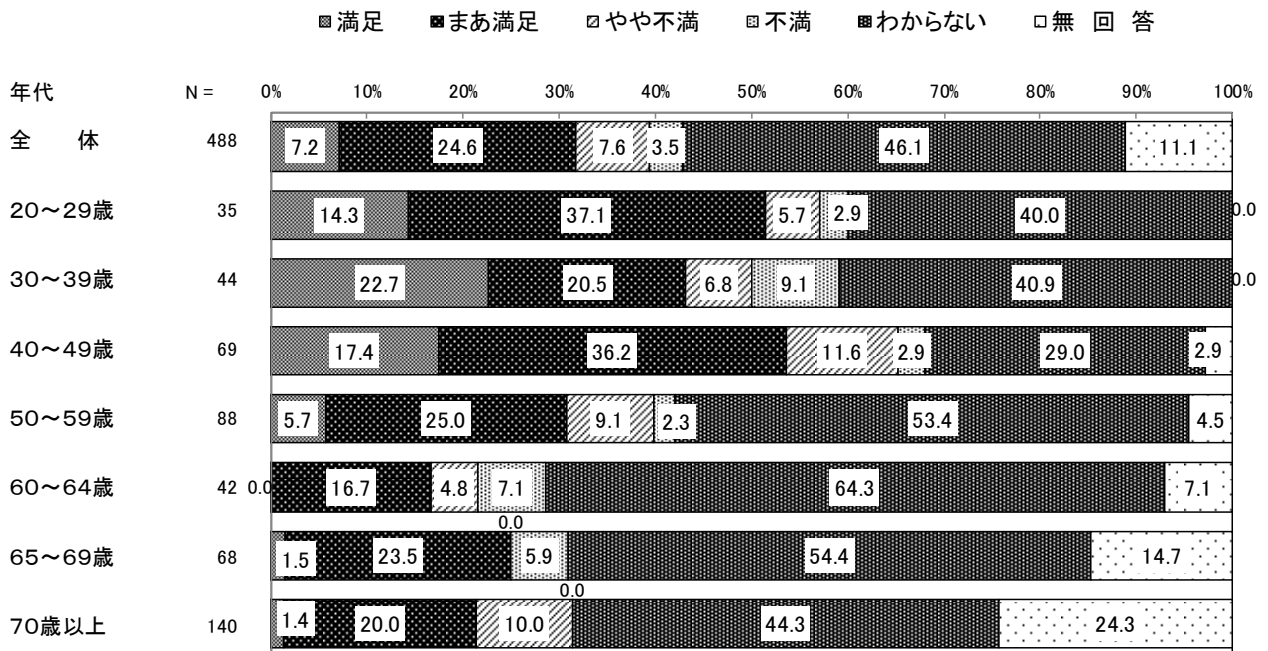
問8 南幌町のまちづくり 満足度

6. 農業を生かした学習機会[%]



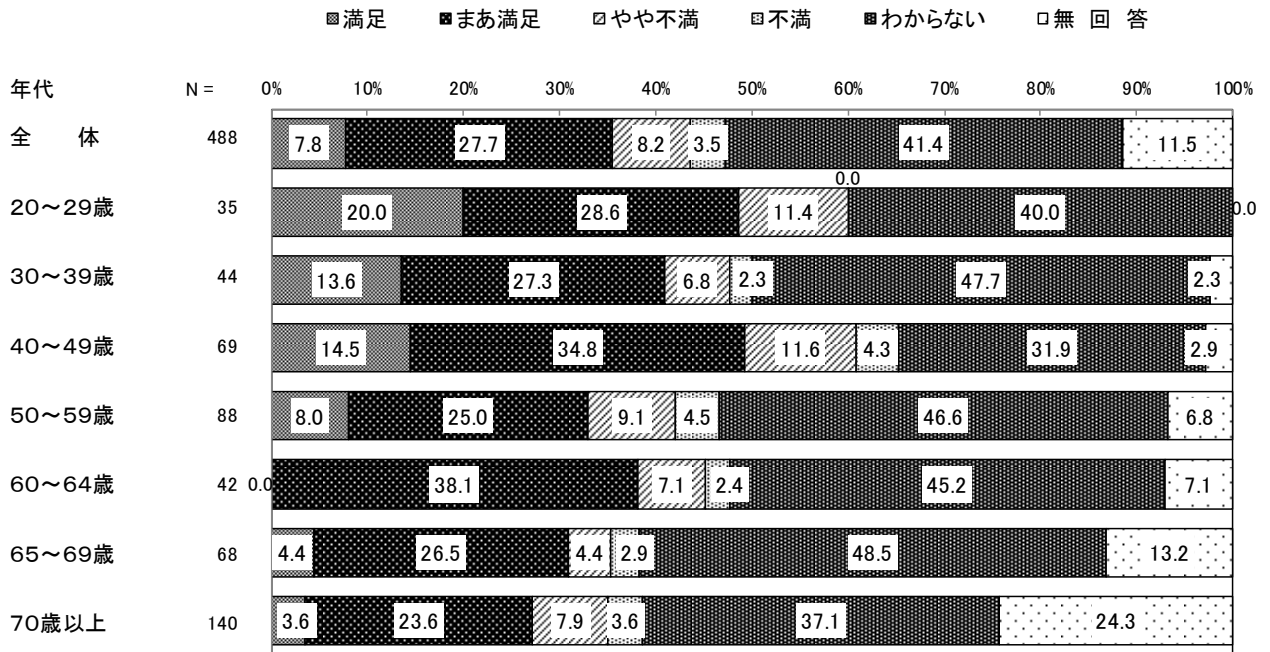
問8 南幌町のまちづくり 満足度

7. 幼児教育[%]



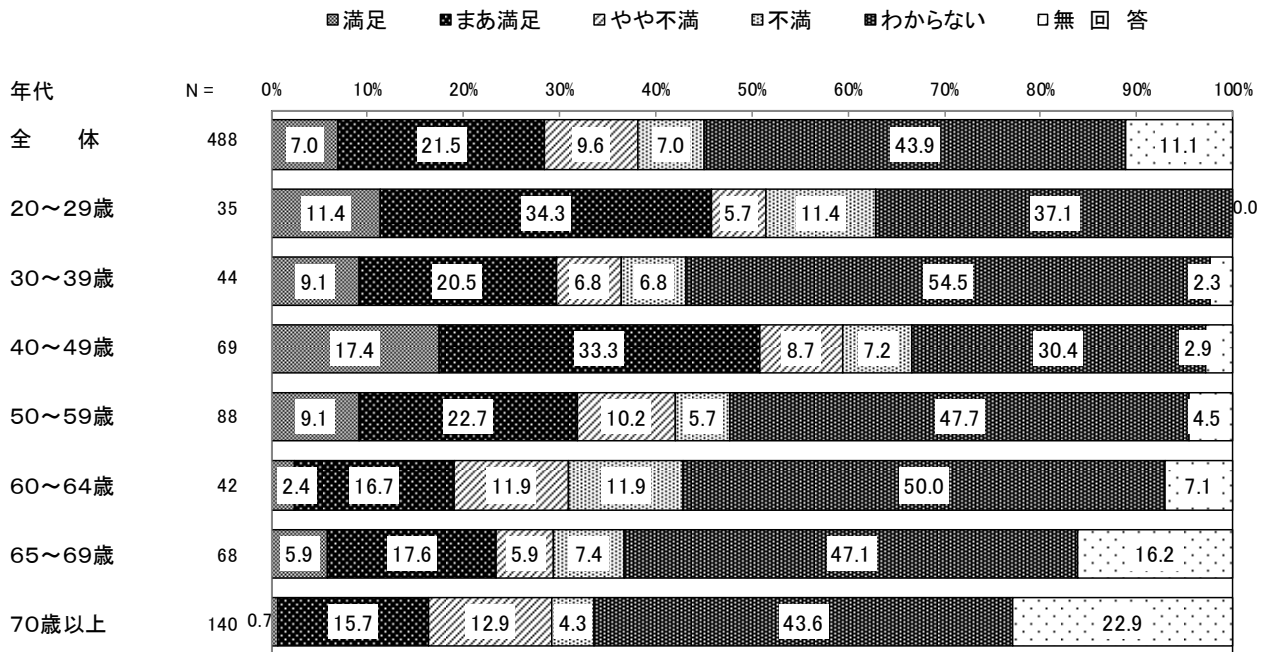
問8 南幌町のまちづくり 満足度

8. 学校教育[%]



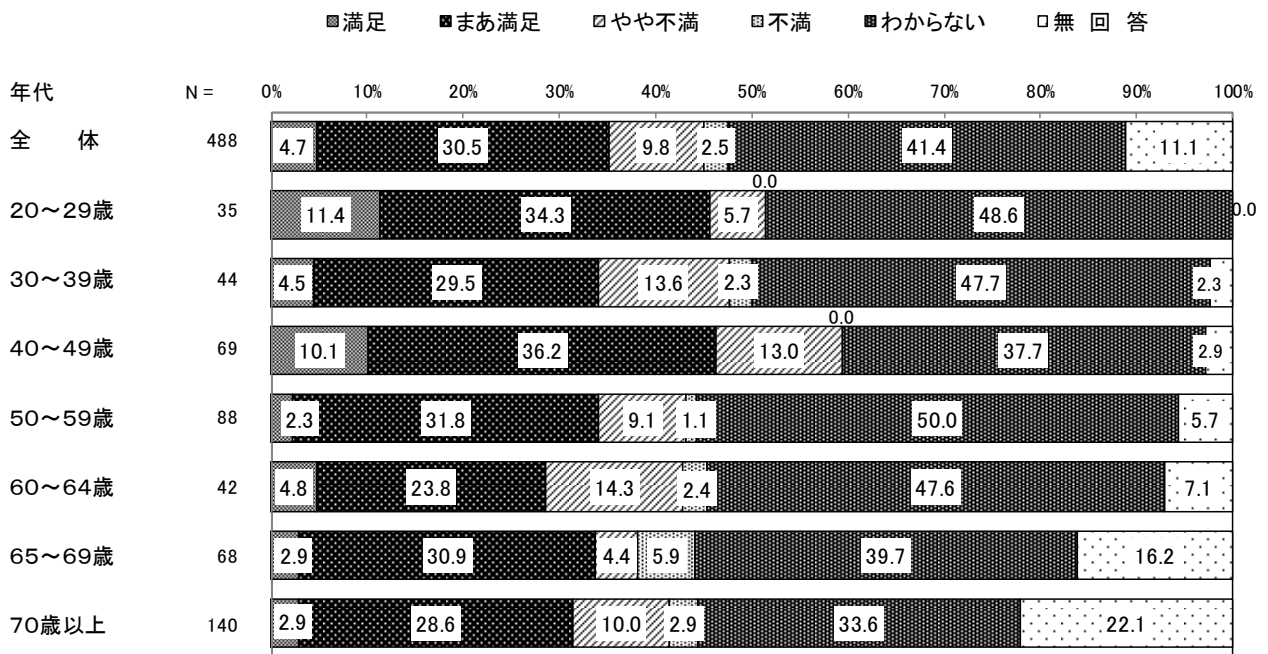
問8 南幌町のまちづくり 満足度

9. 高校の充実と支援[%]



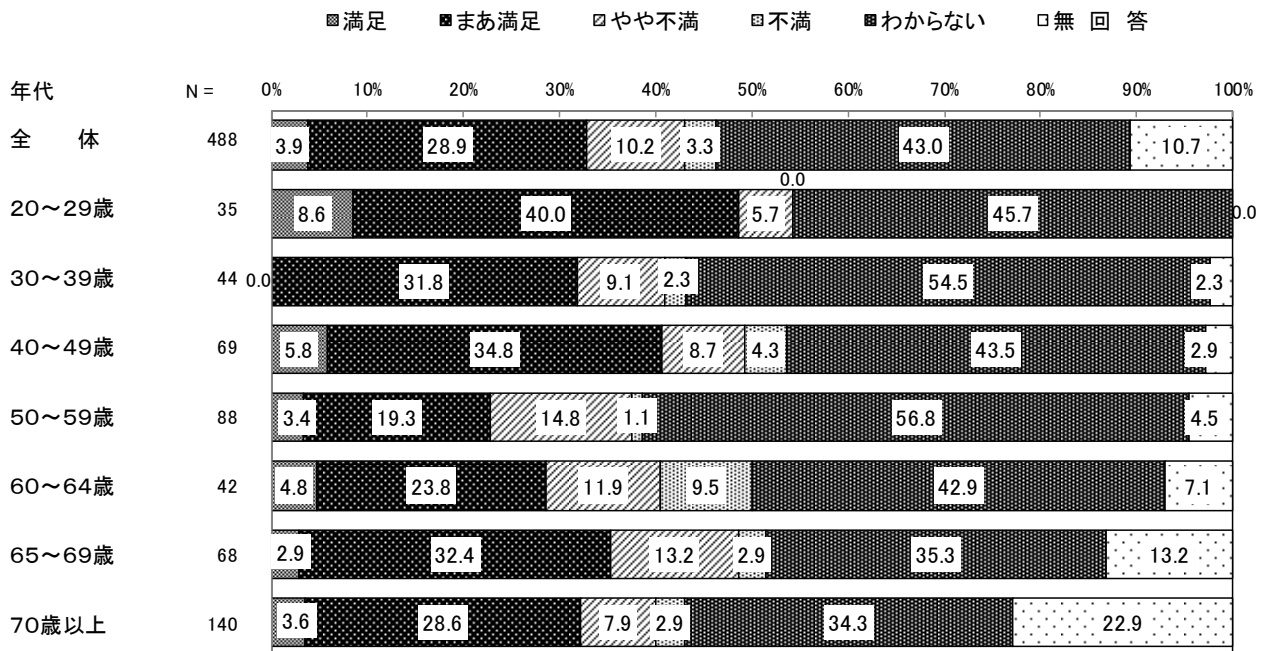
問8 南幌町のまちづくり 満足度

10. 生涯学習[%]



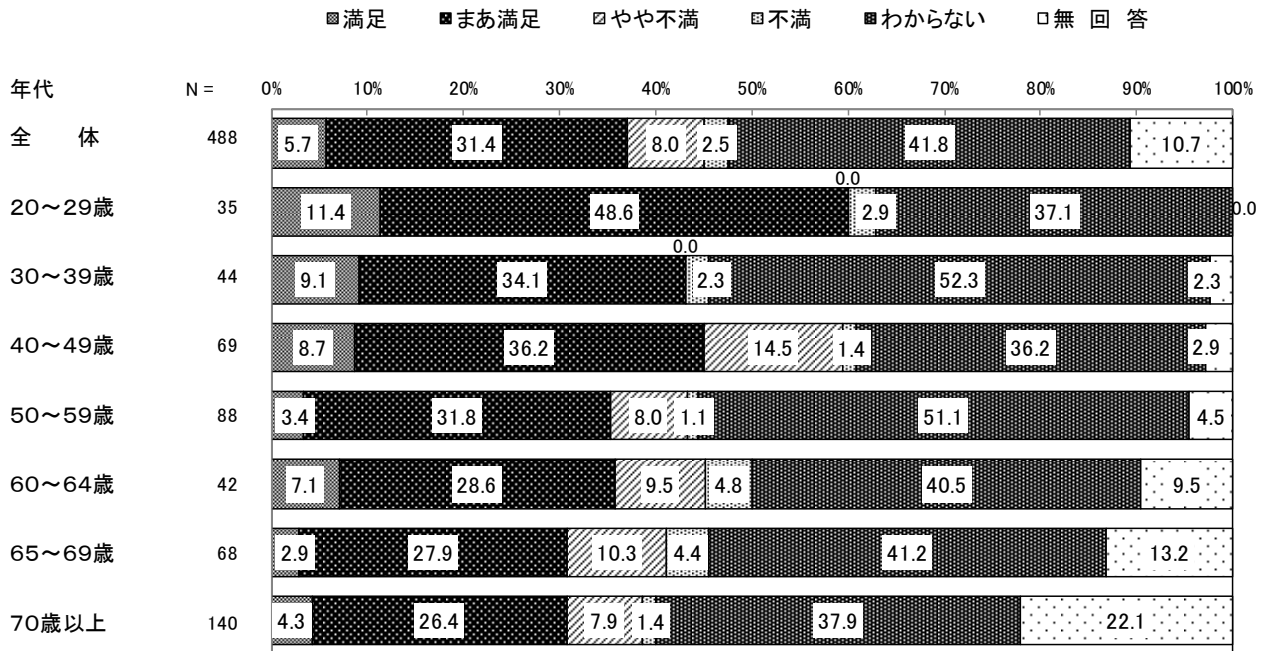
問8 南幌町のまちづくり 満足度

11. 文化活動[%]



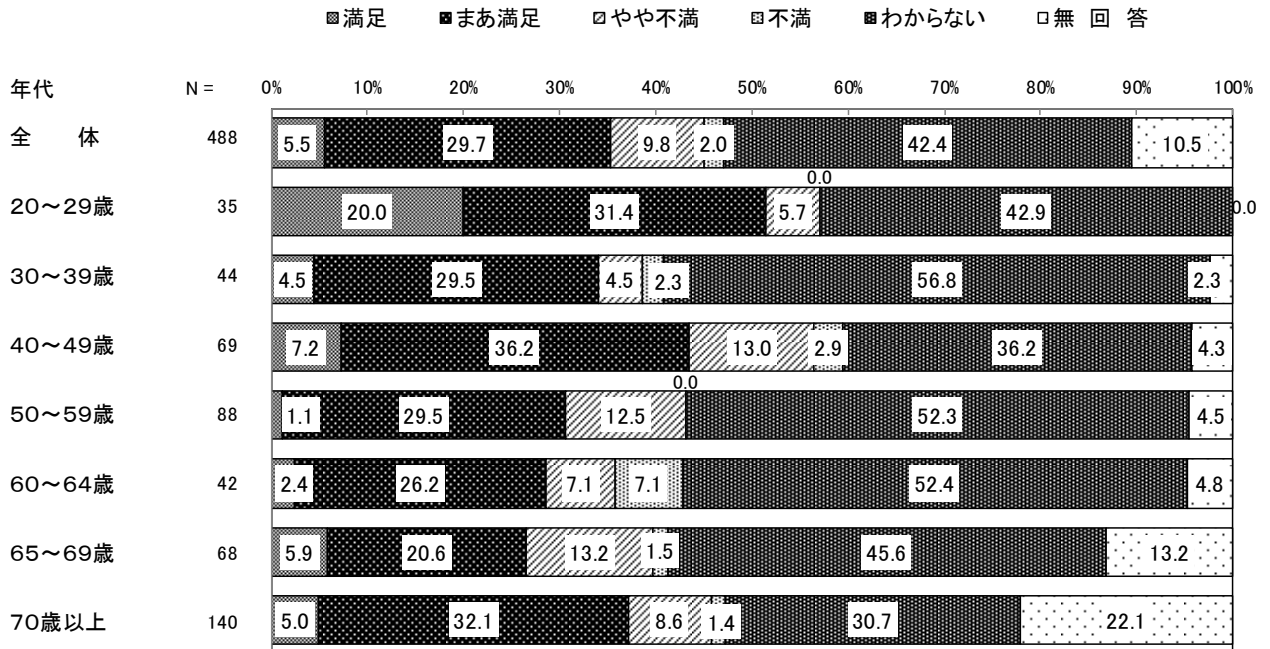
問8 南幌町のまちづくり 満足度

12. スポーツ・レクリエーション活動[%]



問8 南幌町のまちづくり 満足度

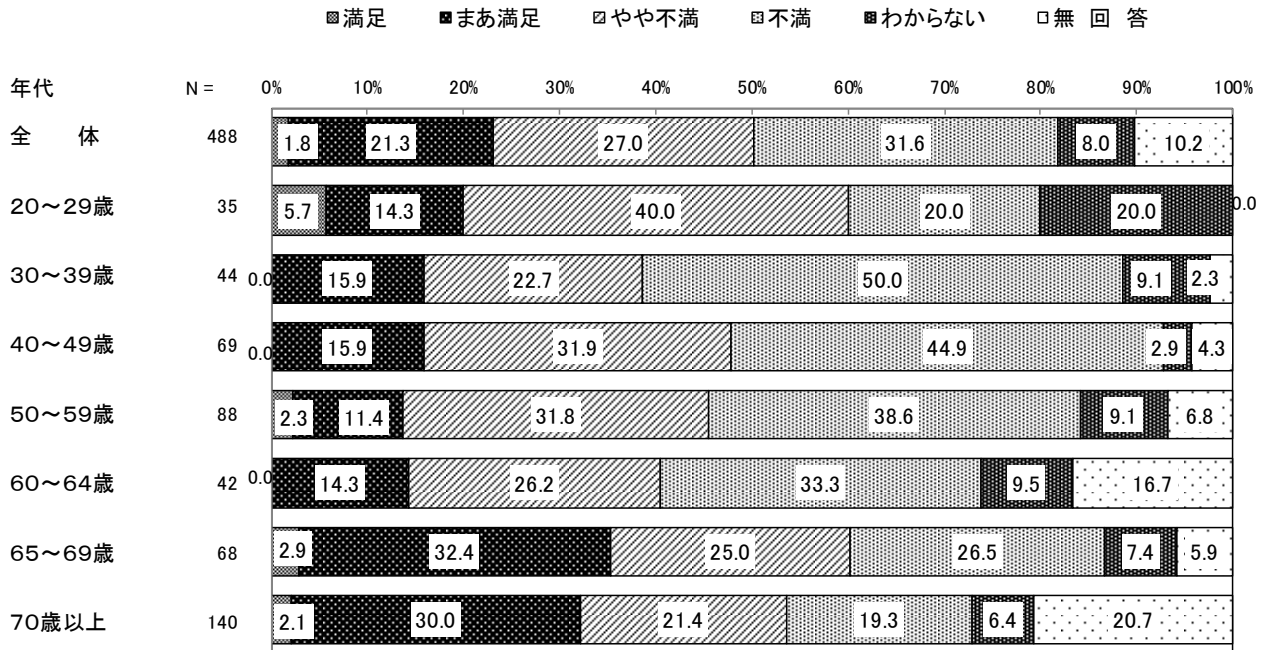
13. ふるさとの記憶と保全、伝承[%]



健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまち

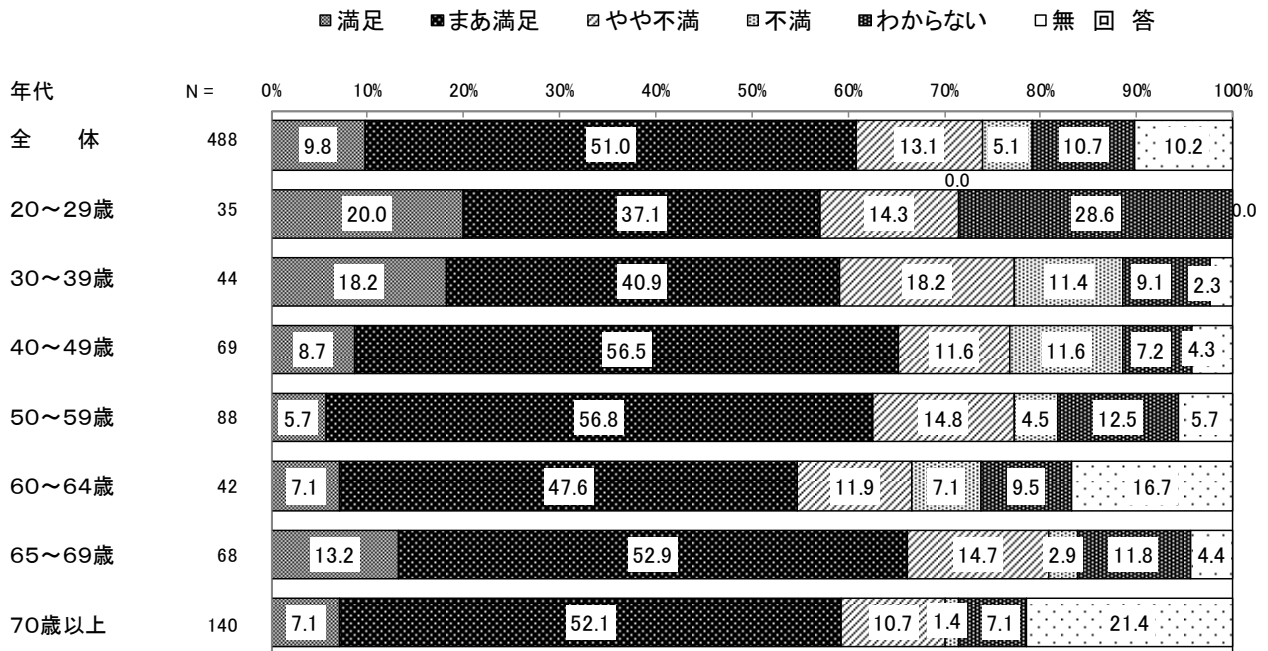
問8 南幌町のまちづくり 満足度

14. 医療環境[%]



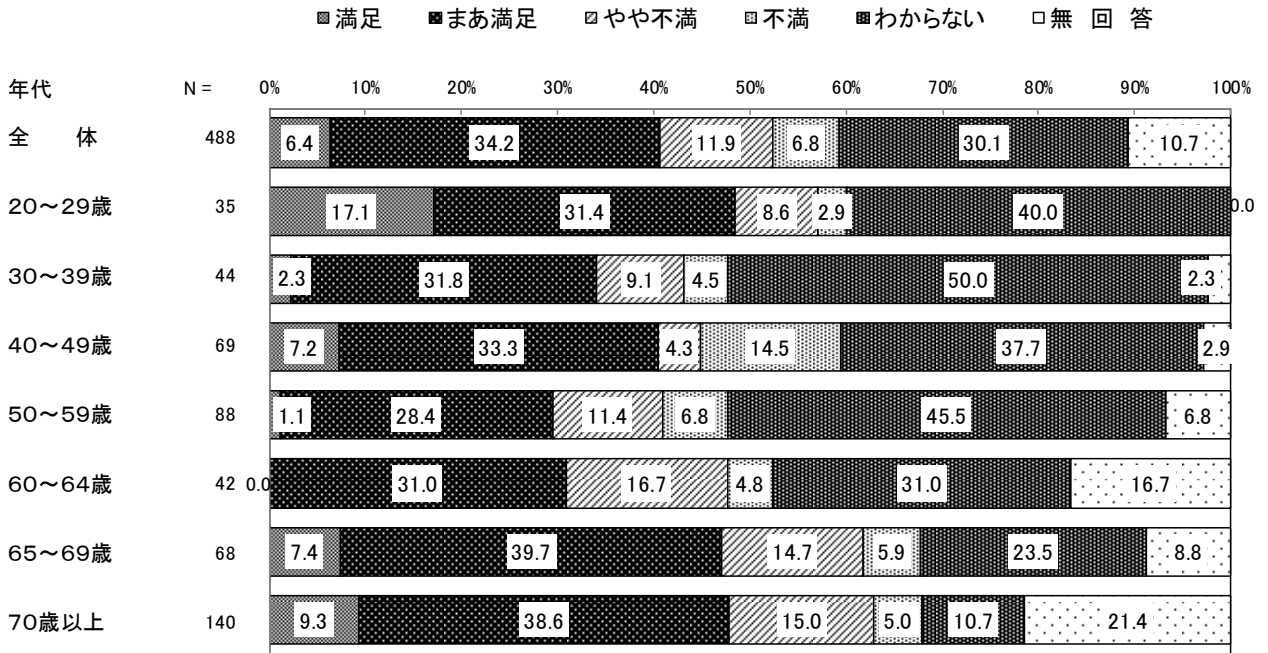
問8 南幌町のまちづくり 満足度

15. 健康予防対策[%]



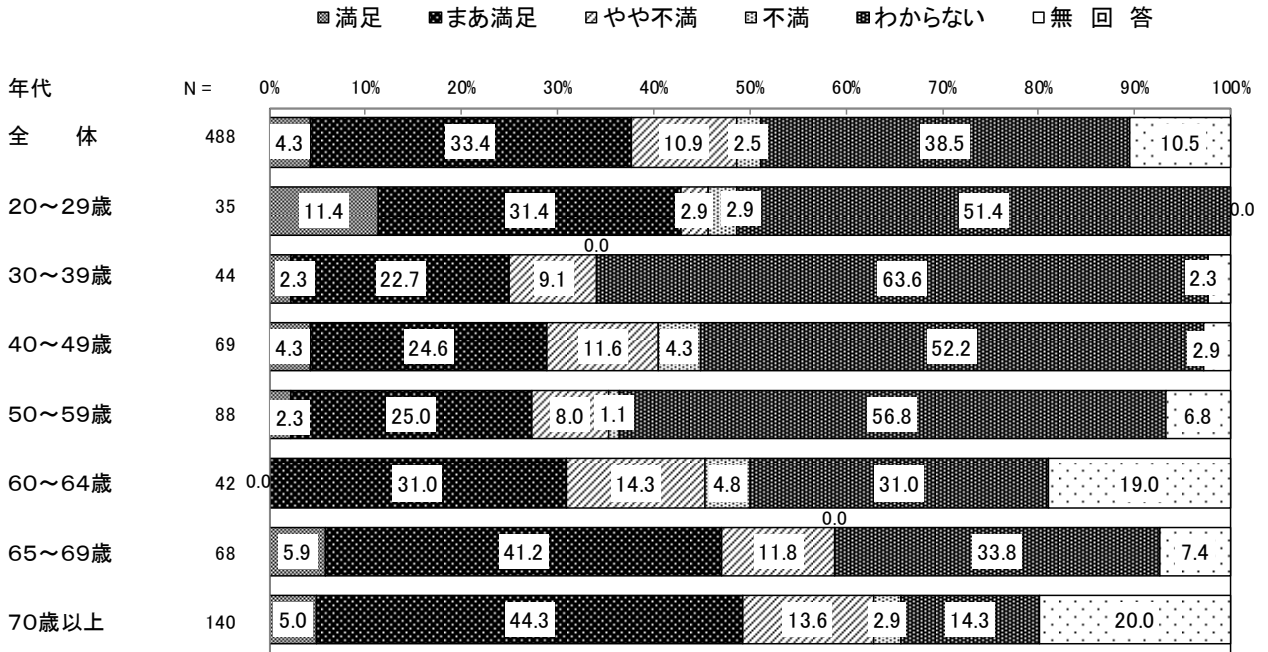
問8 南幌町のまちづくり 満足度

16. 高齢者の生活支援[%]



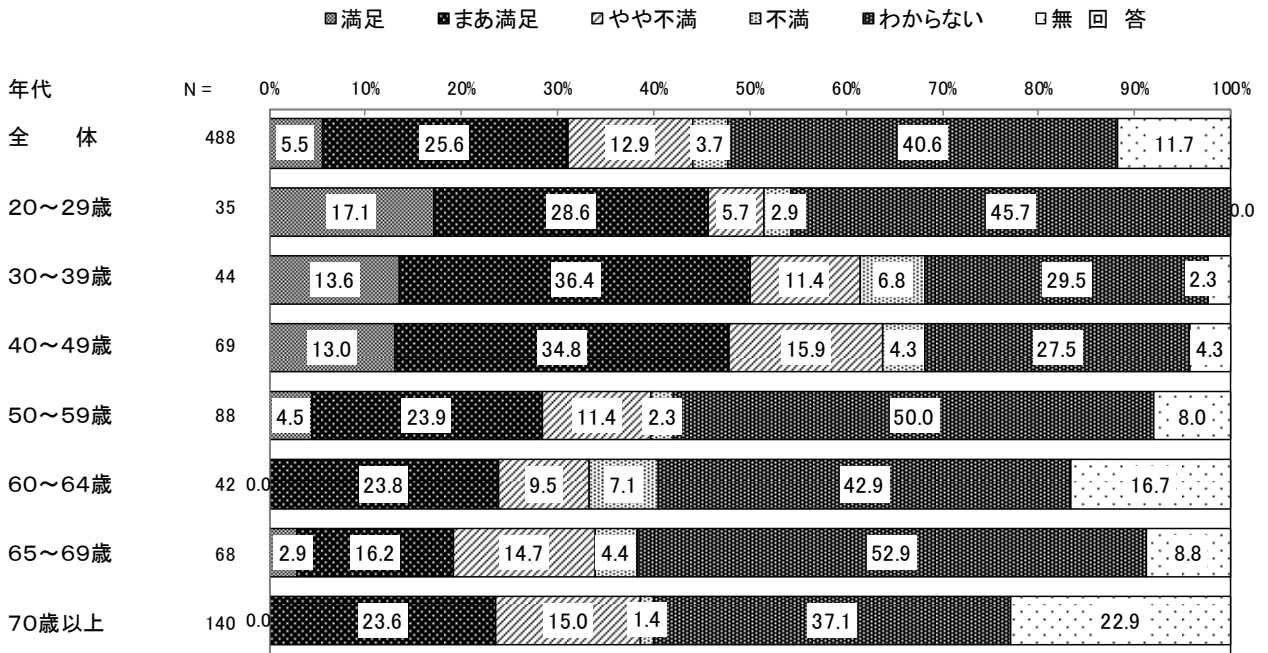
問8 南幌町のまちづくり 満足度

17. 高齢者の社会参加[%]



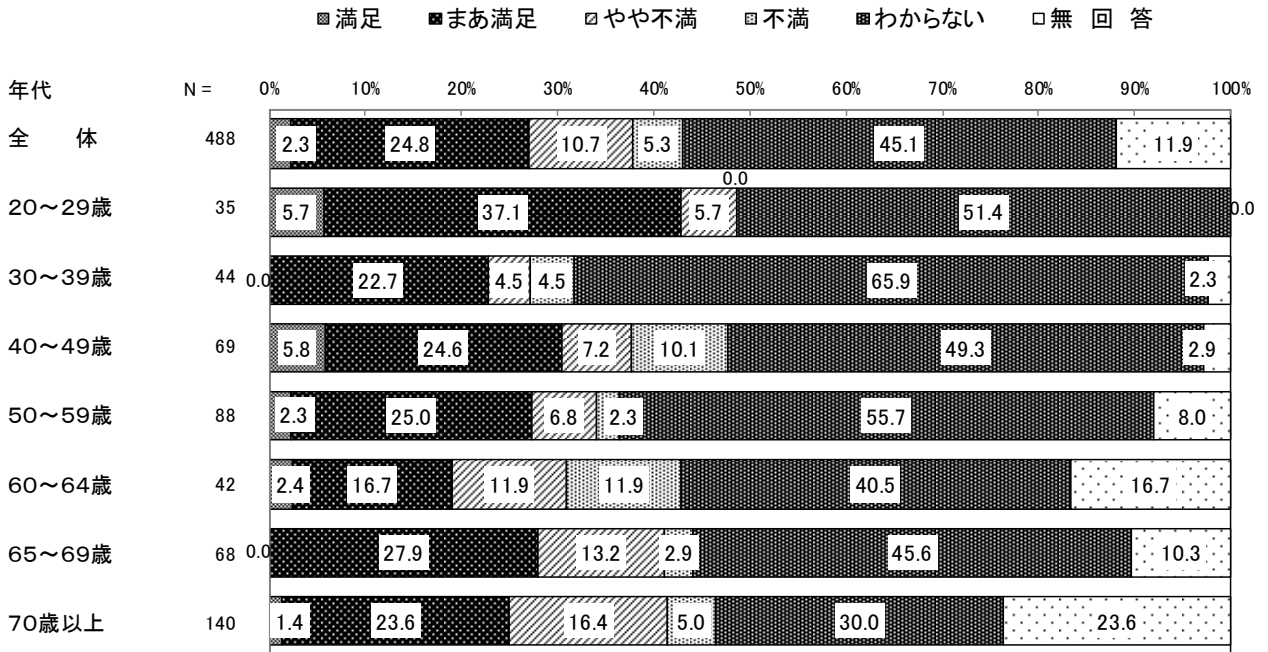
問8 南幌町のまちづくり 満足度

18. 児童福祉[%]



問8 南幌町のまちづくり 満足度

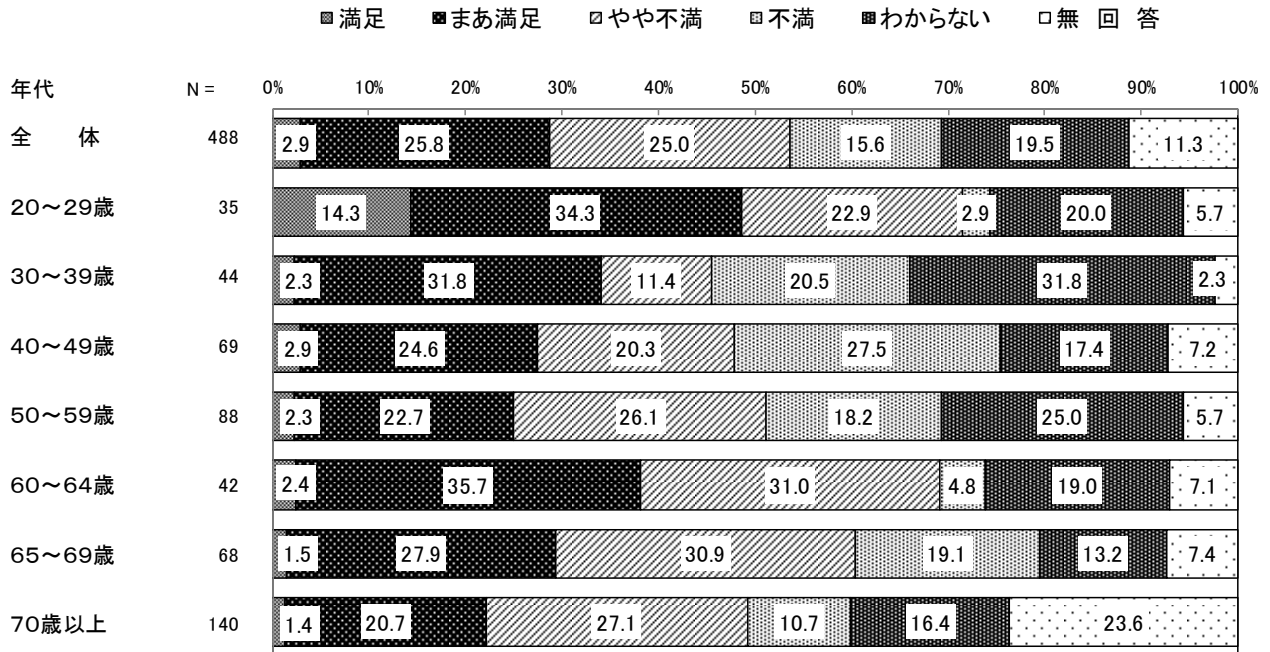
19. 障がい者福祉[%]



安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまち

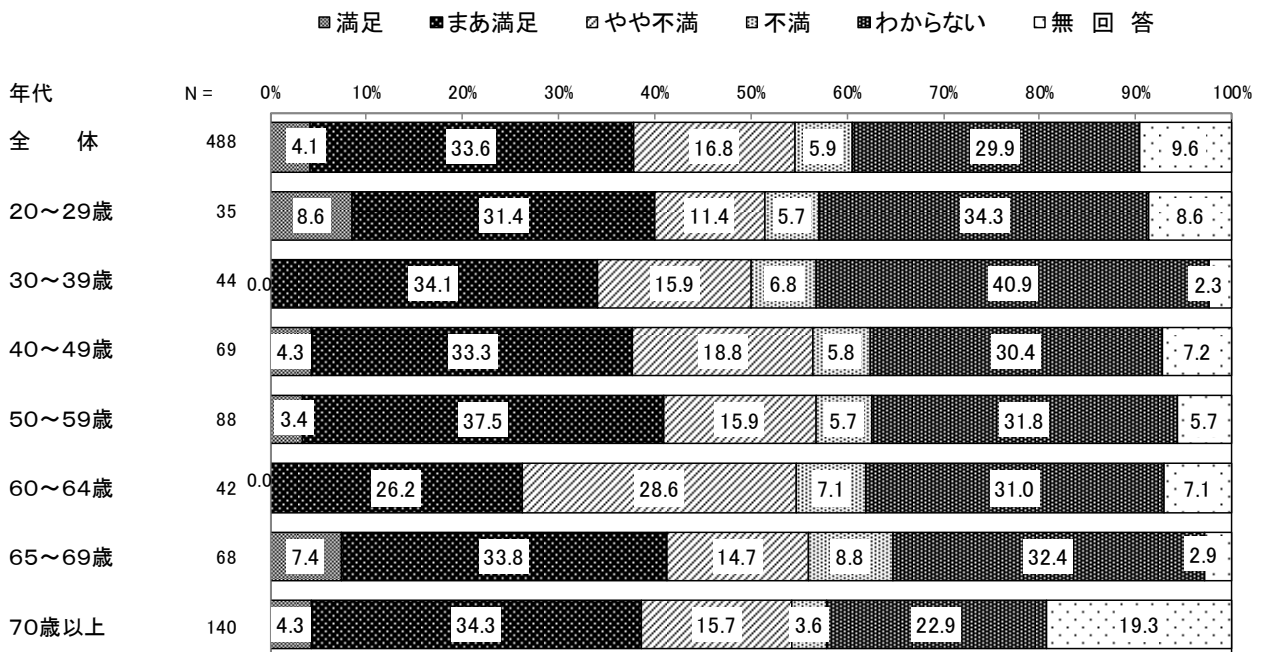
問8 南幌町のまちづくり 満足度

20. 快適な都市環境づくり[%]

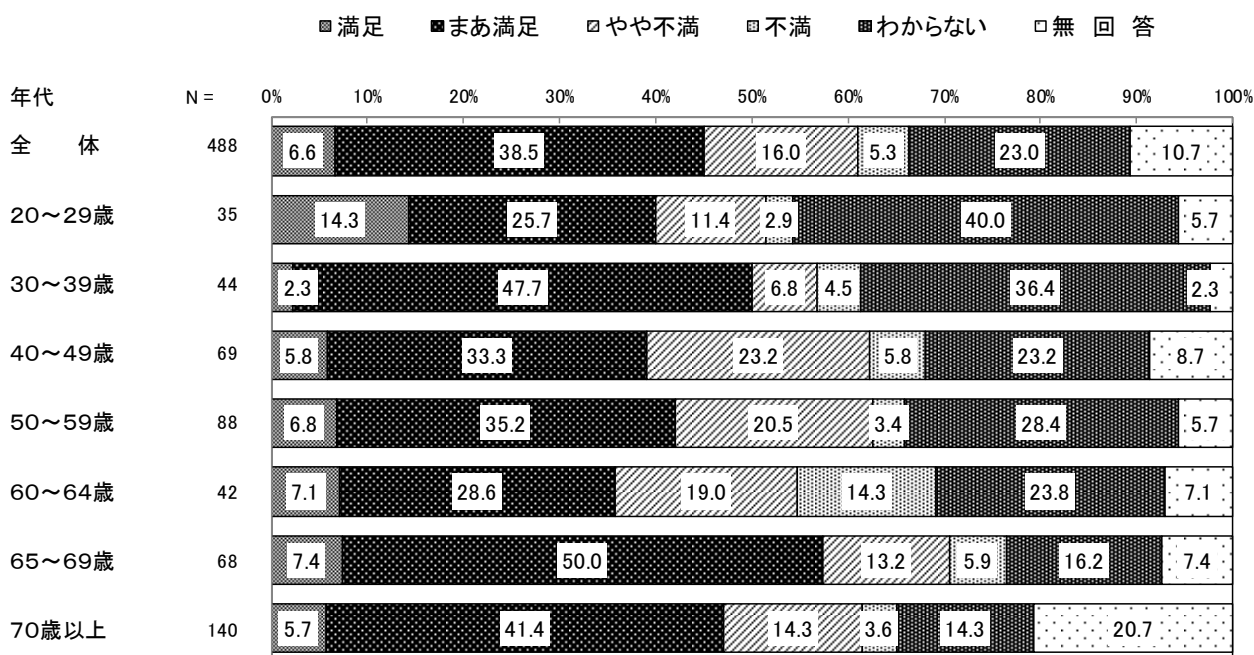


問8 南幌町のまちづくり 満足度

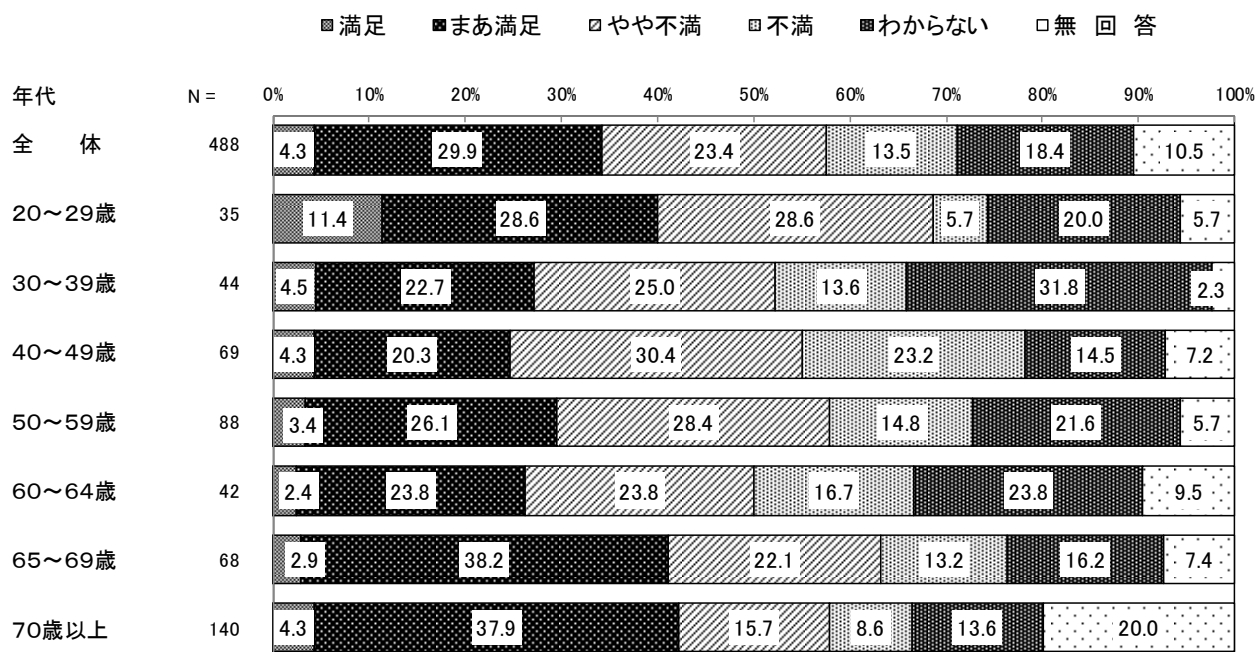
21. 資源循環型の環境づくり[%]



問8 南幌町のまちづくり 満足度
22. 防災・防犯対策[%]

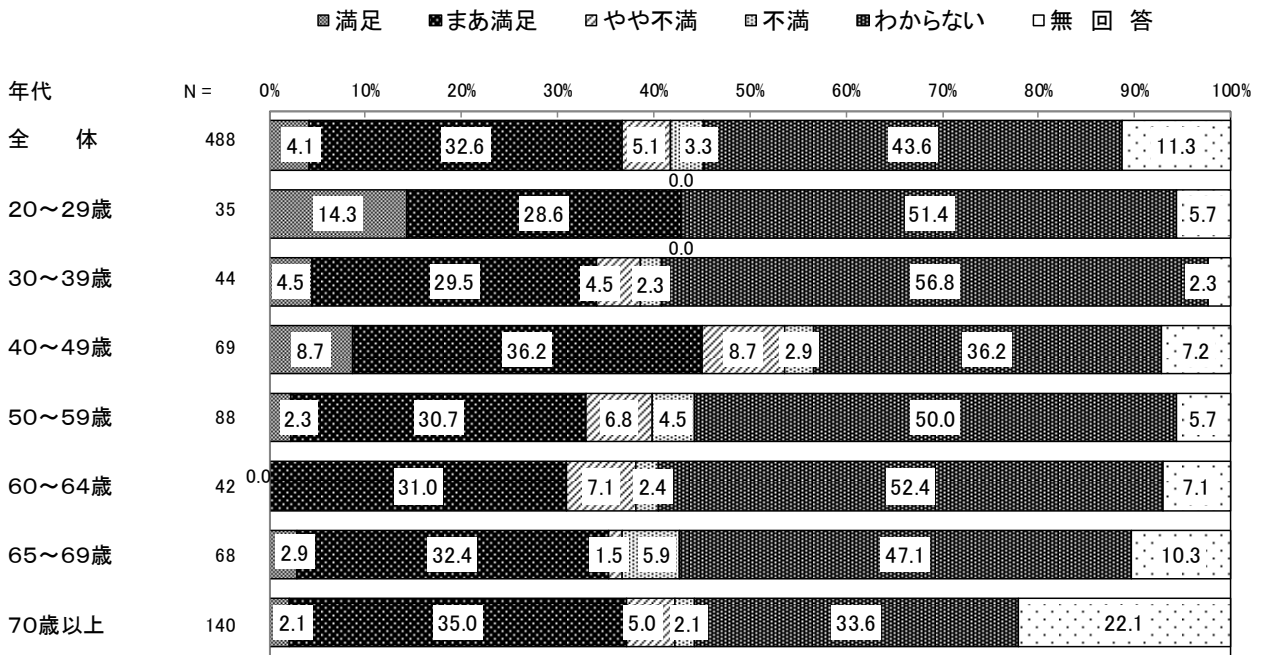


問8 南幌町のまちづくり 満足度
23. 安全・安心、便利な交通対策[%]



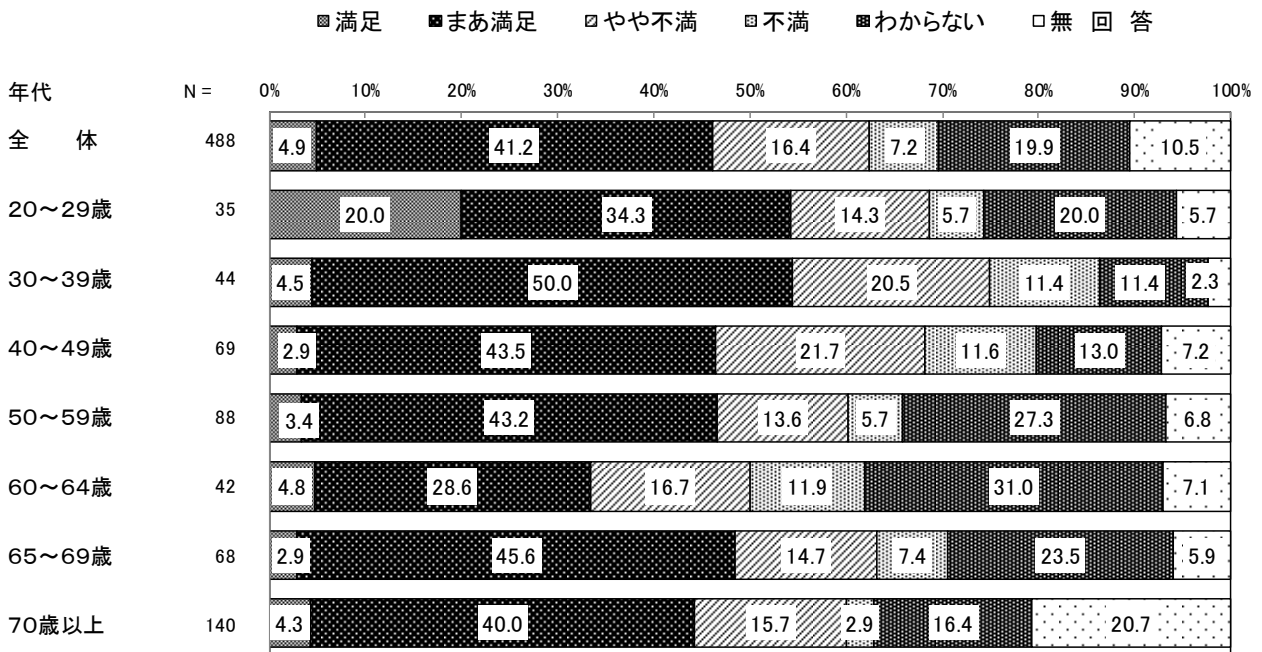
問8 南幌町のまちづくり 満足度

24. 出会いと交流の場づくり[%]



問8 南幌町のまちづくり 満足度

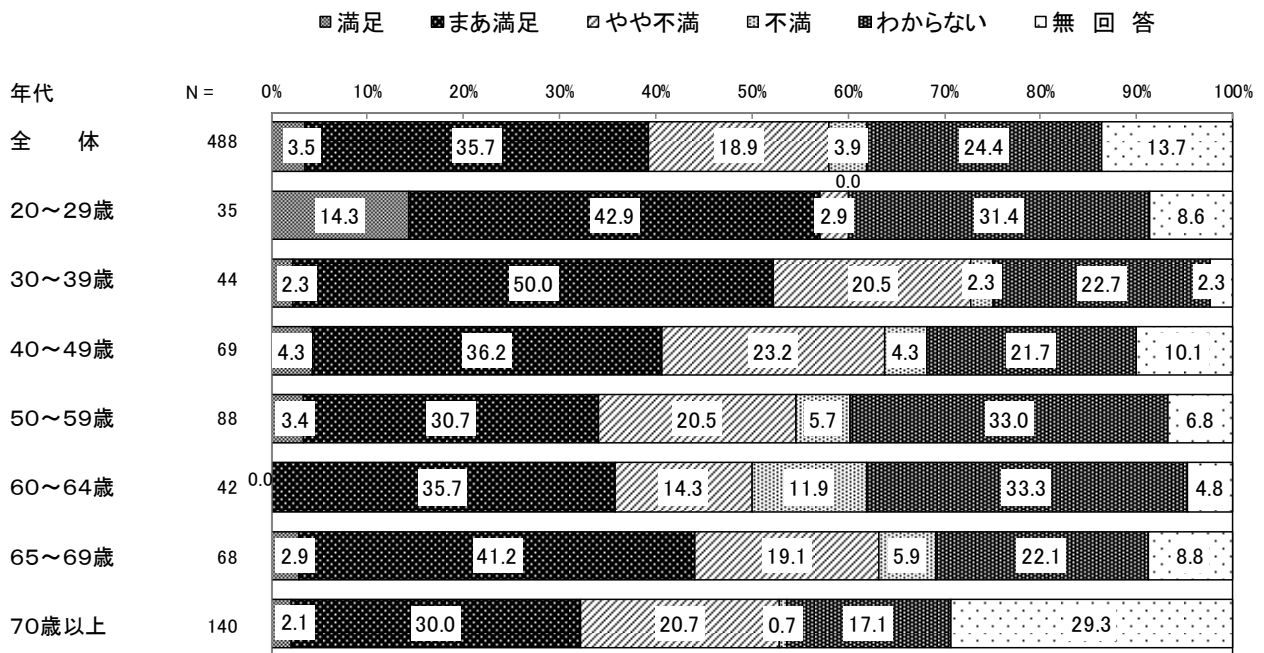
25. 南幌の暮らしを楽しむ[%]



町民主体の行政

問8 南幌町のまちづくり 満足度

26. 町民主体の行政[%]



【重要度について】

重要度が高い項目（「非常に重要」と「重要」の合計）は、1位の「医療環境」2位の「健康予防対策」が75.0%以上と多く、以下10位までの項目も全て55.0%以上回答されている。

年代別では、「医療環境」「健康予防対策」で、各年代が80.0%前後回答されているのに対し、70歳以上は60.0%前後である。

重要度が高い項目（「非常に重要」と「重要」の合計）〔上位10項目〕

順位	項目	割合（%）
1位	医療環境	78.5
2位	健康予防対策	75.2
3位	防災・防犯対策	66.4
4位	高齢者の生活支援	64.8
5位	工業振興	64.7
6位	児童福祉	62.9
7位	障がい者福祉	61.9
8位	幼児教育	56.8
9位	安全・安心、便利な交通対策	56.7
10位	商業振興	55.5

重要度が低い項目（「まあ重要」と「さほど重要ではない」の合計）は、「出会いと交流の場づくり」が58.6%、「文化活動」が55.3%、「ふるさとの記憶と保全、伝承」「スポーツ・レクリエーション活動」が48.0%前後で続いている。

年代別では、5位の「農業振興（農村環境の保全）」、9位の「農業振興（顔の見える農業や食育の推進）」は、30～39歳でそれぞれ70.4%、63.7%と、他の年代に比べて多くなっている。

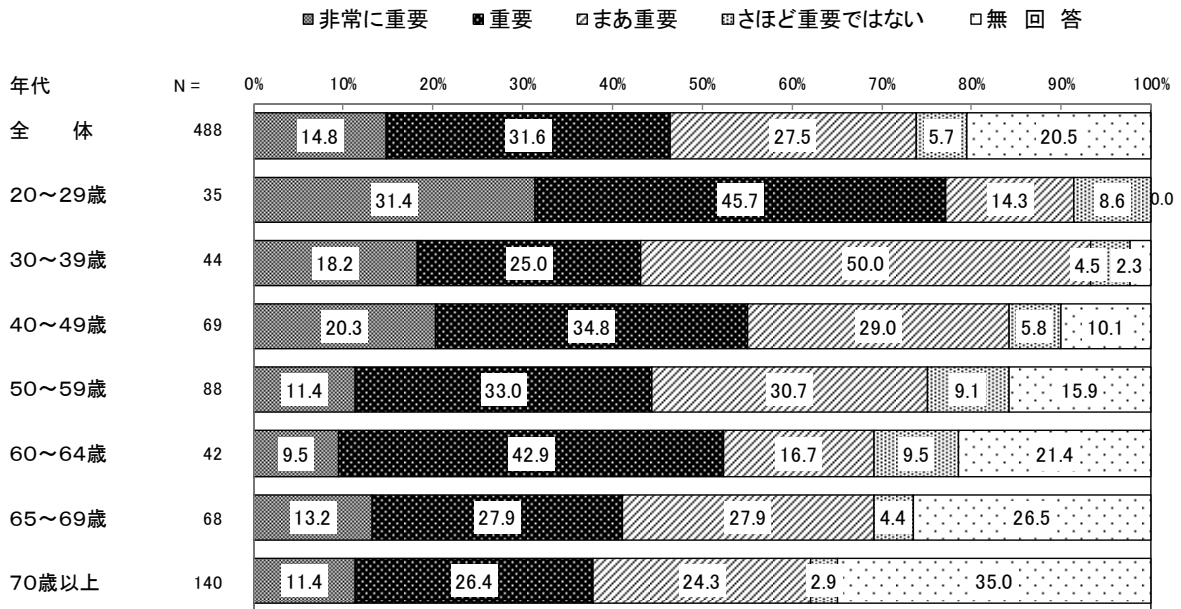
重要度が低い項目（「まあ重要」と「さほど重要ではない」の合計）〔上位10項目〕

順位	項目	割合（%）
1位	出会いと交流の場づくり	58.6
2位	文化活動	55.3
3位	ふるさとの記憶と保全、伝承	48.5
4位	スポーツ・レクリエーション活動	47.5
5位	農業振興（農村環境の保全）	44.3
6位	南幌の暮らしを楽しむ	42.9
7位	資源循環型の環境づくり	39.9
8位	町民主体の行政	39.3
9位	農業振興（顔の見える農業や食育の推進）	37.1
10位	農業を生かした学習機会	36.6

地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまち

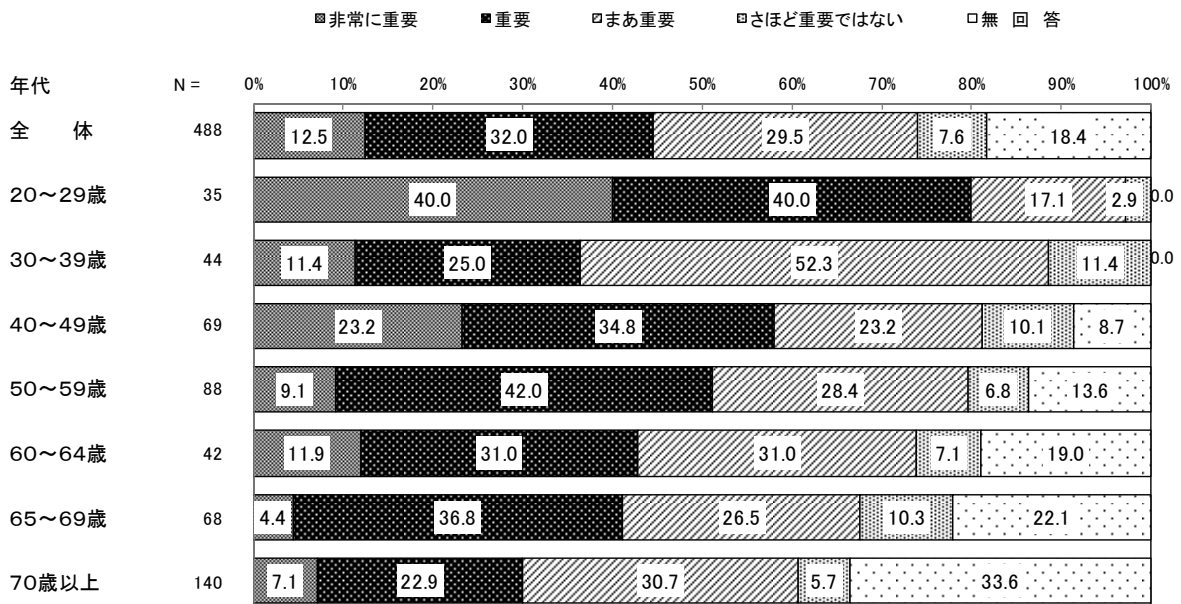
問8 南幌町のまちづくり 重要度

1. 農業振興(農業経営の確立)[%]



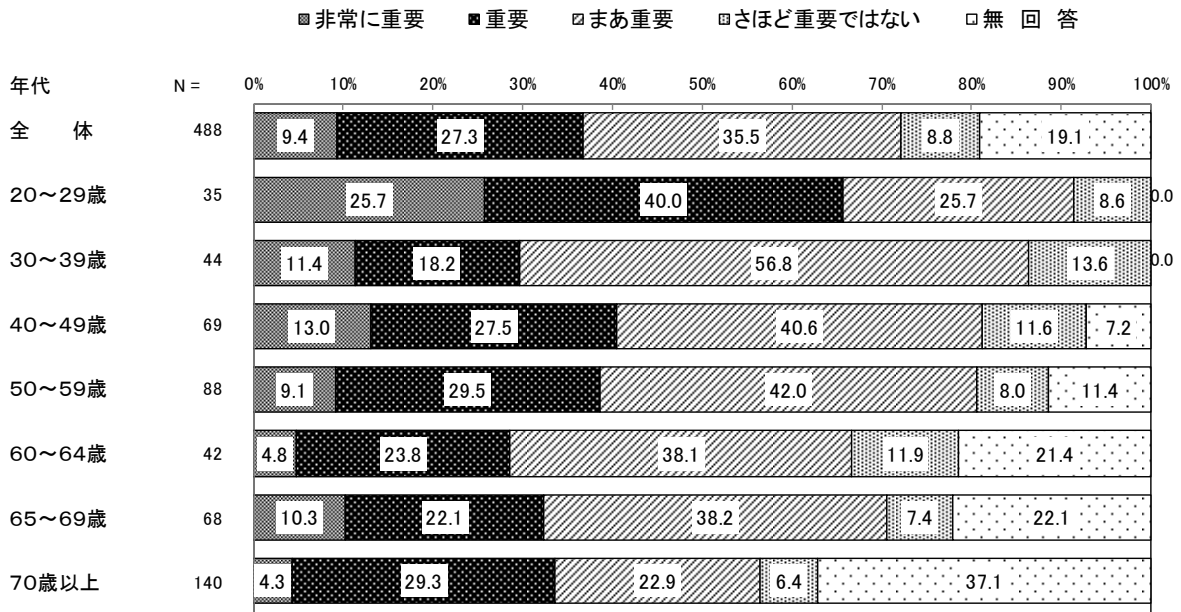
問8 南幌町のまちづくり 重要度

2. 農業振興(顔の見える農業や食育の推進)[%]



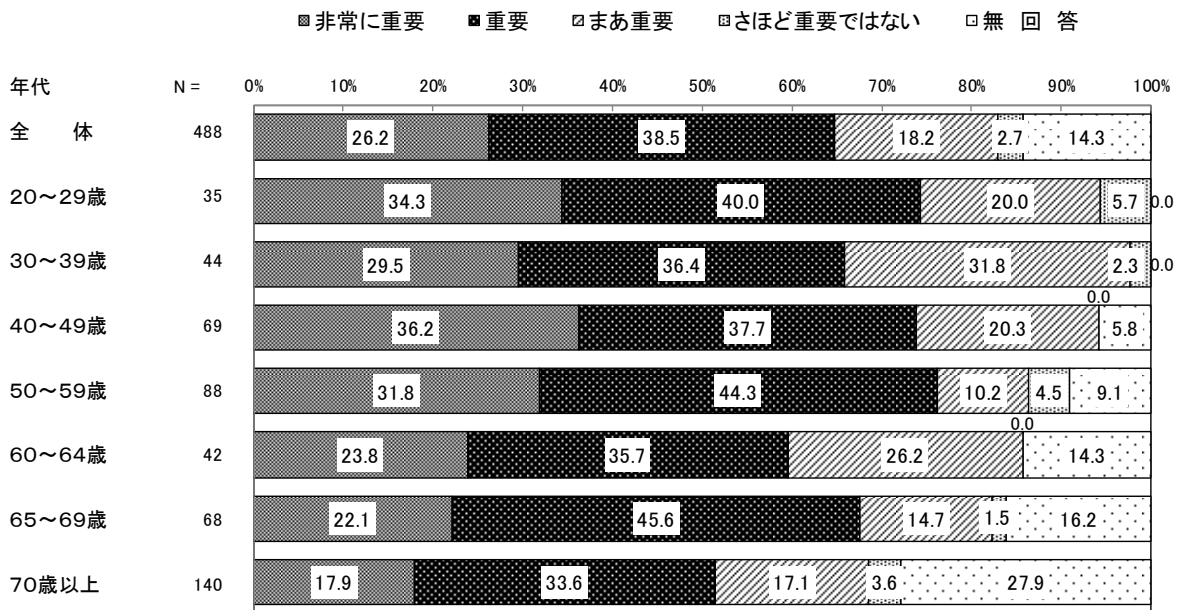
問8 南幌町のまちづくり 重要度

3. 農業振興(農村環境の保全)[%]



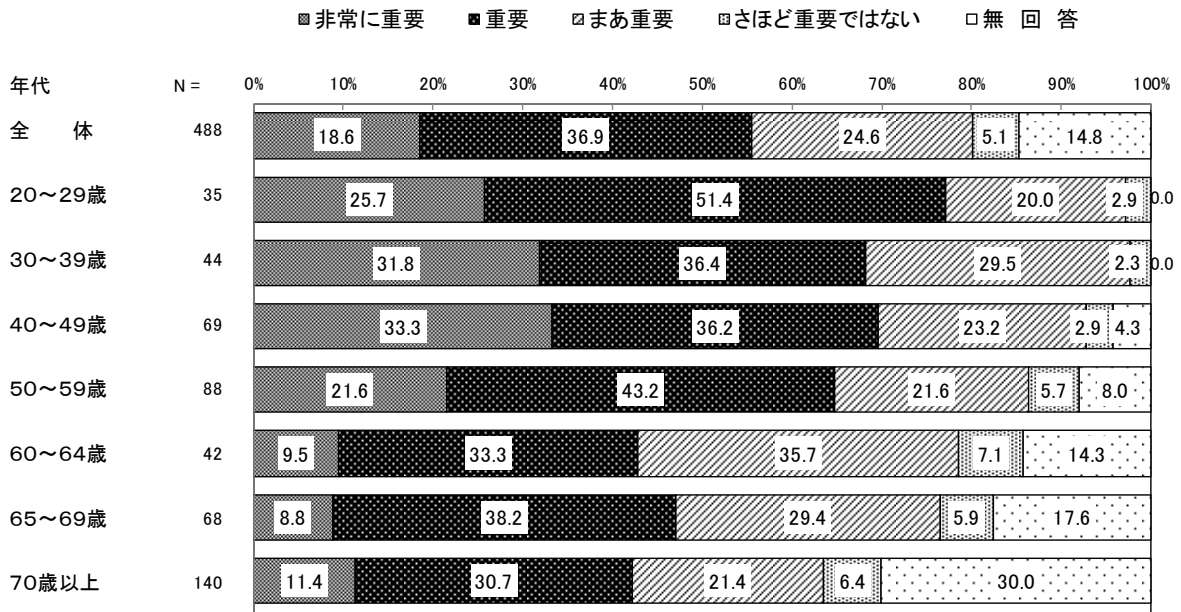
問8 南幌町のまちづくり 重要度

4. 工業振興[%]



問8 南幌町のまちづくり 重要度

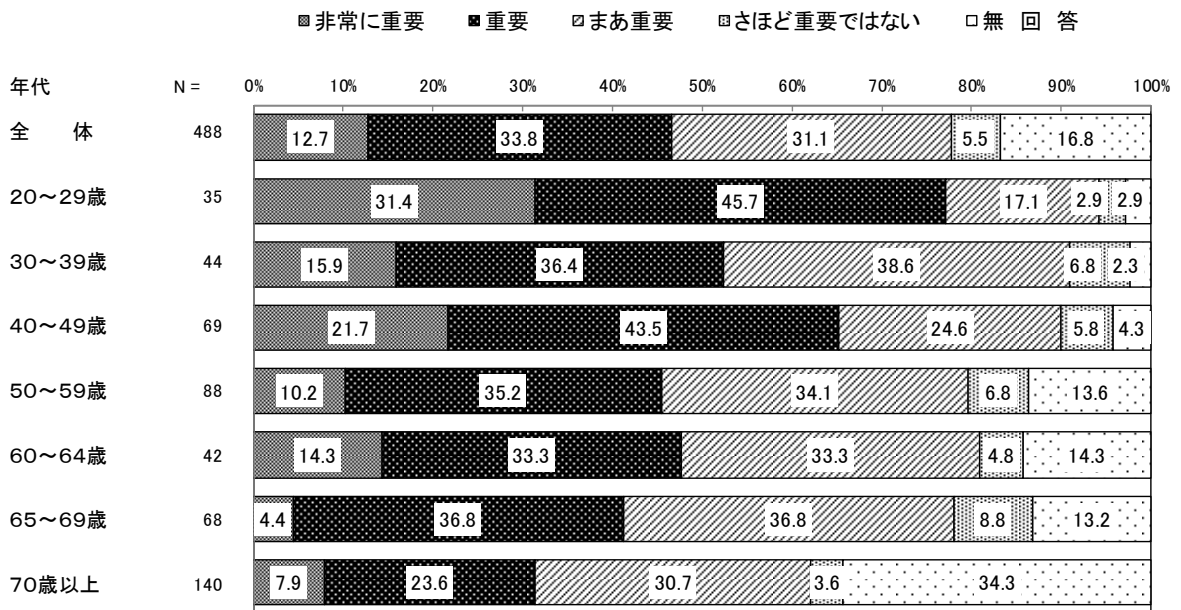
5. 商業振興[%]



地域に根ざした教育と文化の高いまち

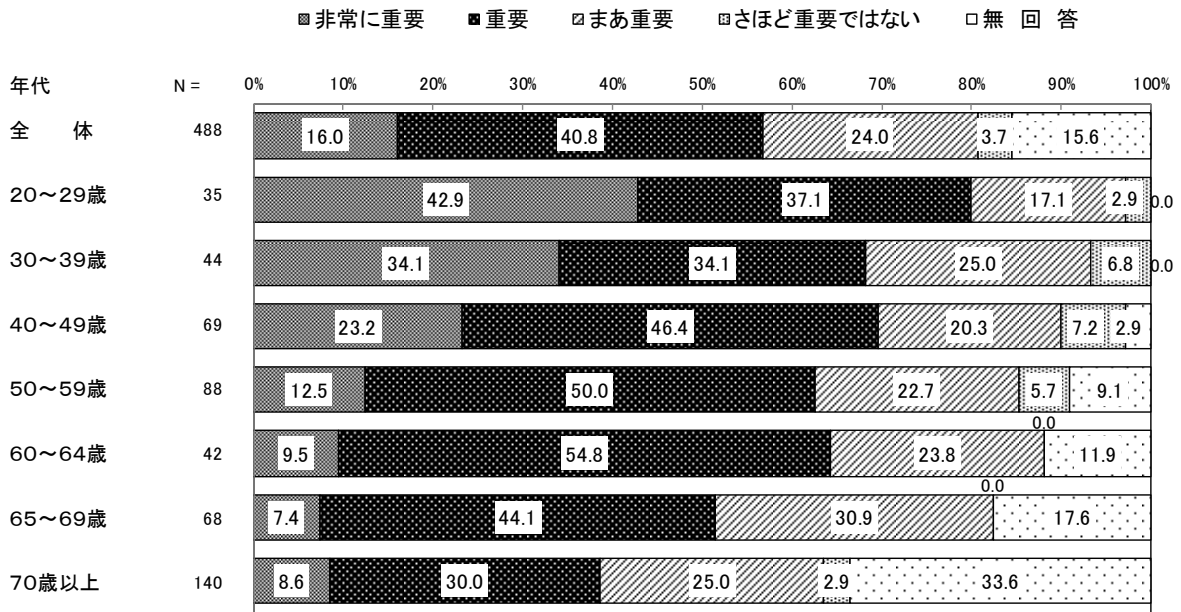
問8 南幌町のまちづくり 重要度

6. 農業を生かした学習機会[%]



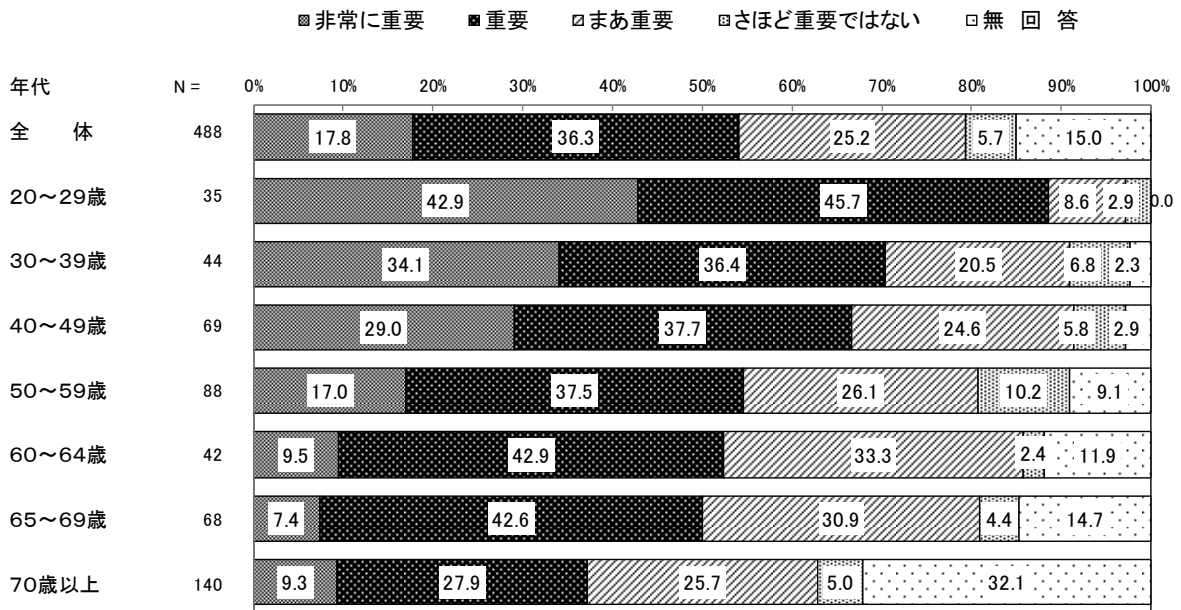
問8 南幌町のまちづくり 重要度

7. 幼児教育[%]



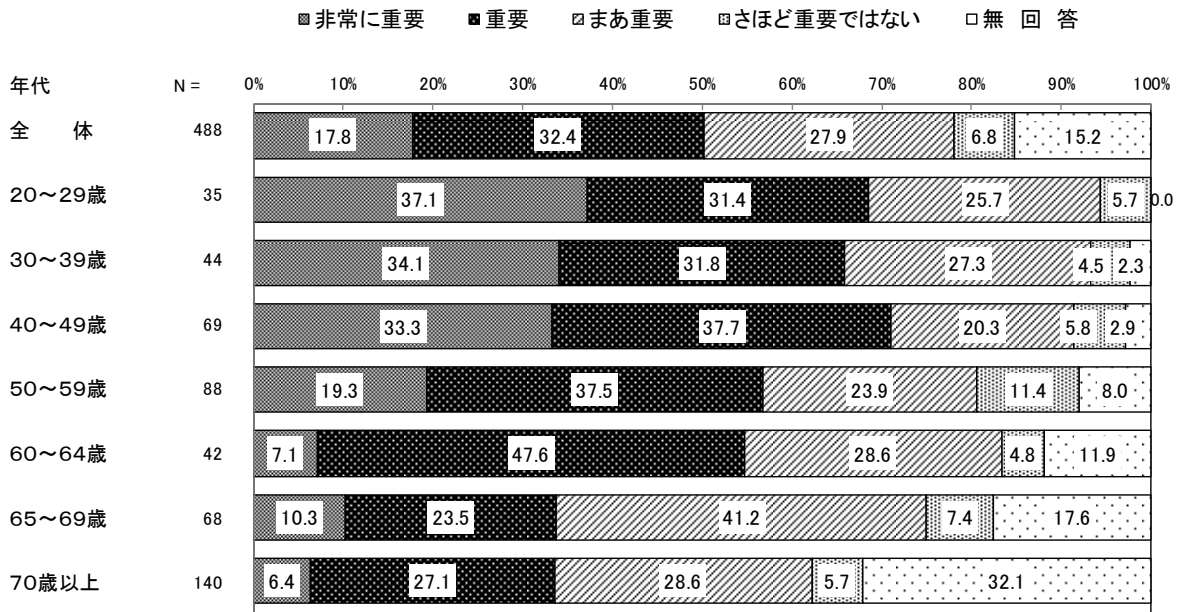
問8 南幌町のまちづくり 重要度

8. 学校教育[%]



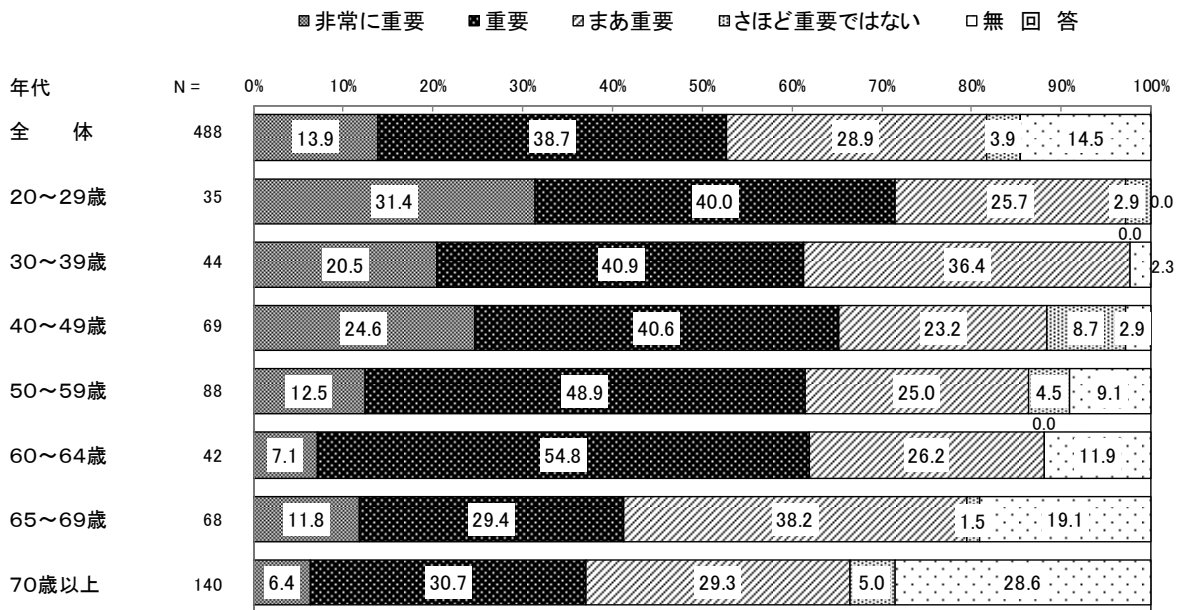
問8 南幌町のまちづくり 重要度

9. 高校の充実と支援[%]



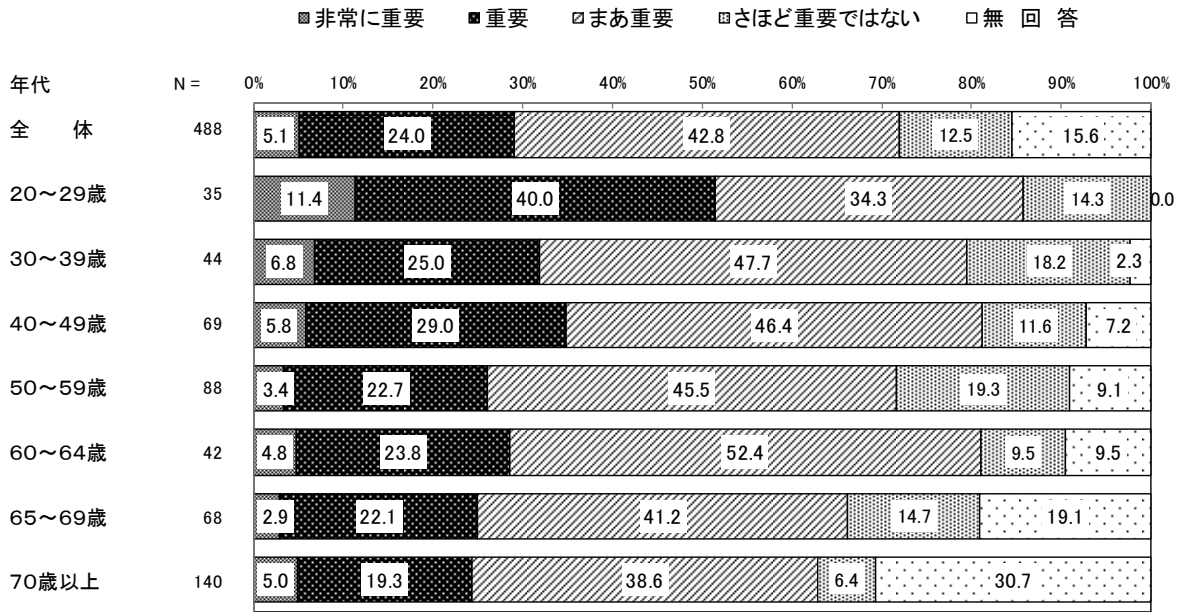
問8 南幌町のまちづくり 重要度

10. 生涯学習[%]



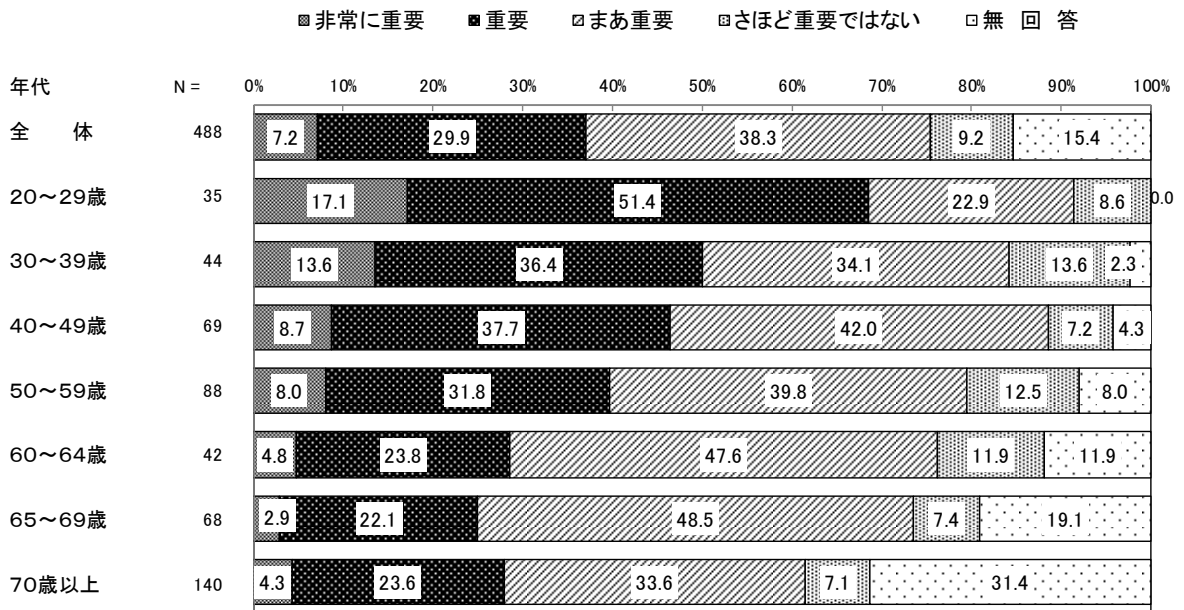
問8 南幌町のまちづくり 重要度

11. 文化活動[%]



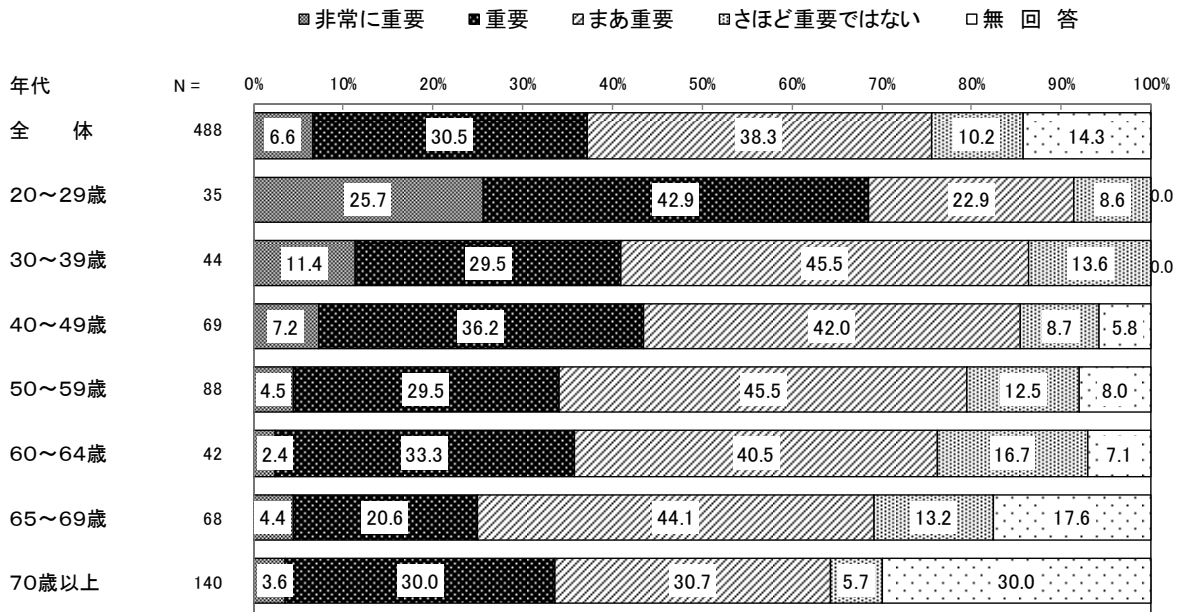
問8 南幌町のまちづくり 重要度

12. スポーツ・レクリエーション活動[%]



問8 南幌町のまちづくり 重要度

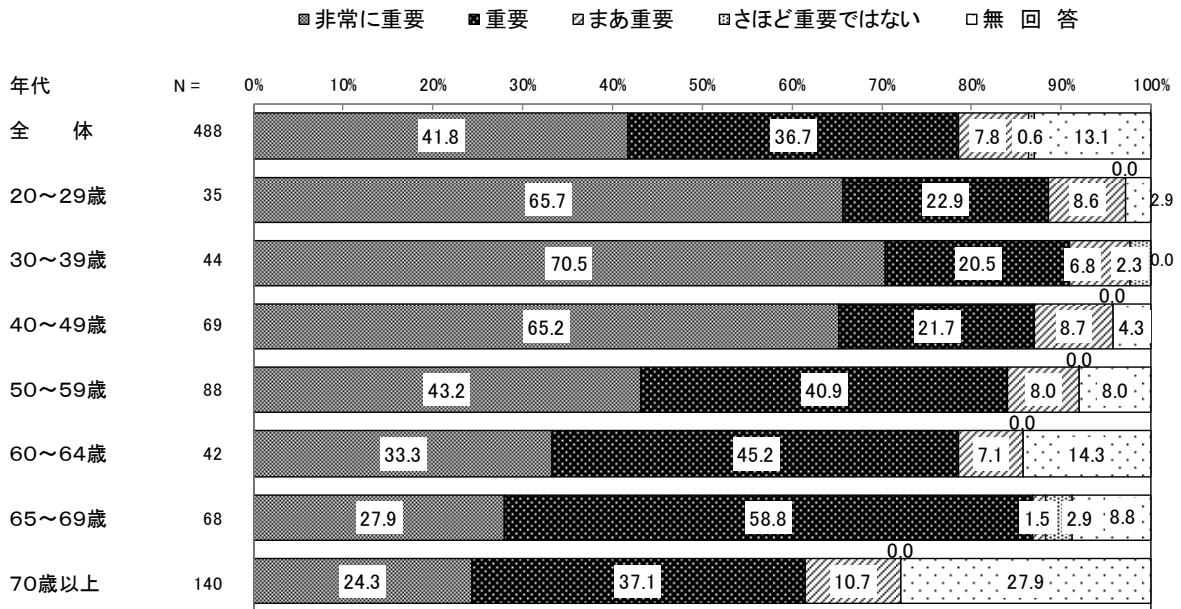
13. ふるさとの記憶と保全、伝承[%]



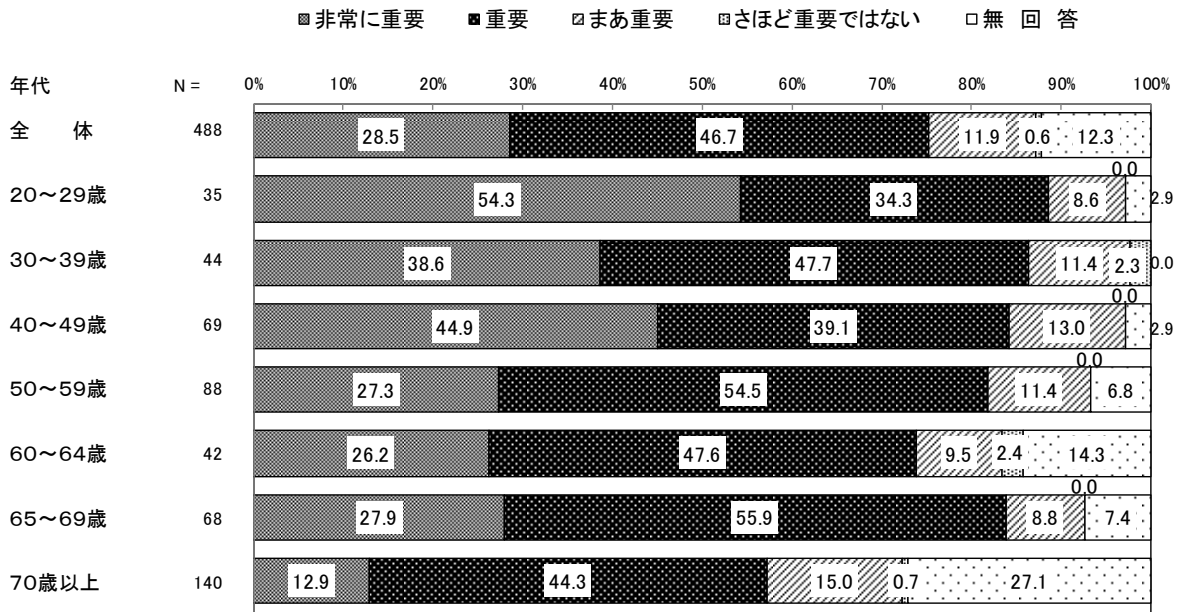
健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまち

問8 南幌町のまちづくり 重要度

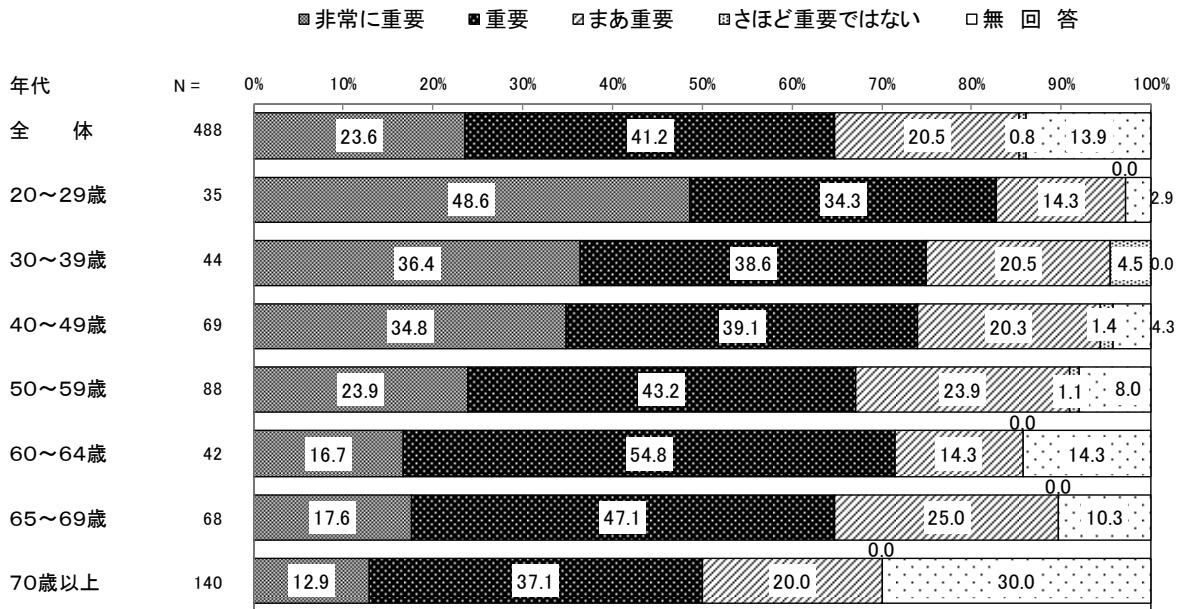
14. 医療環境[%]



問8 南幌町のまちづくり 重要度
15. 健康予防対策[%]

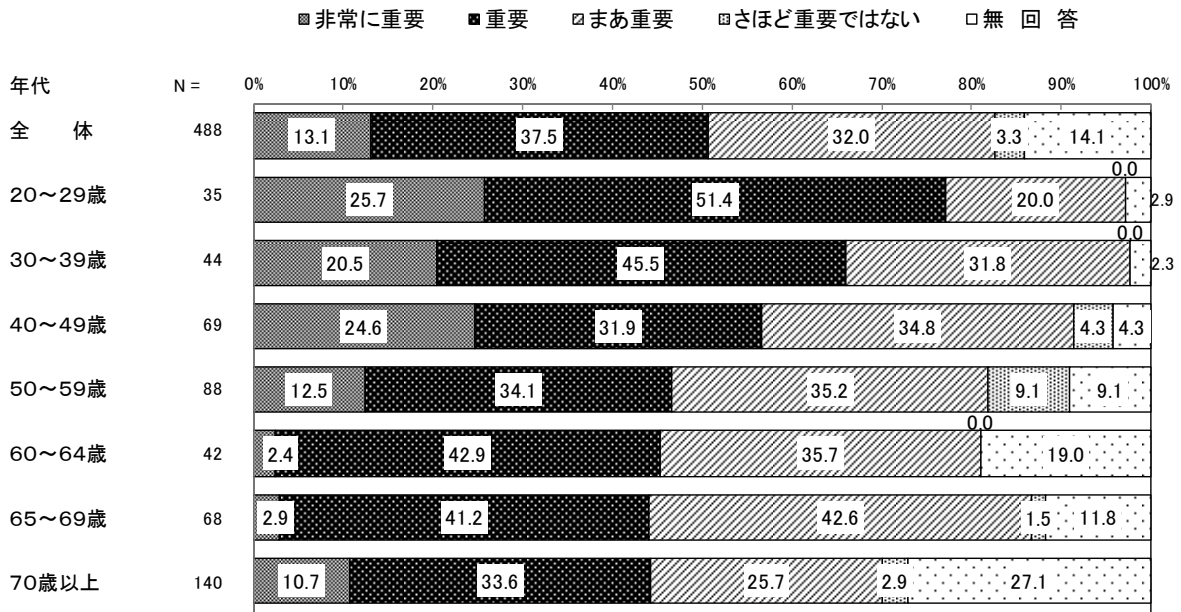


問8 南幌町のまちづくり 重要度
16. 高齢者の生活支援[%]



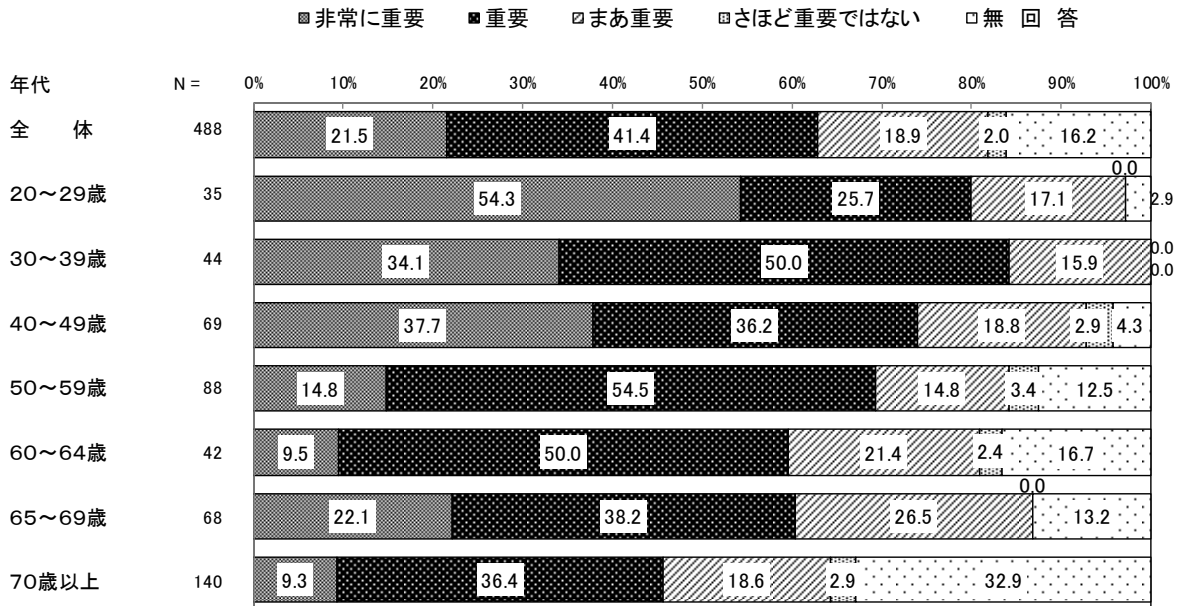
問8 南幌町のまちづくり 重要度

17. 高齢者の社会参加[%]

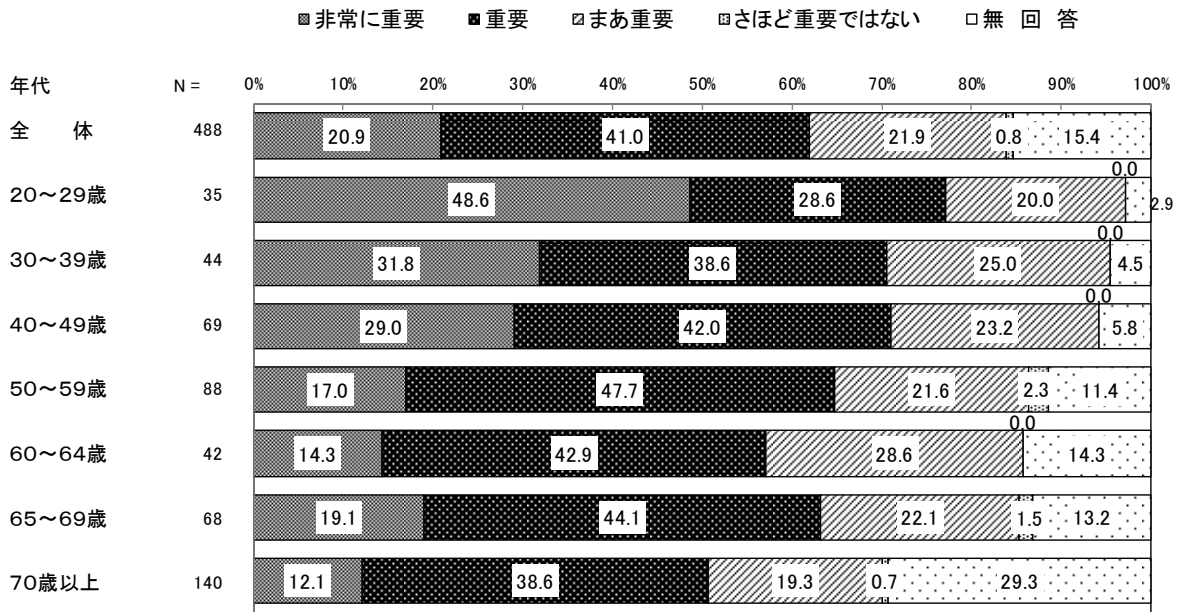


問8 南幌町のまちづくり 重要度

18. 児童福祉[%]

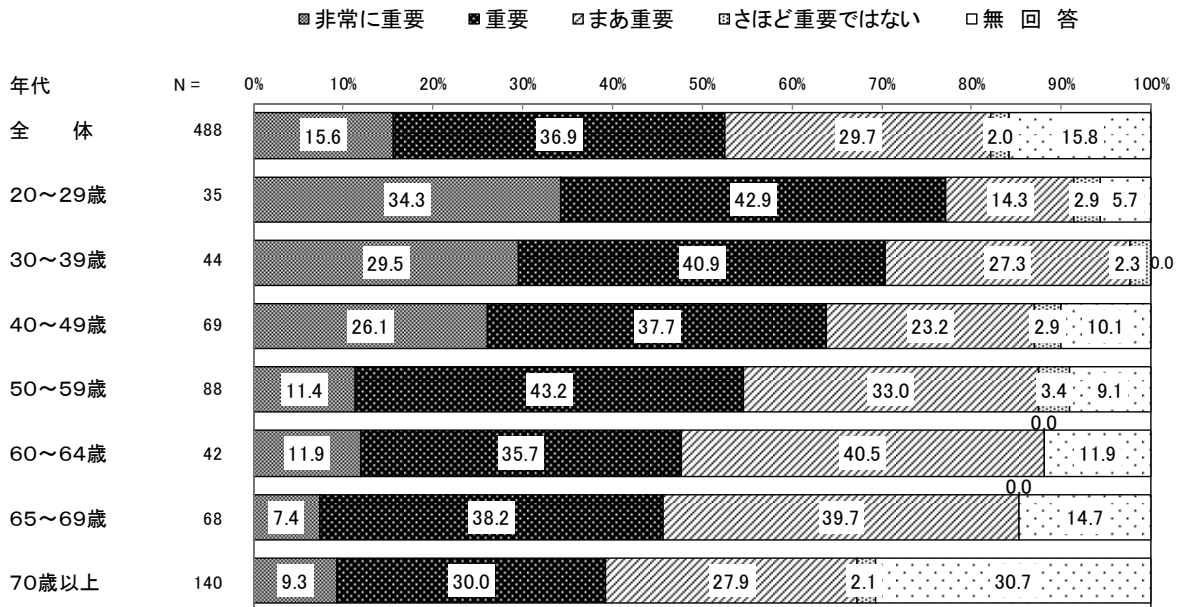


問8 南幌町のまちづくり 重要度
19. 障がい者福祉[%]



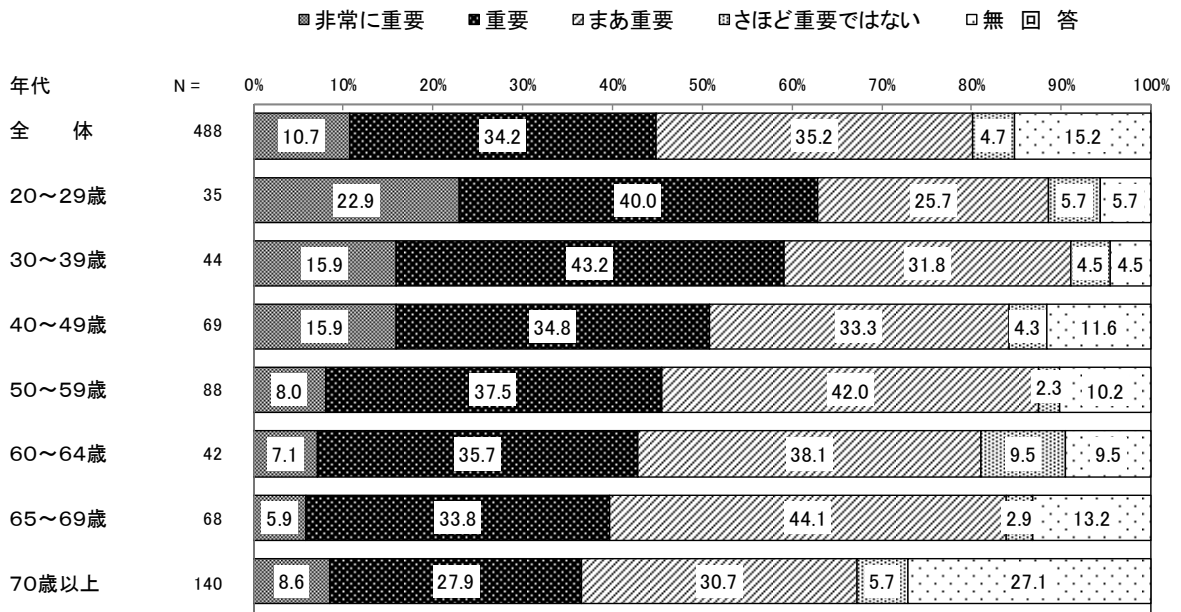
安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまち

問8 南幌町のまちづくり 重要度
20. 快適な都市環境づくり[%]



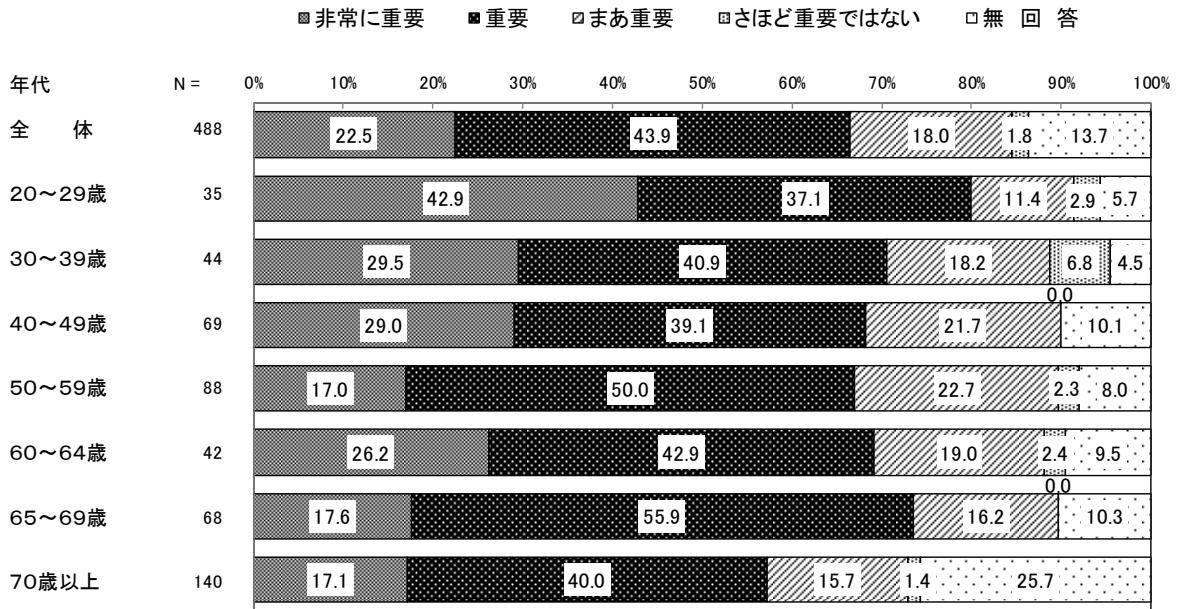
問8 南幌町のまちづくり 重要度

21. 資源循環型の環境づくり[%]



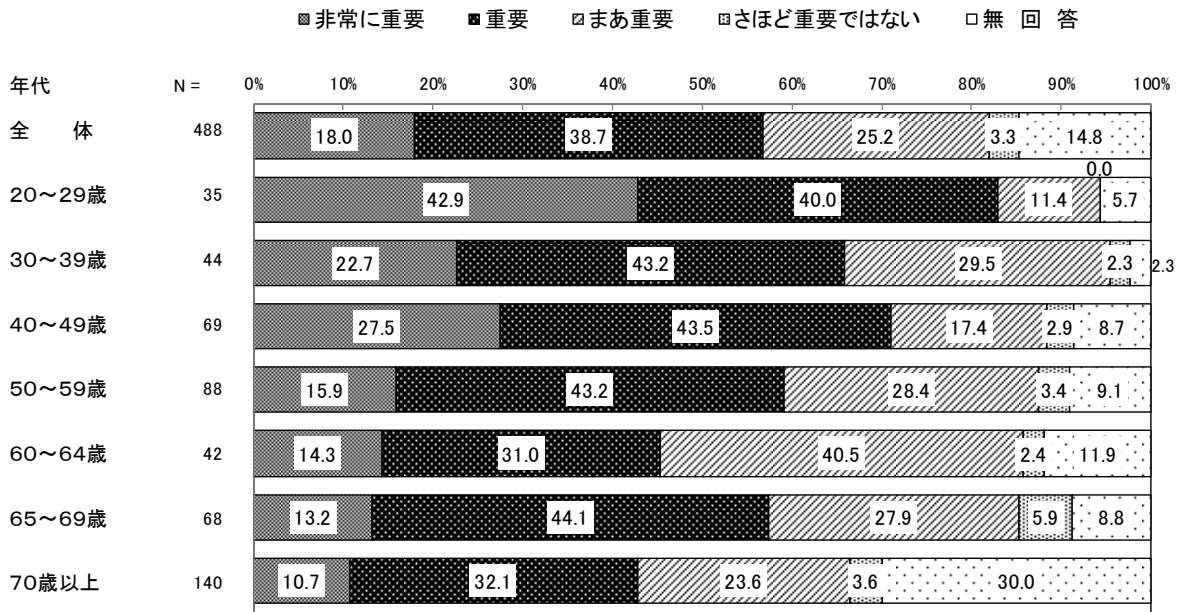
問8 南幌町のまちづくり 重要度

22. 防災・防犯対策[%]



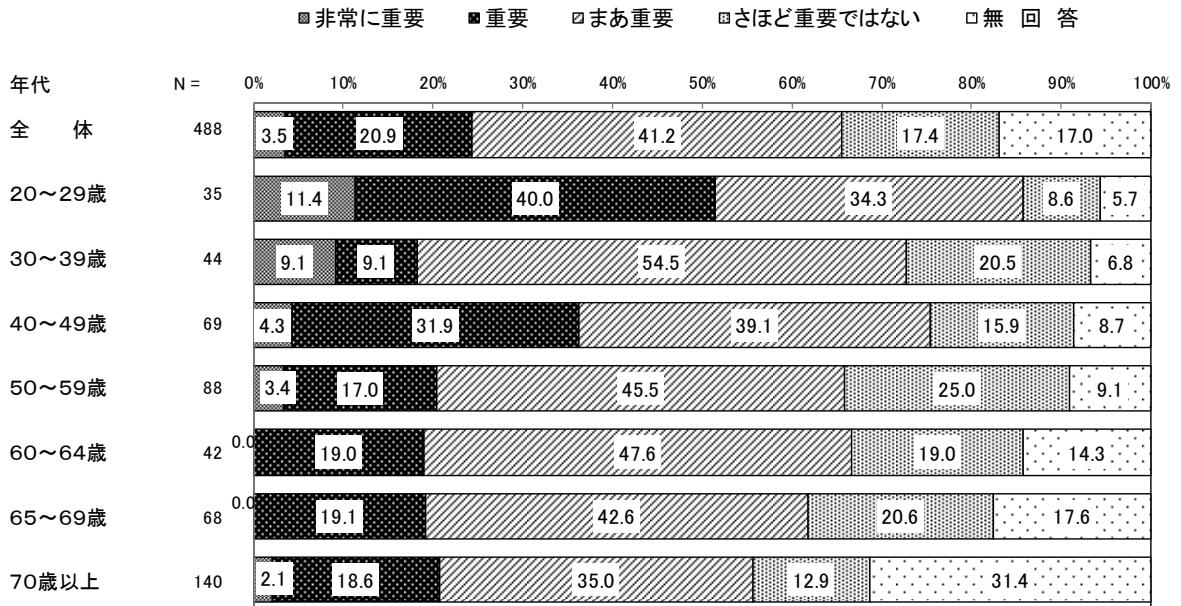
問8 南幌町のまちづくり 重要度

23. 安全・安心、便利な交通対策[%]

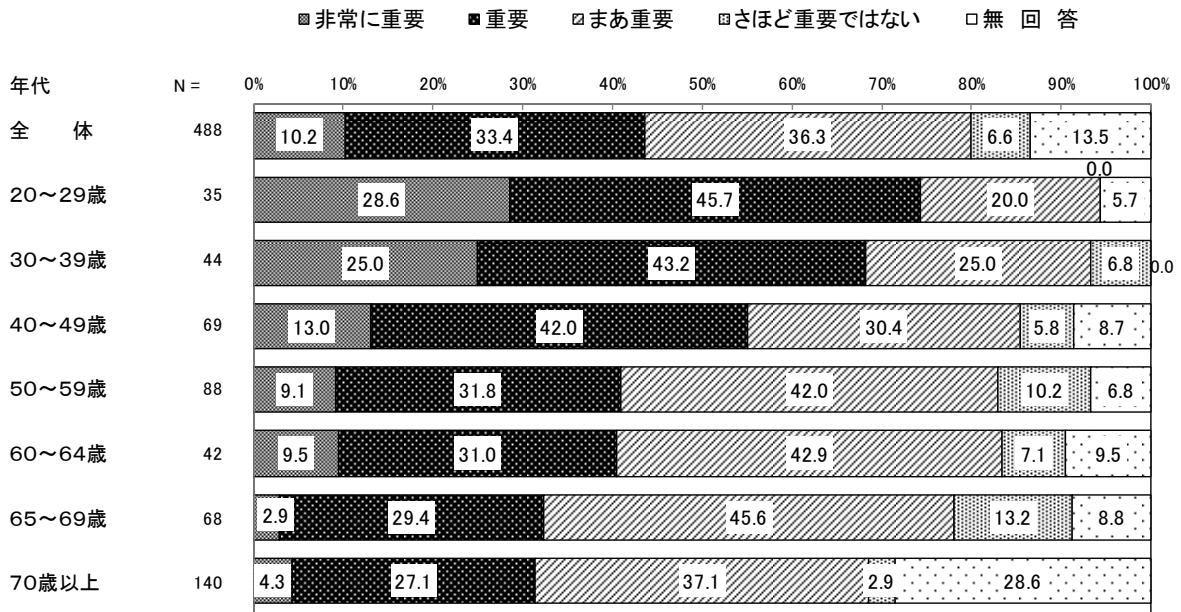


問8 南幌町のまちづくり 重要度

24. 出会いと交流の場づくり[%]

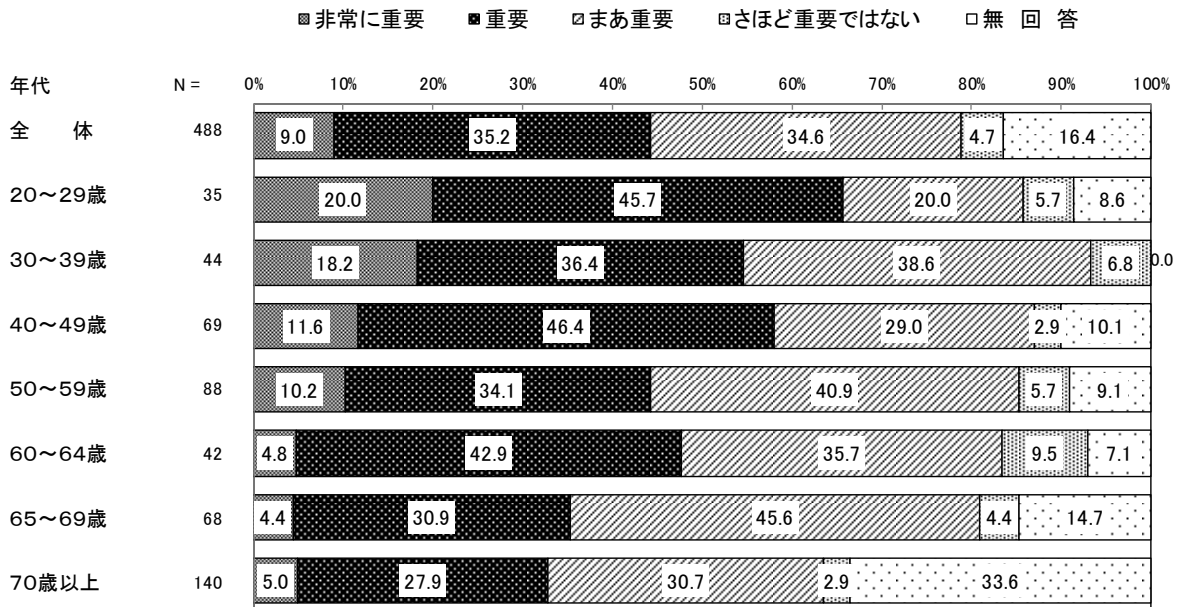


問8 南幌町のまちづくり 重要度
25. 南幌の暮らしを楽しむ[%]



町民主体の行政

問8 南幌町のまちづくり 重要度
26. 町民主体の行政[%]

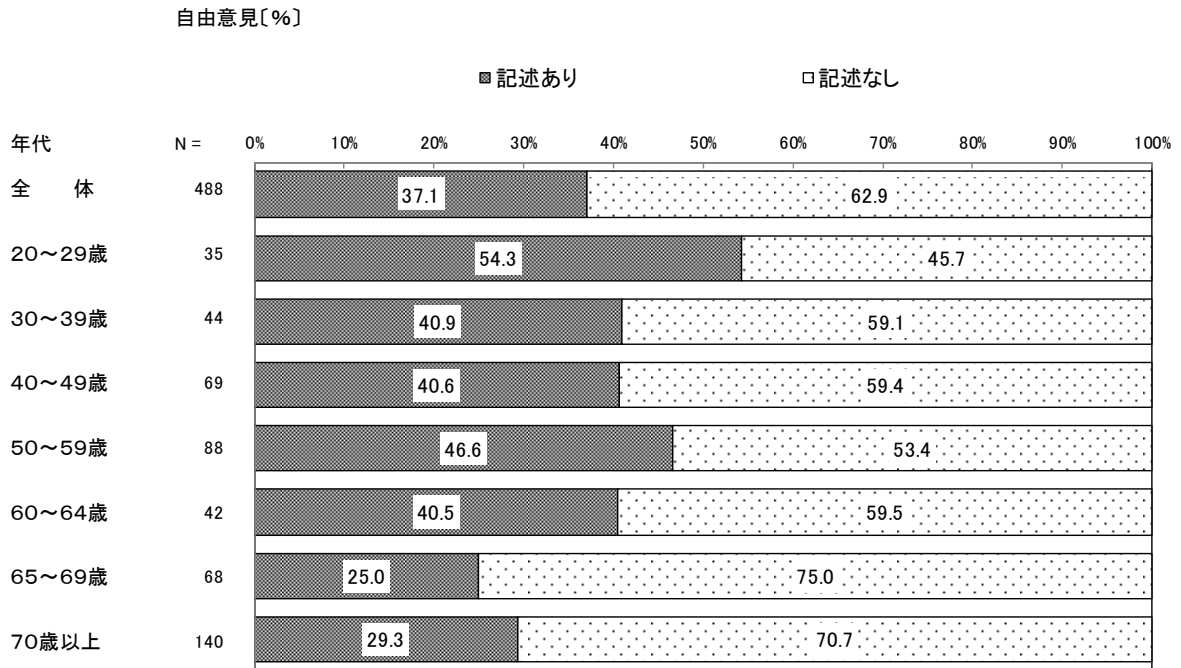


7. まちづくりに関する意見

Ⅲ 南幌町のまちづくりに関する意見や提言などがありましたら、ご記入ください (住民参加や暮らし、子育て、公共交通のあり方などご自由にお書きください)

37.1%が意見を記入しており、主な意見では、「公共交通機関の便の改善について」「道路・公園等の整備について」「商業施設の充実・誘致について」などがあげられている。

年代別では、20～29歳の回答者の半数以上が「記述あり」と多い。



〔参考：主な意見のまとめ（上位5項目）〕

順位	内容	件数
1位	公共交通機関(バス等)の本数が不足している(特に南幌・北広島・岩見沢間など)。バスの最終時間が早いので、遅い便も運行してほしい。週末だけでもお願いしたい。交通の便を改善しなければ、人口が増えることはないと思う。巡回バスを続けてほしい。	56件
2位	道路・公園等を整備してほしい。道路は冬期吹雪になるとポールが見えなくなりとても危険なので路肩がわかるようにしてほしい。ジャリ道の舗装、遊歩道は木を切るか、枝を落としてほしい。街灯が暗い。学校帰りの子どもたちが徒歩で帰宅するには危険を感じる。きらら街道にガードレールがほしい。公園の防犯灯の24時間点灯やバリアフリー、中央公園サイクリングロードのカラスの駆除をしてほしい。 商店街がさみしい。店がAコープだけで少ない。買い物する気持ちにはならない。商業施設の充実、誘致強化を望む。	17件
4位	医療機関が不足している。町内に小児科がないととても不安である。産科・外科等がない。医療機関の充実を望む。	12件
5位	防災無線は、外にいる時はよく聞きとれるが、家の中ではほとんど聞こえない。今どきサイレンが鳴る町、防災のアナウンスが鳴るのは他市では考えられないのではないかと。何か他の方法にしてほしい。	9件